

仙台市文化財調査報告書第503集

大野田古墳群第25次調査

—集合住宅建設工事に伴う発掘調査報告書—

2023年3月

仙台市教育委員会

序 文

仙台市の文化財保護行政に対しまして、日ごろからご理解、ご協力を賜り感謝申し上げます。

市内には、旧石器時代から近世にいたるまで数多くの埋蔵文化財が残されております。本市教育委員会といたしましては、先人たちの残してきた貴重な文化遺産を保護し、保存・活用を図りながら、次の世代に引き継いでいくことは、仙台の住みよい街づくりに欠かせない大切なことと考えております。

本報告書は、地下鉄南北線富沢駅の東側にある大野田古墳群の第25次発掘調査成果をまとめたものです。

大野田古墳群は、昭和51、52年に行われた六反田遺跡の発掘調査により発見された墳丘が削平された五反田古墳や、大きく改変は受けていたものの墳丘が残存していた春日社古墳・鳥居塚古墳・王ノ壇古墳に加え、その後の調査により、一帯に中小規模の古墳が密集して分布する「群集墳」が存在することが明らかになり登録された遺跡です。

今回の発掘調査では、古墳は確認できませんでしたが、古墳時代から奈良時代の畑の耕作痕跡と考えられる小溝状遺構群と、下層からは縄文時代後期の竪穴住居跡3軒と遺物包含層が発見されました。

ここに報告する調査成果が、地域の歴史を解き明かしていくための貴重な資料となり、広く活用され、文化財に対しましてご理解と保護の一助になれば幸いです。

今回の発掘調査及び調査報告書の刊行に際しまして、特に事業者様には、発掘調査の重要性をご理解いただき、ご協力いただきました。

最後になりましたが、発掘調査及び調査報告書の刊行にあたり、多くの方々のご協力、ご助言をいただきましたことを深く感謝申し上げます、刊行の序といたします。

令和5年3月

仙台市教育委員会

教育長 福田 洋之

例 言

1. 本書は、集合住宅建設に伴い仙台市教育委員会が2カ年にわたり実施した、大野田古墳群第25次発掘調査についての調査成果を収録したものである。
2. 発掘調査及び本書の作成は、仙台市教育委員会が行い、株式会社シン技術コンサルが支援した。
3. 本書の作成は、仙台市教育委員会生涯学習部文化財課 柳澤 楓、工藤 信一郎の監理の下、遺物整理から本書の編集に至るまでの作業は、株式会社シン技術コンサルが担当した。
4. 本書の執筆・図版作成は、第1章～第3章を工藤、第4章～第5章を北村 和穂(株式会社シン技術コンサル)、第6章を工藤・北村が担当した。また、遺物写真撮影は嶋田 圭吾(同)、編集は北村が担当し、成田 典信(同)・村井 卓(同)の協力を得た。
5. 石器・石製品の石材は、株式会社シン技術コンサル社内で検討して同定した。
6. 発掘調査及び報告書の作成にあたり、株式会社フージャースコーポレーションにご配慮・ご協力を賜った。記して感謝の意を表する次第である。
7. 調査・整理に関する全ての資料は、仙台市教育委員会が保管している。

凡 例

1. 第1図の大野田古墳群と周辺の遺跡は、仙台市都市計画基本図1万分の1「南部」を一部改変して使用した。
2. 遺構図中の座標値は、世界測地系(測地成果2011)を基準としている。図中及び本文記載の方位北は全て座標北を基準とした。
3. 本書中の土色の記載には『新版 標準土色帖』2005年版(農林水産省農林水産技術会議事務局監修)を使用した。
4. 断面図中の数値は、海拔高度(T・P)で示した。
5. 調査において検出された遺構については以下の遺構記号を使用し、遺構ごとに番号を付した。

SM:小溝状遺構群 SD:溝跡 SK:土坑 Pit:ピット SX:性格不明遺構 SI:竪穴住居跡

6. 層位名は基本層位をローマ数字「I・II・III…」とし、細分している場合は「IVa」のようにローマ数字の後にアルファベットの小文字を付して表した。本文中では細分している基本層であっても、総称としてローマ数字の層位のみで表しているところがある。遺構内堆積土の層位は算用数字「1・2・3…」で表した。
7. 遺構図に使用したスクリーントーンは、個別に凡例を図中に示した。
8. 出土遺物の登録には以下の遺物記号を使用し、種別ごとにアラビア数字を付した。ただし、石器については分類にあたりKのあとに小文字アルファベットを付し、その分類種別を使用した。

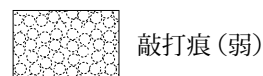
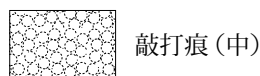
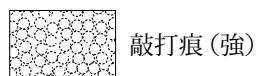
A:縄文土器 C:土師器(非ロクロ調整) D:土師器(ロクロ調整) E:須恵器 I:陶器

Kc:礫石器 Kd:石製品 S:埴輪

9. 遺物実測図の縮尺は1/3を基本とし、全ての図中にスケールを付した。
10. 土器類の器種・部位呼称、計測位置については、『西台畑遺跡第1・2次調査』(仙台市教育委員会2010)に準じた。
11. 石器・石製品の実測図における計測位置は、『西台畑遺跡第1・2次調査』(前掲)に準じた。
12. 土器の実測図に使用したスクリーントーンは、以下の通りである。これ以外のトーンについては、個別に凡例を図中に付した。



13. 石器・石製品の実測図に使用したスクリーントーンは、以下の通りである。



14. 遺構・遺物の観察表内における()付きの計測値は、土器類の各径については推定値、そのほかについては残存値を示した。
15. 掲載した遺物写真の縮尺は、遺物実測図に準じた。
16. 本文中の「灰白色火山灰」(庄子・山田1980)は、これまでの仙台市域の調査報告や東北中北部の研究から、「十和田a火山灰(To-a)」と考えられており、その降下年代は西暦915年と推定されている。

庄子貞雄・山田一郎 1980「宮城県北部に分布する灰白色火山灰について」

『多賀城跡-昭和54年度発掘調査概報』宮城県多賀城跡調査研究所

仙台市教育委員会 2000 『沼向遺跡 第1～3次発掘調査』仙台市文化財調査報告書第241集

小口雅史 2003

「古代北東北の広域テフラをめぐる諸問題—十和田aと白頭山(長白山)を中心に—」

『日本律令制の展開』吉川弘文館

目 次

第1章	調査に至る経過	1
第1節	調査事由	1
第2節	調査要項	1
(1)	調査体制	1
(2)	調査報告書作成体制	1
第2章	遺跡の位置と環境	2
第1節	大野田古墳群の立地と地形	2
第2節	周辺の遺跡と歴史的環境	2
第3章	調査の方法と概要	5
第1節	調査方法と調査区設定	5
第2節	調査概要	5
(1)	調査経過	5
(2)	測量基準・図面の作成	5
(3)	遺構登録番号	5
(4)	調査報告書作成作業	5
第4章	基本層序	7
第1節	基本層序	7
第5章	検出遺構と出土遺物	11
第1節	Ⅲ層上面の遺構と遺物	11
(1)	溝跡	11
(2)	ピット	14
(3)	遺構外出土遺物	15
第2節	Ⅳ層上面の遺構と遺物	16
(1)	小溝状遺構群	16
(2)	溝跡	34
(3)	土坑	36
(4)	ピット	37
(5)	遺構外出土遺物	38
第3節	Ⅴ層上面の遺構と遺物	40
(1)	小溝状遺構群	40
(2)	溝跡	46
(3)	土坑	53
(4)	ピット	54
(5)	性格不明遺構	58
(6)	遺構外出土遺物	60
第4節	Ⅵ層上面の遺構と遺物	60
(1)	竪穴住居跡	60
(2)	遺構外出土遺物	63

第6章 総括	65
第1節 小溝状遺構群の時期的変遷	65
第2節 周辺調査区との関係	65
第3節 縄文時代	67
第4節 まとめ	68

挿図目次

第1図 遺跡の位置	2	第21図 土坑(IV層上面)平面図・断面図	36
第2図 大野田古墳群と周辺の遺跡	4	第22図 Pit134・IV層上面遺構外出土遺物	39
第3図 調査区配置図・グリッド配置図	6	第23図 V層上面全体図	41
第4図 基本層序(1)	8	第24図 V層上面遺構配置図(1)	42
第5図 基本層序(2)	9	第25図 V層上面遺構配置図(2)	43
第6図 基本層序(3)	10	第26図 V層上面遺構配置図(3)	44
第7図 III層上面全体図	12	第27図 小溝状遺構群(V層上面)断面図	45
第8図 III層上面遺構配置図	13	第28図 SD18出土遺物	48
第9図 溝跡(III層上面)断面図	14	第29図 溝跡(V層上面)断面図	52
第10図 SD32・III層上面遺構外出土遺物	15	第30図 土坑(V層上面)平面図・断面図	54
第11図 IV層上面全体図	17	第31図 性格不明遺構SX1・2(V層上面) 平面図・断面図	59
第12図 IV層上面遺構配置図(1)	18	第32図 V層上面遺構外出土遺物	60
第13図 IV層上面遺構配置図(2)	19	第33図 SI1・SI2・SI3(竪穴住居跡) 平面図・断面図	62
第14図 IV層上面遺構配置図(3)	20	第34図 SI1(竪穴住居跡)出土遺物	63
第15図 IV層上面遺構配置図(4)	21	第35図 VI層上面遺構外出土遺物	64
第16図 小溝状遺構群(IV層上面)断面図(1)	26	第36図 小溝状遺構群の新旧関係図	65
第17図 小溝状遺構群(IV層上面)断面図(2)	27	第37図 周辺調査区との整合関係図	66
第18図 小溝状遺構群(IV層上面)断面図(3)	28		
第19図 小溝状遺構群(IV層上面)出土遺物	34		
第20図 溝跡(IV層上面)断面図	36		

写真図版目次

写真図版 1 遺跡遠景・基本層序	71	写真図版 10 V層上面(3) 小溝状遺構群・溝跡・土坑	80
写真図版 2 III層上面 全景・SD32	72	写真図版 11 V層上面(4) 土坑・ピット・性格不明遺構	81
写真図版 3 IV層上面(1)1区全景	73	写真図版 12 VI層上面 竪穴住居跡	82
写真図版 4 IV層上面(2)2区全景	74	写真図版 13 SM1・3・4、SD32、 III層上面・IV層上面 出土遺物	83
写真図版 5 IV層上面(3)小溝状遺構群	75	写真図版 14 SD18、Pit134、SI1、 V層上面・VI層上面 出土遺物	84
写真図版 6 IV層上面(4) 小溝状遺構群・溝跡・土坑	76		
写真図版 7 IV層上面(5)土坑・ピット	77		
写真図版 8 V層上面(1)1区全景	78		
写真図版 9 V層上面(2)2区全景	79		

第1章 調査に至る経過

第1節 調査事由

仙台市南部の富沢地区は、昭和62年（1987）の地下鉄南北線の開業以降、道路網の整備や宅地化が急速に進む地域となっていた。このようななか、平成5年（1993）仙台市施行による主要幹線道路や公共施設整備による総合的な街づくりを目的とする、「仙台市富沢駅周辺土地区画整理事業」が計画された。

事業地内は仙台市内でも数多くの遺跡が集中する地域で、大野田古墳群もその一つである。大野田古墳群の調査は平成7年（1995）から着手し、継続して発掘調査が行われ、縄文時代から中近世に至る幅広い時代を対象とした調査が行われてきた。

今回の大野田古墳群第25次調査は、仙台市太白区大野田五丁目22-3・4・5番地において、株式会社フージャースコーポレーションにより計画された集合住宅建設工事に伴い、令和3年4月16日付けで仙台市教育委員会に、建設予定地内に位置する埋蔵文化財の取り扱いについての協議書（令和3年4月22日付R3教生文第109-7号で回答）が提出されたことに始まる。その後発掘調査の実施に関する協議を続け、建築計画の変更などもあり、令和3年7月に本発掘調査の実施について協議がまとまり委託契約を締結した。

委託契約締結後、建築計画の変更に伴う調査計画に関する協議や事務手続きの関係などから、調査の開始が9月からとなった。また残土処理の関係から折返しによる2カ年での調査計画となり、令和3年度は建築予定範囲の東側部分を対象に行い、令和4年度は西側部分の調査を行うことになった。

第2節 調査要項

遺 跡 名：大野田古墳群（宮城県遺跡地名番号01361・仙台市文化財登録番号C-054）

所 在 地：宮城県仙台市太白区大野田5丁目22-3・4・5

調査原因：集合住宅建設工事

（1）調査体制

令和3年度

調 査 主 体：仙台市教育委員会

主任調査員：仙台市教育委員会生涯学習部文化財課 専門員 工藤 信一郎 専門員 主濱 光朗

調査補助員：株式会社シン技術コンサル 相澤 正信

調 査 期 間：令和3年（2021）9月16日～令和4年（2022）3月18日

調 査 面 積：遺構調査1区487.5㎡、2区の一部 下層調査69.4㎡

令和4年度

調 査 主 体：仙台市教育委員会

主任調査員：仙台市教育委員会生涯学習部文化財課 主事 柳澤 楓 専門員 工藤 信一郎

調査補助員：株式会社シン技術コンサル 北村 和穂

調 査 期 間：令和4年（2022）4月28日～令和4年（2022）7月29日

調 査 面 積：遺構調査2区522.7㎡ 下層調査43.22㎡

（2）調査報告書作成体制

令和4年度

主任調査員：仙台市教育委員会生涯学習部文化財課 主事 柳澤 楓 専門員 工藤 信一郎

調査補助員：株式会社シン技術コンサル 北村 和穂

整 理 期 間：令和4年（2022）8月1日～令和5年（2023）2月28日

第2章 遺跡の位置と環境

第1節 大野田古墳群の立地と地形

大野田古墳群は仙台市の南部、太白区大野田（地下鉄南北線富沢駅の東側）に所在している。遺跡は、東西590m、南北450mの範囲に合計44基の古墳が群集している。

仙台市域の地形は西部の丘陵地帯と東部の海岸平野に二分され、海岸平野の中で大野田地区を含む一帯は郡山低地と呼ばれている。郡山低地は南縁を名取川、北縁を広瀬川に囲まれた沖積地で、西縁は地質構造線：長町－利府構造線で丘陵地帯と画されている。また、郡山低地の中を荒川などの小河川が曲流していることから、これらの河川の影響を強く受け、自然堤防・旧河道・後背湿地が複雑に入り組んだ地形となっている。

大野田古墳群はこの地形のほぼ中央部に位置し、旧荒川南岸の自然堤防状の微高地と後背湿地に立地する。標高は10～12m前後で、西から東に緩やかに傾斜している。調査以前の土地利用は宅地及び畑地・水田である。

第2節 周辺の遺跡と歴史的環境

大野田古墳群のある名取川下流域は、仙台市内でも多数の遺跡が分布している地域である。ここでは富沢駅周辺土地区画整理事業関係遺跡の調査成果を中心に、大野田古墳群周辺の歴史的環境について概観したい。なお、大野田古墳群の周辺の遺跡と歴史的環境については、『大野田古墳群・王ノ壇遺跡・六反田遺跡 仙台市富沢駅周辺区画整理事業関係遺跡発掘調査報告書Ⅰ』（仙台市教育委員会2014）に詳しい記載があるため、これを参照していただきたい。



第1図 遺跡の位置

縄文時代

筑川流域の自然堤防上に多くの遺跡が確認されている。早期には低地への進出が始まり、下ノ内浦遺跡(23)には早期前半の竪穴住居跡がある。更に後期前半の配石遺構9基・墓壇120基・埋設土器からなる墓域が発見されている。前期から中期にかけては、富沢地区一帯が低湿地化したため活動の痕跡は希薄だが、中期末から後期にかけて遺跡数が増加する。下ノ内遺跡(22)では中期末葉の敷石住居跡、中期末葉～後期初頭の集落跡から竪穴住居跡・屋外炉・配石遺構などが発見されている。

伊古田遺跡(21)の後期中葉の遺物包含層からは、市の有形文化財となっている大型土偶4点が出土しており、うち1点は長さ41.4cmの国内最大級の土偶である。大野田遺跡(10)からは後期前半の遺構群と遺物包含層が発見されている。直径12mの環状集石群の中に、配石3基や22基の埋設土器がある。更にその外側には直径30mの範囲に、方形や円形に川原石を並べた配石群がある。この範囲の下位の面からも、遺物包含層や配石遺構、埋設土器が発見されている。多様な出土遺物には祭祀に関するものが多くみられ、特に土偶は約270点出土しているがハート型土偶が多く、高さ28.6cmの完形土偶が出土している。下ノ内浦遺跡や大野田遺跡から発見された配石の下には墓壇が掘り込まれており、埋設土器は乳幼児用の墓とみられることから、これらの遺構は長期にわたり営まれた共同墓地と考えられる。

古墳時代

前期末の大型古墳としては、広瀬川北岸に主軸長110mの遠見塚古墳が造られ、その周辺にある南小泉遺跡からは前期から終末期にかけての大規模な集落が確認されている。

中期後半になると郡山低地に古墳が造られる。古墳の分布は北部と南部に二分される。北部の古墳は丘陵縁辺部国道286号線沿いに分布している。東から兜塚古墳(帆立貝形・全長50m以上)・一塚古墳・二塚古墳・砂押古墳・金洗沢古墳・裏町古墳(前方後円墳・主軸長50～60m)などが並んでいる。

南部の古墳は、大野田地区に集中しており、五反田古墳・五反田木棺墓・五反田石棺墓の調査以来、これまでに44基の古墳が確認され群集墳を形成している。古墳群には、中型の前方後円墳である鳥居塚古墳(3)、前方後円墳の可能性もある春日社古墳(2)がほぼ中央部に位置している。春日社古墳からは二つの埋葬施設の一つから東北地方では初めてとなる革盾(市指定有形文化財)が出土し、革盾の上に鉄矛が1点置かれていた。そのほか鉄鏃が装着された矢30本が束ねられた状態で副葬されていた。

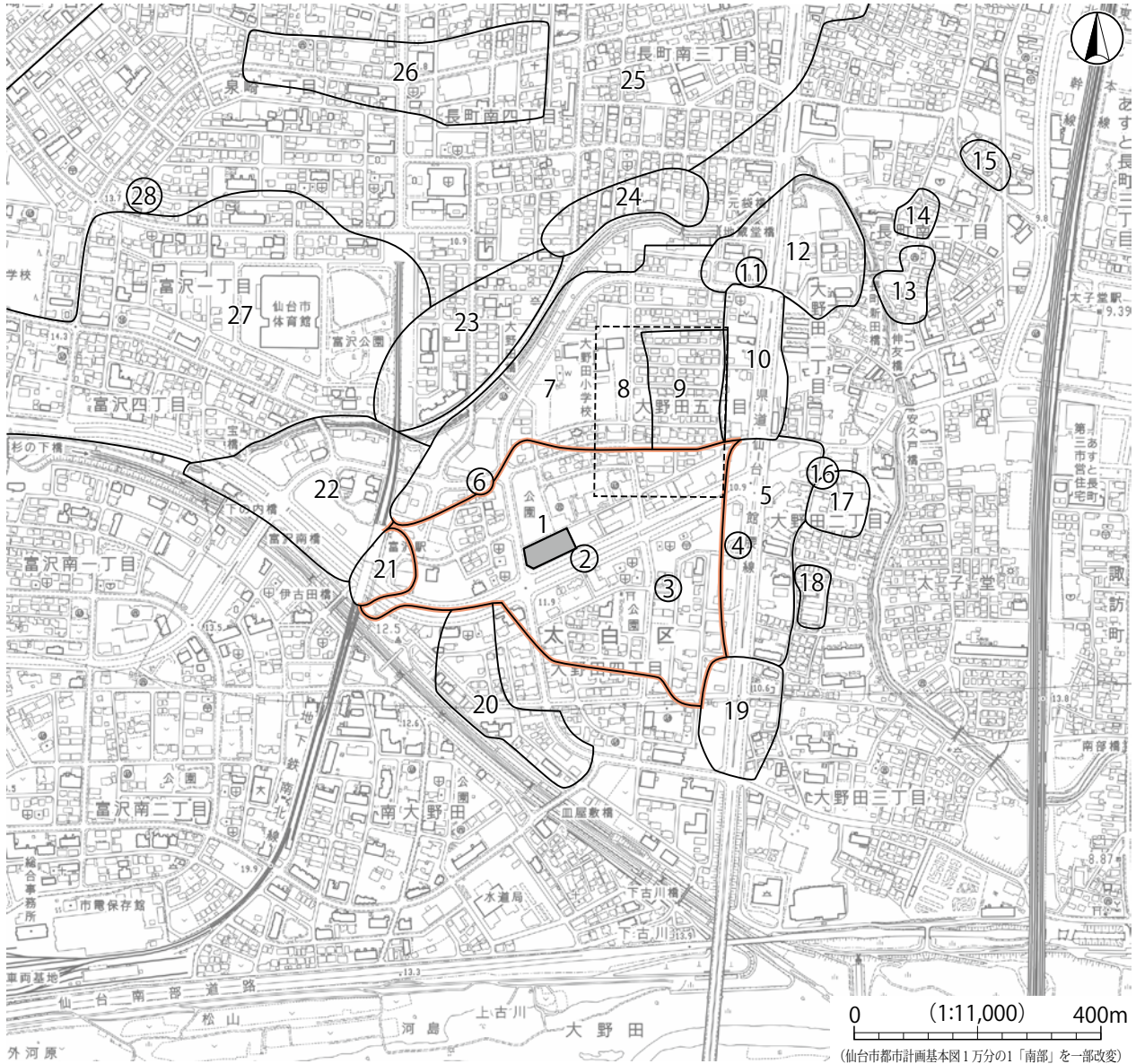
大野田地区周辺の集落跡は、前期の竪穴住居跡が大野田古墳群のほかに伊古田遺跡や下ノ内遺跡などから数軒みつかっているだけで、今回の調査のように畑の耕作痕と考えられる小溝状遺構群が多く確認されている。続く中期以降の集落跡はさらに少なく、下ノ内遺跡で2軒の竪穴住居跡が確認されているだけである。

古代

奈良時代中頃になると大野田地区周辺の遺跡でも集落の広がりが拡大し、その集落の分布は平安時代にかけてさらに増加し、竪穴住居や掘立柱建物が多数確認されている。また、地区のほぼ全域で奈良時代から平安時代の小溝状遺構群が多く確認され、活発な生産活動が行われたことがうかがえる。

大野田地区の北にある富沢遺跡(25)や西の山口遺跡(27)からは真北を基準とした水田跡が確認されており、条里型地割との関係性が推察されており、航空写真や地籍図などから条里型地割の復元が行われている。

大野田官衙遺跡(8)からは、真北方向を基軸とする掘立柱建物跡6棟と建物群を区画する大溝が発見されており、北東約1.5kmにある郡山遺跡Ⅱ期官衙に関連する官衙跡と考えられている。



(仙台市都市計画基本図1万分の1「南部」を一部改変)

No	遺跡名	種別	立地	時代	No	遺跡名	種別	立地	時代
1	大野田古墳群	群集墳	自然堤防	古墳中期後半～後期	15	長町六丁目遺跡	散布地	自然堤防	奈良・平安
2	春日社古墳	円墳	自然堤防	古墳後期前半	16	北屋敷板碑	板碑	自然堤防	中世
3	鳥居塚古墳	前方後円墳	自然堤防	古墳後期前半	17	北屋敷遺跡	散布地	自然堤防	奈良・平安
4	王ノ壇古墳	円墳	自然堤防	古墳後期前半	18	長町清水遺跡	散布地・古墳?	自然堤防	古墳
5	王ノ壇遺跡	集落跡・屋敷跡	自然堤防	縄文・弥生～中世	19	皿屋敷遺跡	集落跡・水田跡他	自然堤防・後背湿地	縄文・奈良～近世
6	五反田古墳	円墳	自然堤防	古墳後期前半	20	伊古田Ⅱ遺跡	畑跡	自然堤防	古墳～平安
7	六反田遺跡	集落跡・墓・畑跡	自然堤防	縄文～古墳・平安～近世	21	伊古田遺跡	集落跡	自然堤防	縄文・古墳～平安
8	大野田官衙遺跡	官衙跡	自然堤防	古墳～奈良	22	下ノ内遺跡	集落跡・墓・畑跡	自然堤防	縄文・弥生・奈良～近世
9	袋前遺跡	集落跡	自然堤防	縄文・古墳～平安	23	下ノ内浦遺跡	集落跡	自然堤防	縄文～近世
10	大野田遺跡	集落跡	自然堤防	縄文・古墳～平安	24	袋東遺跡	散布地	自然堤防	古墳・平安
11	元袋坂碑群	板碑群	自然堤防	鎌倉	25	富沢遺跡	水田跡・包含地	後背湿地	旧石器～近世
12	元袋遺跡	集落跡・屋敷跡	自然堤防	縄文・弥生・奈良～近世	26	泉崎浦遺跡	水田跡・墓他	自然堤防・後背湿地	縄文～近世
13	新田遺跡	散布地	自然堤防	奈良・平安	27	山口遺跡	集落跡・水田跡他	自然堤防・後背湿地	縄文～近世
14	長町南遺跡	散布地	自然堤防	奈良・平安	28	教塚古墳	円墳	自然堤防	古墳後期前半

第2図 大野田古墳群と周辺の遺跡

第3章 調査の方法と概要

第1節 調査方法と調査区設定

今回の調査については、仙台市職員が常駐する発掘調査支援業務として実施することとなった。事業地2904.13㎡のうち、駐車場棟部分は設計変更により調査対象から外れ、建物本体部分1509.83㎡のうち、地中梁範囲については掘削深度までは全域を調査対象とするが、その下層については調査から除外し外周部分のみを調査対象とする変則的な調査となった(第3図)。また、残土処理の関係から折返しによる調査計画となり、令和3年度は建築予定範囲の東側の1区487.5㎡を対象に行い、令和4年度に西側の2区522.7㎡の調査を行った。

第2節 調査概要

(1) 調査経過

発掘調査の実施にあたり、表土掘削及び外周防護柵設置については仙台市が行い、9月下旬から東半部1区を対象に表土掘削を開始した。その後10月上旬から調査の実施をシン技術コンサルに引継ぎ、作業員による調査区の整形及び排水溝の整備を行った。その結果、調査区南側で区画整理以前の道路跡があり、この範囲ではV a層までの遺構確認面は削平されていることを確認した。10月中旬から部分的に残るⅢ層上面での遺構確認作業を開始し、その後は人力による掘下げを行いながらIV a層及びV a層での遺構確認作業を行い、古墳時代後期から奈良時代の小溝状遺構群を確認した。

小溝状遺構群の調査終了後、地中梁範囲を除く外周部で下層遺構確認を目的に、5カ所の調査区を設定し掘下げを行った。その結果、トレンチAのVI層上面で縄文時代後期の竪穴住居跡1軒を確認した。令和4年1月下旬から1区の埋戻しと次年度調査区2区の表土掘削を行い、1区と同様に道路跡による遺構面の削平があることを確認した。その後Ⅲ層上面での遺構確認及び調査を行った。

令和4年度調査は5月上旬から開始し、Ⅲ層～V a層までの小溝状遺構群を中心とする調査を行った。その後3カ所の下層調査区を設定し掘下げを行った。トレンチHのVI層上面で縄文時代後期の竪穴住居跡2軒を確認し調査を終了した。

(2) 測量基準・図面の作成

測量は、世界測地系(測地成果2011)を基準としている。5 m × 10 mを単位とする1/20平面区配図を作成した。調査区北西端を01とし、南東端の53まで番号を付して遺構図面の作成を行った。本文中で遺構の所在位置を示す場合は、この番号をグリッド番号として使用している(第3図)。

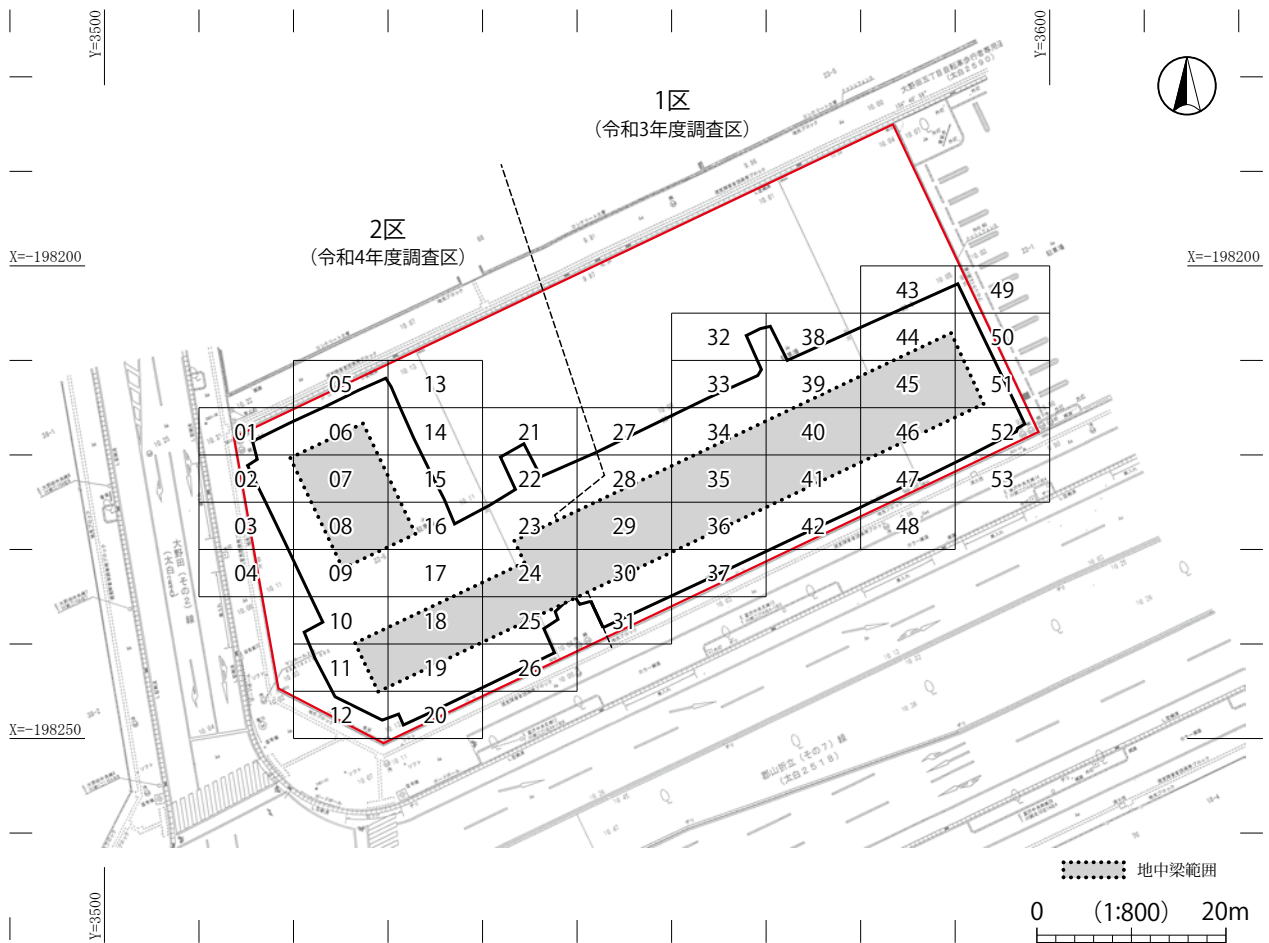
整理作業の段階で、各遺構について遺構観察カードを作成し、事実記載及び調査時の所見を記録している。

(3) 遺構登録番号

登録番号については、今回の調査区での番号とした。小溝状遺構群については、2年次調査においても初年度調査からの番号の通し番号としたが、整理作業時に小溝状遺構群の再検討を行い、あらためて北西端を起点とする群番号や枝番号への見直しを行い、番号の付替えを行ったことから調査記録の修正を行っている。

(4) 調査報告書作成作業

調査報告書作成にむけた整理作業については、仙台市太白区中田に所在する株式会社シン技術コンサル東北支店で行った。出土遺物の基礎整理(水洗・注記・接合)、登録・実測図作成・トレース、遺構原図の測量データ整理・



第3図 調査区配置図・グリッド配置図

編集、遺構図版・遺物図版・写真図版の作成・編集、報告書全体の編集・原稿執筆などを行い、この間必要に応じて整理作業内容の確認と協議を行っている。特に、遺物実測図及びデジタルトレースについては、仙台市の発掘調査事務所において点検を行った。



1区IV層上面 小溝状遺構群確認状況(南東から)



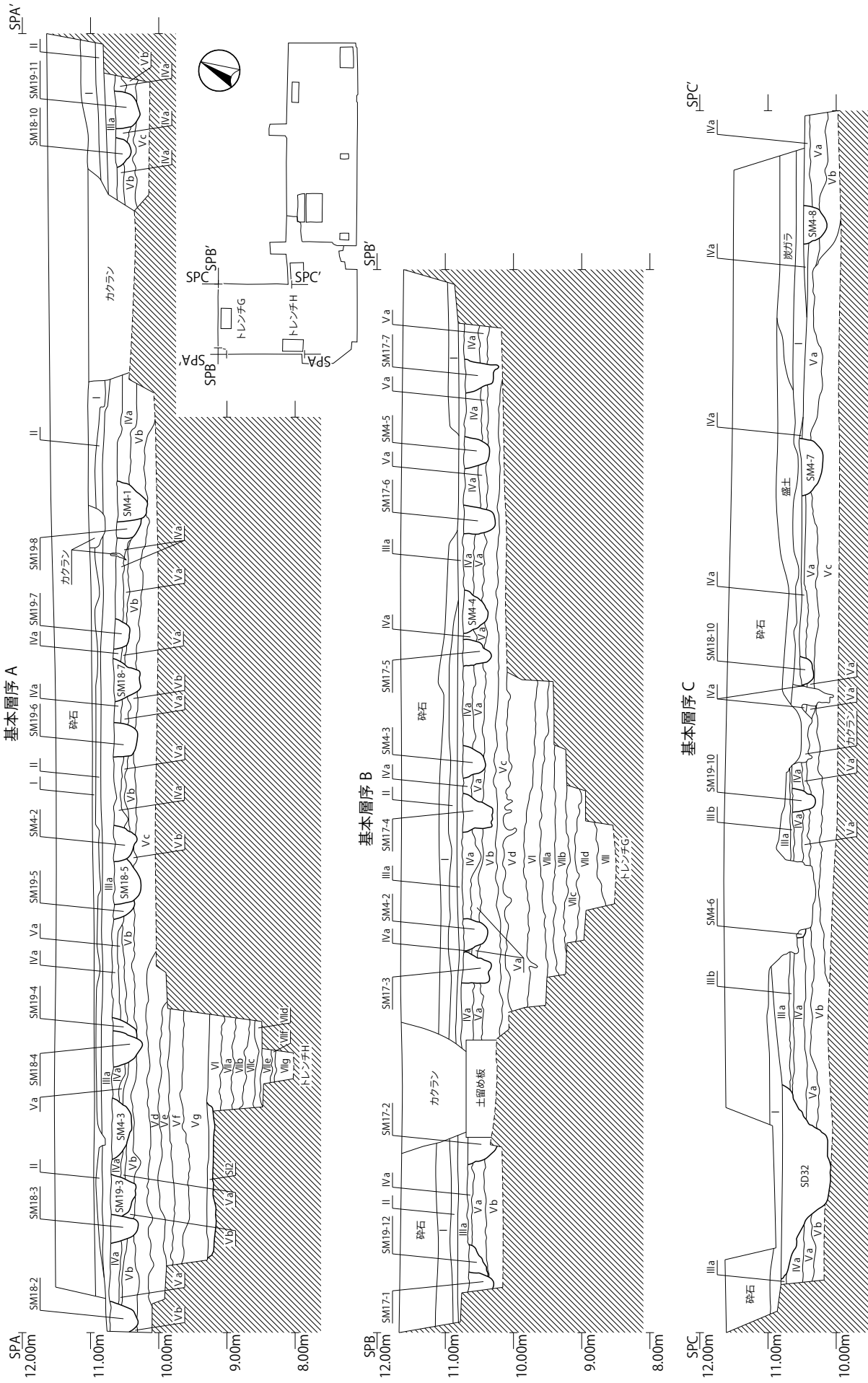
2区IV層上面 小溝状遺構群確認状況(北から)

第4章 基本層序

第1節 基本層序(第4～6図)

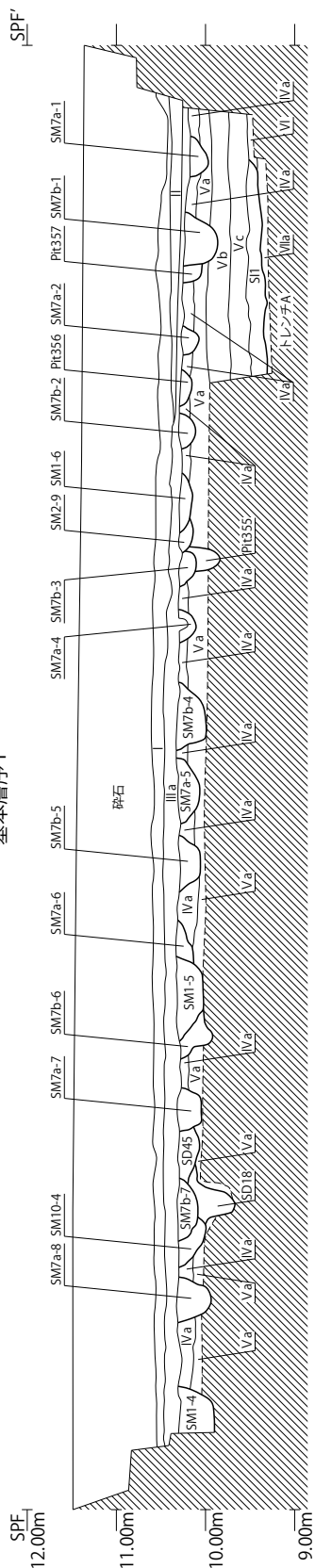
今回の調査地点は駐車場として利用されており、碎石が60～70cmの厚みで敷かれていた。それ以前は宅地や水田・畑地であり、碎石下の基本土層は、近・現代の耕作土をⅠ層、近世から近代の耕作土をⅡ層とした。既存調査との層の整合については、小溝状遺構群の確認面をⅣ層、炭化物を含有し縄文土器が出土するⅥ層、基盤層となるⅧ層を鍵層とした。Ⅴ・Ⅶ層は洪水堆積層と考えられ、地点によって堆積状況が異なるため、それぞれa～gの7層に細分した。遺構確認は基本的にⅢa層上面、Ⅳa層上面、Ⅴa層上面、Ⅵ層上面で行ったが、Ⅲa層・Ⅳa層・Ⅴa層に関しては残存状況に相違がみられるため、確認面は総称してⅢ層・Ⅳ層・Ⅴ層と呼称している。以下、今回の調査における基本層序の特徴を記載する。

- Ⅰ層：青灰色(5B5/1)粘土質シルト。褐灰色シルト・酸化鉄を少量含む。碎石下の水田耕作土である。2区西側ではにぶい黄褐色シルトとなり、宅地または畑地部分に相当すると考えられる。
- Ⅱ層：黒褐色(10YR3/2)シルト。炭化物粒を微量含む。Ⅲ層との層理面にマンガン粒・酸化鉄を含む。ほとんどがⅠ層と同化しているが、部分的に確認できる。近世から近代の耕作土と考えられる。
- Ⅲa層：にぶい黄褐色(10YR4/3)シルト。マンガン粒を少量含む。1区では残存状況が悪い。上面を1面目の遺構確認面とした。
- Ⅲb層：灰黄褐色(10YR4/2)シルト。にぶい黄褐色シルトを多量含む。
- Ⅳa層：暗褐色(10YR3/3)粘土質シルト。にぶい黄褐色シルトを少量含む。1区北西部では黒みが増し黒褐色(10YR3/2)となる。上面を2面目の遺構確認面とした。
- Ⅳb層：暗褐色(10YR3/4)粘土質シルト。灰白色シルト粒(2～5mm)を少量含む。1区北西部でのみ確認した。
- Ⅴa層：にぶい黄褐色(10YR4/3)シルト。暗褐色シルトを少量含む。上面を3面目の遺構確認面とした。
- Ⅴb層：にぶい黄褐色(10YR5/4)シルト。
- Ⅴc層：褐色(10YR4/4)砂質シルト。炭化物粒(1～2mm)・凝灰岩粒(2～5mm)を微量含む。
- Ⅴd層：にぶい黄褐色(10YR4/3)細砂。にぶい黄褐色シルト・褐色シルトを少量含む。
- Ⅴe層：褐色(10YR4/4)シルト。
- Ⅴf層：褐色(10YR4/4)砂質シルト。
- Ⅴg層：褐色(10YR4/4)シルト。砂層との互層。灰黄褐色砂を多量、にぶい黄褐色シルトを少量、炭化物粒(5mm以下)を微量含む。
- Ⅵ層：暗褐色(10YR3/4)シルト。にぶい黄褐色シルト・炭化物粒(3～10mm)を少量含む。縄文土器の包含層である。トレンチBでは確認できなかった。上面を4面目の遺構確認面とした。
- Ⅶa層：褐色(10YR4/4)砂質シルト。にぶい黄褐色シルトを少量、炭化物粒(5mm以下)を微量含む。
- Ⅶb層：褐色(10YR4/4)シルト。
- Ⅶc層：にぶい黄褐色(10YR4/3)細砂。
- Ⅶd層：褐色(10YR4/6)シルト。
- Ⅶe層：にぶい黄褐色(10YR4/3)細砂。
- Ⅶf層：褐色(10YR4/4)シルト。
- Ⅶg層：にぶい黄褐色(10YR4/3)粗砂。
- Ⅷ層：褐灰色(10YR4/1)砂礫。1区北西部では小礫(30～50mm)、そのほかでは礫(100mm～200mm)を多量に含む。基盤層となる。

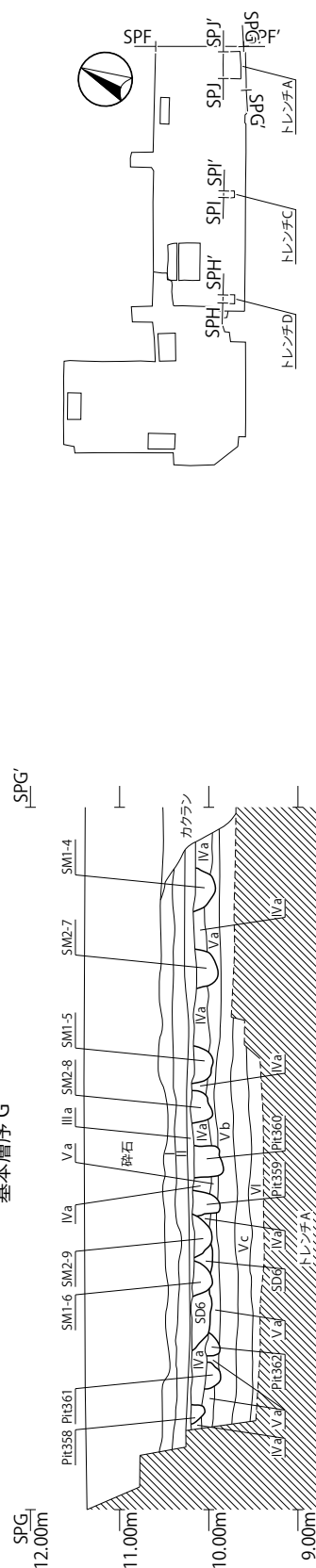


第4図 基本層序(1)

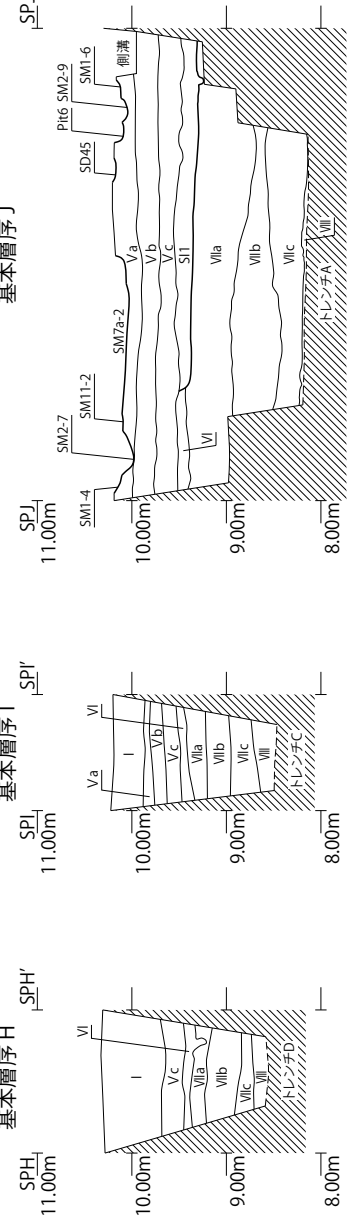
基本層序 F



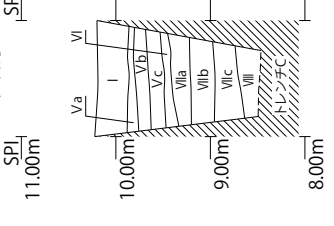
基本層序 G



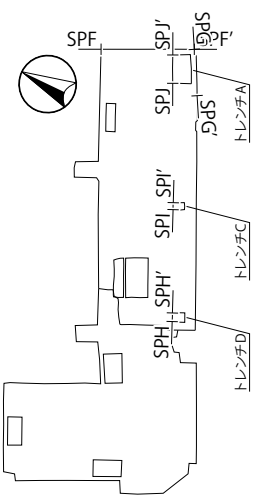
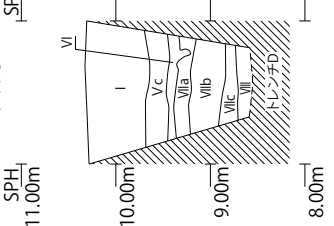
基本層序 J



基本層序 I



基本層序 H



第6図 基本層序 (3)

第5章 検出遺構と出土遺物

今回の調査で確認した遺構は次の通りである。

Ⅲ層上面確認遺構

溝跡4条(SD32～35)、ピット14基(Pit1～4・269～278)

Ⅳ層上面確認遺構

小溝状遺構群16群(SM1～7・9～14・17～19)、溝跡6条(SD1・2・6・14・44・45)、土坑2基(SK1・3)、ピット69基(Pit5～16・36・37・75・100・114・116・117・120・134・146・150・154・159・160・165～167・279～300・343～360)

Ⅴ層上面確認遺構

小溝状遺構群2群(SM15・16)、溝跡30条(SD3～5・7～13・15・16・18・20・22～26・28・29・31・36～43)、土坑2基(SK2・4)、ピット279基(Pit17～35・38～74・76～99・101～113・115・118・119・121～133・135～145・147～149・151～153・155～158・161～164・168～268・301～342・361・362)、性格不明遺構2基(SX1・2)

Ⅵ層上面確認遺構

竪穴住居跡3軒(SI1～3)

以下、遺構確認面ごとに遺構と遺物について説明する。

第1節 Ⅲ層上面の遺構と遺物(第7～10図)

Ⅲ層上面において確認した遺構は、1区でピット4基(Pit1～4)、2区で溝跡4条(SD32～35)、ピット10基(Pit269～278)である。

Ⅲ層は壁面でみるとほぼ全域に広がっているが、重機掘削時にⅣ層上面を確認面として掘り下げたため、平面的には東側と西側の一部に残存する形となっている。

(1) 溝跡(第7～10図)

SD32溝跡(第7～10図)

2区、05～11・14・15グリッドに位置する。北端部は調査区外へ延び、中央・南端部は攪乱に壊される。

方位はN-0～10°-Eで、南北方向へ直線的に延びる。規模は長さ27.90m以上、上端幅114～158cm、下端幅29～66cm、深さ24～77cmを測る。相対的に南側の底面標高が高いため、南から北へ傾斜していると思われる。比高差は4cmほどである。断面形状は全体的に台形を呈するが、一部V字状を呈する。底面標高の僅かな変化はあるが、目立った起伏はない。堆積土は3層に分層でき、黒色ないし暗褐色砂質シルトを主体とする自然堆積である。堆積状況から水の流入が想定され、その際に運ばれた土砂によって埋没したものと考えられる。また、堆積土の中層に灰白色火山灰が混入している。

遺物は土師器・須恵器の破片が出土した。このうち、2層から出土したロクロ土師器2点を図化した(第10図-1・2)。1・2は、ともに坏であり、外面体部にロクロナデ、体部下位に手持ちヘラケズリが施され、底部は回転糸切である。2は口縁部片も出土したが接合できず、図上復元を行った。内面はヘラミガキで調整され、黒色処理されている。両者とも9世紀後半から10世紀前半の所産と推定される。



Y= 3520
Y= 3530
Y= 3540
Y= 3550
Y= 3560
Y= 3570
Y= 3580
Y= 3590

X=-198200 —

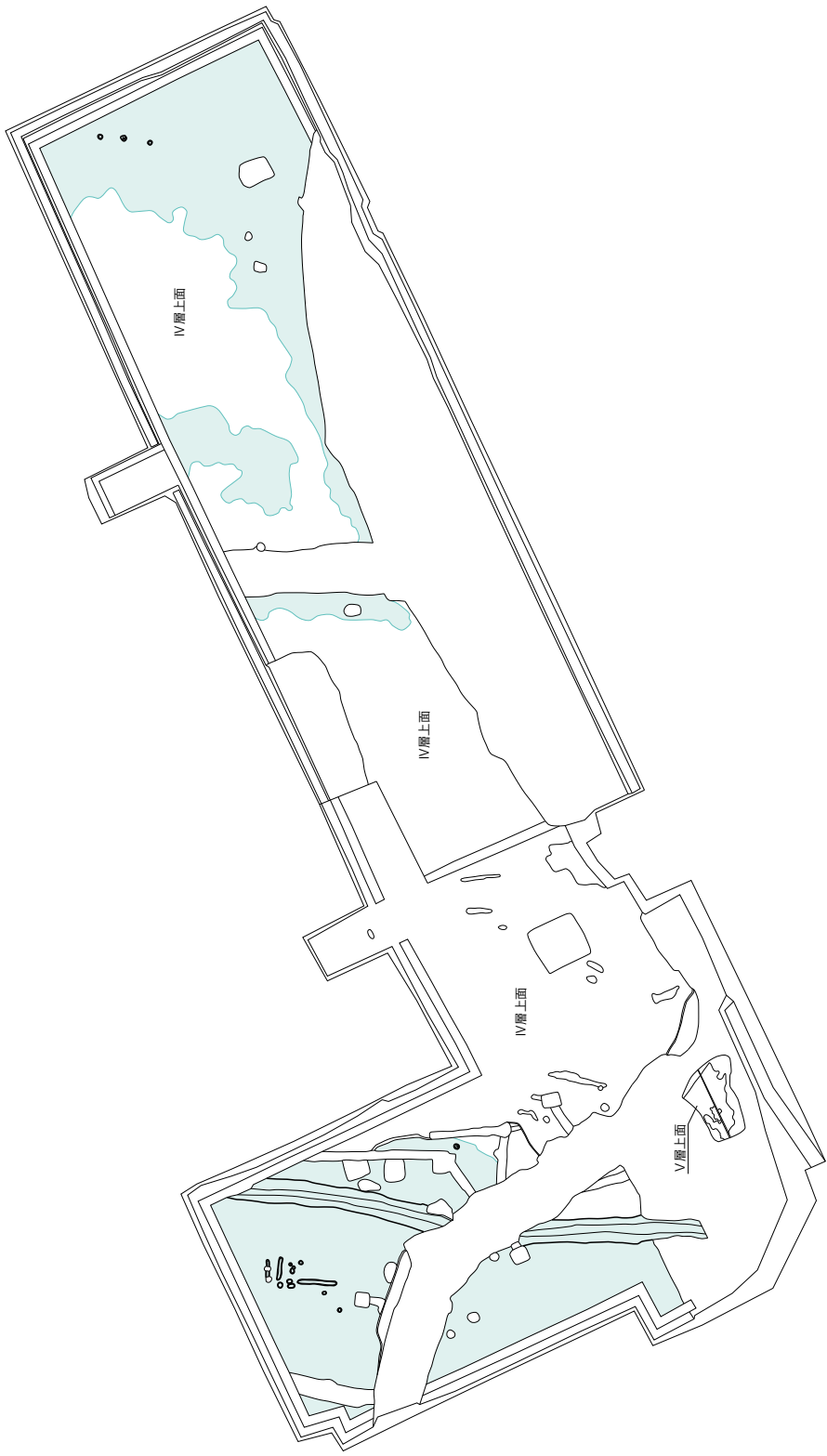
X=-198210 —

X=-198220 —

X=-198230 —

X=-198240 —

X=-198250 —



III層残存範囲

第7図 III層上面全体図

SD33 溝跡 (第7～9図)

2区、06・07グリッドに位置する。

方位はN-2°-Eで、南北方向へ直線的に延びる。規模は長さ2.25m、上端幅25～27cm、下端幅15～19cm、深さ3～4cmを測る。断面形状は弧状を呈する。底面に起伏はなく、傾斜もみられない。堆積土は単層で、暗褐色砂質シルトを主体とする自然堆積である。

遺物は出土していない。

SD34 溝跡 (第7～9図)

2区、06グリッドに位置する。

方位はN-80°-Wで、東西方向へ直線的に延びる。規模は長さ1.31m、上端幅20～25cm、下端幅13～14cm、深さ4～8cmを測る。断面形状は台形を呈する。底面に起伏はなく、傾斜もみられない。堆積土は単層で、暗褐色砂質シルトを主体とする自然堆積である。性格や関係性は不明であるが、同規模のSD35と約50cmの間隔で並行する。

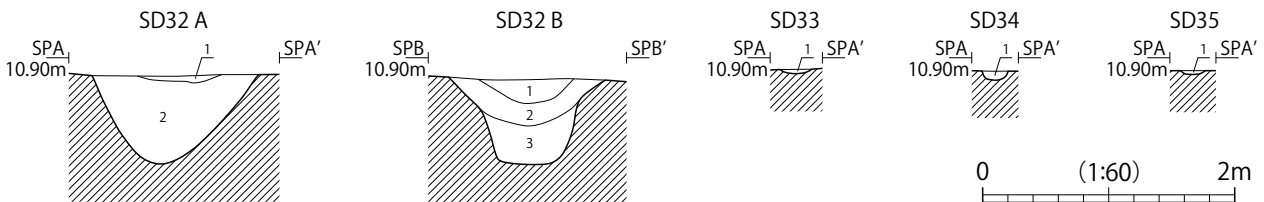
遺物は出土していない。

SD35 溝跡 (第7～9図)

2区、06グリッドに位置する。中央と西側を攪乱に壊される。

方位はN-90°-Eで、東西方向へ直線的に延びる。規模は長さ0.98m以上、上端幅15～21cm、下端幅8～13cm、深さ3～4cmを測る。断面形状は弧状を呈する。底面に起伏はなく、傾斜もみられない。堆積土は単層で、暗褐色砂質シルトを主体とする自然堆積である。性格や関係性は不明であるが、同規模のSD34と約50cmの間隔で並行する。

遺物は出土していない。



第9図 溝跡(Ⅲ層上面)断面図

溝跡(Ⅲ層上面)観察表

遺構名	グリッド	方向(N-°-)	規模(cm)			層位	土色	土性	備考	重複	
			全長	上端幅	下端幅						深さ
SD32	05～11・14・15	10E	(2790)	114～158	29～66	24～77	1	10YR2/1 黒色	砂質シルト	石英(1～3mm)・粗砂を多量含む。	
							2	10YR3/3 暗褐色	砂質シルト	V層土ブロック(10～30mm)を少量、焼土・炭化物(1～2mm)を微量含む。	
							3	10YR3/3 暗褐色	砂質シルト	上部に灰白色火山灰、下位に粗砂をラミナ状に含む。	
SD33	06・07	2E	225	25～27	15～19	3～4	1	10YR3/3 暗褐色	砂質シルト	V層土ブロック(5～10mm)を少量、炭化物(5～10mm)を微量含む。	
SD34	06	80W	131	20～25	13～14	4～8	1	10YR3/3 暗褐色	砂質シルト	V層土ブロック(5～10mm)を少量、炭化物(5～10mm)を微量含む。	
SD35	06	90E	(98)	15～21	8～13	3～4	1	10YR3/3 暗褐色	砂質シルト	V層土ブロック(5～10mm)を少量、炭化物(5～10mm)を微量含む。	

(2) ピット (第7・8図)

ピットは、1区で4基、2区で10基の合計14基を確認した。分布は1区の東側、2区の北側に限られる。1区のPit1、Pit2・3、Pit4が南北方向にほぼ等間隔で並ぶ。2区では溝跡とともに北側に分布がまとまっているが、配置に規則性はみられず、遺物も出土していない。

ピット (Ⅲ層上面) 観察表

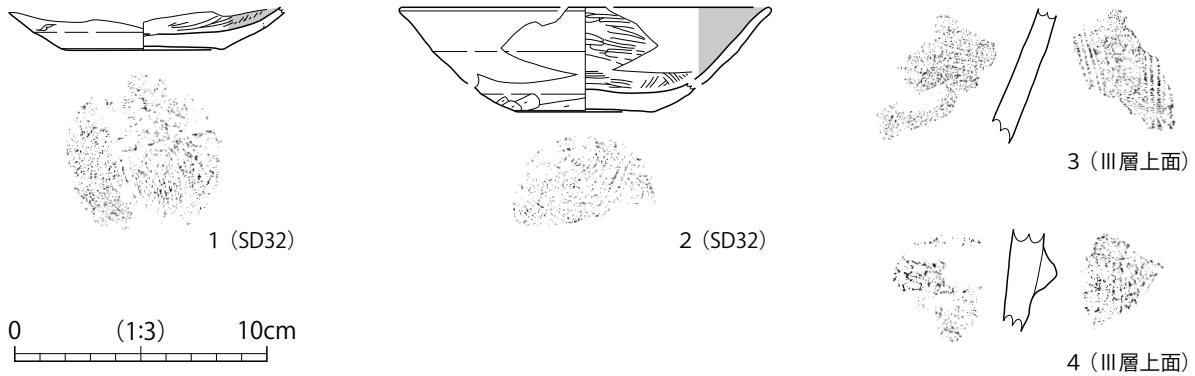
遺構名	グリッド	平面形	規模 (cm)		層位	土色	土性	備考	重複
			長軸×短軸	深さ					
Pit1	44・50	円形	29×27	18	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック (5～10mm) を少量含む。	
					2	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック (5～10mm) を多量含む。	
Pit2	44・50	楕円形	30×20	18	1	10YR4/2 灰黄褐色	粘土質シルト	V層土ブロック (5～10mm) を微量含む。	Pit3より新しい。
					2	10YR4/3 にぶい黄褐色	粘土質シルト	V層土ブロック (5～10mm) を多量含む。	
Pit3	44	(楕円形)	27×(19)	22	1	10YR3/2 黒褐色	粘土質シルト	V層土ブロック (5～10mm) を少量含む。	Pit2より古い。
					2	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック (10～30mm) を多量含む。	
Pit4	44・45	円形	26×26	14	1	10YR4/2 灰黄褐色	粘土質シルト	V層土ブロック (5～10mm) を微量含む。	
					2	10YR4/3 にぶい黄褐色	粘土質シルト	V層土ブロック (5～10mm) を多量含む。	
Pit269	07	円形	25×24	7	1	10YR3/2 黒褐色	粘土質シルト	V層土ブロック (5～10mm) を少量含む。	
Pit270	06・07	楕円形	23×18	7	1	10YR3/2 黒褐色	粘土質シルト	Ⅲ層土ブロック (5～10mm) を少量含む。	
Pit271	06	楕円形	41×25	10	1	10YR3/2 黒褐色	粘土質シルト	Ⅲ層土ブロック (5～10mm) を少量含む。	
Pit272	06	楕円形	32×24	7	1	10YR3/2 黒褐色	粘土質シルト	Ⅲ層土ブロック (5～10mm) を少量含む。	
Pit273	06	円形	33×29	2	1	10YR3/2 黒褐色	粘土質シルト	Ⅲ層土ブロック (5～10mm) を少量含む。	
Pit274	06	円形	19×17	5	1	10YR3/2 黒褐色	粘土質シルト	Ⅲ層土ブロック (5～10mm) を少量含む。	Pit275より新しい。
Pit275	06	楕円形	32×25	4	1	10YR3/2 黒褐色	粘土質シルト	Ⅲ層土ブロック (5～10mm) を少量含む。	Pit274より古い。
Pit276	06	円形	18×17	6	1	10YR3/2 黒褐色	粘土質シルト	Ⅲ層土ブロック (5～10mm) を少量含む。	
Pit277	06	円形	25×23	3	1	10YR3/2 黒褐色	粘土質シルト	Ⅲ層土ブロック (5～10mm) を少量含む。	
Pit278	16	円形	32×29	33	1	10YR3/2 黒褐色	粘土質シルト	Ⅲ層土ブロック (5～10mm) を少量含む。	

(3) 遺構外出土遺物 (第10図)

Ⅲ層上面の遺構外からは、土師器・須恵器・磨石などが出土した。このうち、陶器と埴輪各1点を図化した(第10図-3・4)。

3は陶器の片口鉢で、内外面ロクロナデにより整形されている。内面の卸目は1単位最大5条確認でき、幅は11mm以上である。中世の所産と推定される。

4は円筒埴輪で、外面に凸帯が確認できる。凸帯の上下はナデで調整されている。5世紀後半から6世紀初頭の所産と推定される。



第10図 SD32・Ⅲ層上面遺構外出土遺物

SD32

図版番号	登録番号	出土地点	層位	種別	器種	法量 (cm)			外面調整	内面調整	備考	写真図版
						口径	底径	器高				
1	D-1	SD32	2層	土師器	環	—	6.2	(1.7)	体部：叻ナデ 底部：回転糸切	ヘリミガキ	内面黒色処理 内外面やや摩滅	13-1
2	D-2	SD32	2層	土師器	環	(14.8)	(5.3)	(4.2)	体部：叻ナデ 体部下位：手持ちヘリナリ 底部：回転糸切	ヘリミガキ	内面黒色処理 内面やや摩滅	13-2 1・2

Ⅲ層上面遺構外

図版番号	登録番号	出土地点	層位	種別	器種	法量 (cm)			外面調整	内面調整	備考	写真図版
						口径	底径	器高				
3	I-1	2区	Ⅲ層	陶器	片口鉢	—	—	(5.3)	叻ナデ	叻ナデ→卸目1単位5条以上		13-3
4	S-1	2区	Ⅲ層	埴輪	円筒埴輪	器高(4.1)			凸帯	不明	内外面摩滅	13-4

第2節 IV層上面の遺構と遺物(第11～22図)

IV層上面において確認した遺構は、小溝状遺構群16群(SM1～7・9～14・17～19)、溝跡6条(SD1・2・6・14・44・45)、土坑2基(SK1・3)、ピット69基(Pit5～16・36・37・75・100・114・116・117・120・134・146・150・154・159・160・165～167・279～300・343～360)である。

IV層上面の全域に分布しているのが小溝状遺構群であり、今回の調査における主要な遺構である。IV層上面では小溝状遺構183条を確認し、方向や形状などから16群に割り当てた。過去の調査例では平面形態がほぼ直線となるため、今回確認した角度が変わるものは、別群の小溝状遺構を同時に調査してしまった可能性がある。溝跡は、規模や堆積土が小溝状遺構に似ているが、方向や間隔などから小溝状遺構群に組み込めなかったものである。

遺物は、土師器を中心に須恵器・円筒埴輪・縄文土器などが出土した。

(1) 小溝状遺構群(第11～19図)

SM1小溝状遺構群(第11・12・16・19図)

SM1-1～6の計6条が該当し、1区東側、43～46・50～52グリッドに位置する。SM1-1～3の南側は攪乱に壊されるが、南側と北側は調査区外へと延びていくと推定される。SD1より古く、SM2・7a・7b・11、SD45、Pit345・346・351・353より新しい。確認した範囲は、南北14.9m、東西11.2mに及ぶ。各溝間の間隔は、128～277cmであり、平均すると169cmである。SM1-1・2・3で顕著であるが、北側でSM1-1は西に、SM1-2・3は東に角度が変わる。北側と南側では本来別群であった可能性があり、さらにSM1-1とSM1-2では反対方向に角度が変わっていることから、別群であった可能性も考えられる。

各溝をみていくと、方位はN-16°-W～N-6°-Eで、平均するとN-7.3°-Wである。平面形状は直線を呈する。確認した規模は、長さが最長で15.94mあり、幅は27～74cmで平均48.2cm、深さは7～29cmで平均14.6cmである。断面形状は台形を呈する。底面に起伏はなく、概ね平坦である。堆積土は単層で、暗褐色粘土質シルトを主体とする。

遺物はSM1-2より埴輪が、SM1-3より須恵器が、SM1-4より縄文土器・土師器が出土した。このうち、SM1-3から出土した須恵器1点を図化した(第19図-1)。1は甕の頸部から肩部片である。外面は口縁から頸部にかけてロクロナデがみられ、肩部には平行タタキがみられる。内面はアテ具痕がみられ、その後へラナデにより調整されている。外面の肩部と内面の口縁部に灰を被った痕がみられる。胎土にはわずかに海綿骨針を含む。

SM2小溝状遺構群(第11～13・16図)

SM2-1～9までの計9条が該当し、1区南東側、40・44～46・51・52グリッドに位置する。SM2-1～6の南側は攪乱に壊されるが、南側は調査区外へと延びていくと推定される。SM1、Pit6より古く、SM4・7a・7b・11、Pit355・359より新しい。確認した範囲は、南北11.8m、東西16.4mに及ぶ。SM2-7を最長として確認しているが、北側において東へ角度を変えており、SM1と同様に北側は別群の可能性もある。本来のSM2は、SM2-4・5の北端が最北の範囲であった可能性がある。各溝間の間隔は83～239cmであり、平均すると161cmである。

各溝をみていくと、方位はN-22°-W～N-9°-Eで、平均するとN-8.2°-Wである。平面形状は直線を呈する。確認した規模は、長さが最長で11.35mあり、幅は28～63cmで平均37.9cm、深さは5～26cmで平均14.5cmを測る。断面形状はU字もしくは弧状を呈する。底面に起伏はなく、概ね平坦である。堆積土は単層で、黒褐色から暗褐色粘土質シルトを主体とする。

遺物は出土していない。



第15図 IV層上面遺構配置図(4)

SM3小溝状遺構群(第11～13・16・19図)

SM3-1～9の計9条が該当し、1区中央やや東寄り、39・40・45・46グリッドに位置する。SM4・6・7a・7b・10・12より新しい。確認した範囲は、南北7m、東西11mに及ぶ。各溝間の間隔は25～187cmであり、SM3-3・8の左右が狭くなる。この2条を除くと間隔がおおよそ等しくなるが、方位を同じくすることからSM3のまま記録した。

各溝をみていくと、方位はN-7°-W～N-4°-Eで、平均するとN-2.8°-Wである。平面形状は直線を呈する。確認した規模は、長さが最長で6.78mであり、幅は21～46cmで平均32.3cm、深さは3～15cmで平均9.3cmである。断面形状はU字もしくは弧状を呈する。底面に起伏はなく、概ね平坦である。堆積土は単層で、黒褐色粘土質シルトを主体とする。

遺物はSM3-8から土師器が、SM3-2～4から須恵器が出土した。このうち、SM3-3から出土した須恵器1点を図化した(第19図-2)。2は甕の口縁部片であり、2点ある。接合しなかったが同一個体であるため、写真図版に並べた(写真図版13-6)。内外面ロクロナデにより調整され、灰を被った痕がみられる。

SM4小溝状遺構群(第11～17・19図)

SM4-1～28の計28条が該当し、2区西端から1区中央東寄りまで、02・03・05～11・14～19・21～26・28～30・32～36・38～41グリッドに位置する。南側は攪乱に壊されるところもあるが、北側及び南側は調査区外に続く。SM2・3、SK3、Pit279・281・282・292・293より古く、SM5a・5b・6・9・12・13・17～19、SD2、Pit10・11・166・344より新しい。確認した範囲は、南北40.5m、東西57mに及ぶ。各溝間の間隔は66～359cmであるが、SM4-21～22間には攪乱があり、間にもう1条入る可能性がある。SM4-21～22間の間隔を除外すると260cmが最大の間隔となる。また、SM4-6より西側は方位がほかのものとは比べてやや西に傾く傾向がある。

各溝をみていくと、方位はN-9°-W～N-21°-Eで、平均するとN-7.1°-Eである。平面形状は直線を呈する。確認した規模は、長さが最長で25.49mあり、幅は21～74cmで平均45.7cm、深さは7～40cmで平均18.7cmである。断面形状はおおよそ台形を呈する。底面に起伏はなく、概ね平坦である。堆積土は単層または2層で、暗褐色シルトや黒褐色粘土質シルトを主体とする。

遺物はSM4-1～4・12・20から土師器が、SM4-25～27から須恵器が出土した。このうち、SM4-25から出土した須恵器1点を図化した(第19図-3)。3は甕の胴部片であり、SM4-25と周辺のIV層上面からそれぞれ出土した破片が接合したものである。近くで出土した第22図-5と胎土が似ており、同一個体の可能性がある。外面は平行タタキ、内面は上半にアテ具痕がみられ、下半にナデによる調整がみられる。胎土にはわずかに海綿骨針を含む。

SM5小溝状遺構群(第11・13・14・17図)

SM5a-1～11、SM5b-1～6の計17条が該当し、1区西側と2区東側、17・18・21～26・28～30・34～36グリッドに位置する。南側は攪乱に壊される。SM4、SK3、Pit10より古く、SM6・9、SD2、Pit12より新しい。確認した範囲は、SM5aが南北20.5m、東西23.7mで、SM5bが南北15.5m、東西23mに及ぶ。各溝間の間隔はSM5aが121～239cm、SM5bが123～350cmである。SM5aとSM5bは方向が同じであるため、現地調査時は同群として扱っていたが、2区でSM5bが確認できない部分があることから整理作業時に細分した。

各溝をみていくと、方位はSM5aがN-89°-W～N-70°-Eで、平均するとN-81.8°-W、SM5bがN-87°-W～N-72°-Eで、平均するとN-88.3°-Eである。平面形状は直線を呈する。確認した規模は、長さが最長でSM5aが20.59m、SM5bが21.48mある。幅はSM5aが21～62cmで平均38.5cm、SM5bが24～63cmで平均41.2cmである。深さはSM5aが2～32cmで平均11.5cm、SM5bが3～19cmで平均10.8cmである。断面形状はおおよそ台形を

呈する。底面に起伏はなく、概ね平坦である。堆積土は単層で、黒褐色シルトやにぶい黄褐色シルトを主体とする。
遺物はSM5b-1から縄文土器が、SM5b-2・5から土師器が出土したが、小破片のため、図化できなかった。

SM6小溝状遺構群(第11～14・17図)

SM6-1～13の計13条が該当し、1区中央西寄り、28・29・32～36・38～41グリッドに位置する。南側は攪乱に壊され、北側は調査区外に続くものと推定される。SM3・4・5a・5b、Pit12・14・146より古く、SM9・12・13より新しい。確認した範囲は、南北18.5m、東西25.3mに及ぶ。各溝間の間隔は53～208cmでありややバラつきがあるが、SM6-1～2間・SM6-7～9間の間隔が広く、間にもう1条入る可能性がある。SM6-7～9間は、西側ではSM6-8が確認されているが、東側では確認できなかったため、間隔が広がっている。

各溝をみていくと、方位はN-88°-W～N-67°-Eで、平均するとN-81.3°-Eである。平面形状は緩やかな弧状を呈する。確認した規模は、長さが最長で22.26mあり、幅は23～71cmで平均41.3cm、深さは4～28cmで平均11.8cmである。断面形状はおよそ台形を呈する。底面に起伏はなく、概ね平坦である。堆積土は単層で、暗褐色から黒褐色粘土質シルトを主体とする。

遺物は出土していない。

SM7小溝状遺構群(第11～13・17図)

SM7a-1～8・SM7b-1～7の計15条が該当し、1区東側、38～40・43～46・50～52グリッドに位置する。東側は調査区外に続くものと推定される。SM1～3、SD44、SK1、Pit5・8・9・13より古く、SM10～13、SD45、Pit36・37・355・357より新しい。確認した範囲は、SM7aが南北13.3m、東西16.7mであり、SM7bが南北11.5m、東西13.7mに及ぶ。各溝間の間隔はSM7aが90～198cm、SM7bが102～168cmである。SM7aとSM7bは方向が同じであるため、現地調査時は同群として扱っていたが、SM7aが西側に長く伸びており、SM7bが短い傾向にあったため整理作業時に細分した。

各溝をみていくと、方位はSM7aがN-61°～81°-Eで、平均するとN-73.3°-E、SM7bがN-57°～83°-Eで、平均するとN-72.2°-Eである。平面形状は直線を呈する。確認した規模は、長さが最長でSM7aが16.21m、SM7bが12.62mである。幅はSM7aが31～60cmで平均46.5cm、SM7bが36～64cmで平均45.8cmである。深さはSM7aが5～34cmで平均20.8cm、SM7bが4～35cmで平均18.4cmである。断面形状はU字もしくは弧状を呈する。底面に起伏はなく、概ね平坦である。堆積土は単層で、暗褐色から黒褐色粘土質シルトを主体とする。

遺物はSM7a-4から埴輪が、SM7a-7から土師器及び須恵器が、SM7b-5から須恵器が出土したが、小破片のため、図化できなかった。

SM9小溝状遺構群(第11・13・14・17図)

SM9-1～13の計13条が該当し、1区西側、23・28～30・34～36グリッドに位置する。南側と北側の一部は攪乱に壊される。SM4・5a・5b・6、SD2、Pit14より古い。確認した範囲は、南北7m、東西15.7mに及ぶ。小溝状遺構間の間隔は36～151cmである。

各溝をみていくと、方位はN-13°～42°-Wで、平均するとN-32.2°-Wである。平面形状は直線を呈する。確認した規模は、長さが最長で6.88mあり、幅は18～31cmで平均24.6cm、深さは3～13cmで平均6.7cmである。断面形状は台形を呈する。底面に起伏はなく、概ね平坦である。堆積土は単層で、黒褐色から暗褐色粘土質シルトを主体とする。

遺物は出土していない。

SM10小溝状遺構群(第11・12・17図)

SM10-1～4の計4条が該当し、1区東側、44～46・50～52グリッドに位置する。南側の一部は攪乱に壊され、北側及び南側は調査区外に続くものと推定される。SM1～3・7a・7b、SK1、Pit15・16より古く、SM11・Pit354より新しい。確認した範囲は、南北15.1m、東西9.7mに及ぶ。各溝間の間隔は149～506cmであり、SM10-1～2間の間隔が広い。間に2条ほど入る可能性がある。SM10は現地調査の段階では7条としていたが、整理作業において間隔や方位などを精査したところ、別群に属すると判断したものなどがあり、4条となった。SM10-2は中央で屈曲しており、南下半はSM10-3に接近してくる。小溝状遺構群は直線に造る傾向があることから、南と北で別群である可能性がある。

各溝をみていくと、方位はN-20°-W～N-4°-Eで、平均するとN-9.1°-Wである。平面形状は直線を呈する。確認した規模は、長さが最長で11.5mあり、幅は29～52cmで平均40.1cm、深さは5～34cmで平均17.3cmである。断面形状はU字もしくは弧状を呈する。底面に起伏はなく、概ね平坦である。堆積土は単層で、暗褐色から黒褐色粘土質シルトを主体とする。

遺物は出土していない。

SM11小溝状遺構群(第11・12・17図)

SM11-1～3の計3条が該当し、1区東側、43～46・50～52グリッドに位置する。北側は調査区外に続くものと推定される。SM1・2・7a・7b・10、Pit8・16・36・37より古い。確認した範囲は、南北12.9m、東西4.1mに及ぶ。各溝間の間隔は98～170cmである。SM11-1は中央で屈曲しており、南と北で別群である可能性がある。

各溝をみていくと、方位はN-10°-W～N-8°-Eで、平均するとN-8°-Wである。平面形状は直線を呈する。確認した規模は、長さが最長で11.62mあり、幅は28～54cmで平均33.5cm、深さは8～36cmで平均18cmである。断面形状は弧状を呈する。底面に起伏はなく、概ね平坦である。堆積土は単層で、暗褐色粘土質シルトを主体とする。

遺物は出土していない。

SM12小溝状遺構群(第11～13・17図)

SM12-1～9の計9条が該当し、1区中央北側、32・33・38・39・44・45グリッドに位置する。北・西側は調査区外に続くものと推定される。SM3・4・6・7a、Pit75より古く、SM13、Pit344より新しい。確認した範囲は、南北6.3m、東西11.9mに及ぶ。各溝間の間隔は92～128cmである。南側はほぼ同じ位置で止まっており、SM12の南限と推定される。

各溝をみていくと、方位はN-8°～14°-Wで、平均するとN-11.7°-Wである。平面形状は直線を呈する。確認した規模は、長さが最長で6.48mあり、幅は27～47cmで平均37.2cm、深さは3～22cmで平均9.5cmである。断面形状は台形もしくはU字を呈する。底面に起伏はなく、概ね平坦である。堆積土は単層で、黒褐色粘土質シルトを主体とする。

遺物は出土していない。

SM13小溝状遺構群(第11～13・18図)

SM13-1～14の計14条が該当し、1区中央、34・38～40・45・46グリッドに位置する。西側と東側の各溝が接続する可能性も考えたが、同じ位置で各溝が止まっていることや、西側と東側で方位が異なるものがあることなどから、間隔を開けて2列存在すると考えた。南側の一部は攪乱に壊される。SM2～4・6・7a・12、Pit100・114・120・166より古い。確認した範囲は、南北9.4m、東西12.9mに及ぶ。各溝間の間隔は64～118cmである。

各溝をみていくと、方位はN-54°～78°-Eで、平均するとN-65.6°-Eである。平面形状は直線を呈する。確認した規模は、長さが最長で6.90mあり、幅は19～49cmで平均32.8cm、深さは8～27cmで平均13.4cmである。断面形状は台形もしくはU字を呈する。底面に起伏はなく、概ね平坦である。堆積土は単層で、暗褐色から黒褐色粘土質シルトを主体とする。

遺物は出土していない。

SM14小溝状遺構群(第11～14・18図)

SM14-1～12の計12条が該当し、1区中央、32～35・38～41グリッドに位置する。北側及び南側は調査区外に続くものと推定される。SM3・4・6・12・13、Pit114・116・117・134・146・150・154・159・160・165・167より古い。確認した範囲は、南北13.5m、東西11.5mに及ぶ。各溝間の間隔は20～143cmであるが、SM14-3・6のみ間隔が狭く、別群の可能性も考えたが、ほかに同方位の小溝状遺構がないため本群に含めた。SM14-3・6を除くと、SM14-8より南側で80cm前後、SM14-8より北側で130cm前後の間隔となる。極端に間隔の狭いSM14-3・6を除いても、間隔に幅がみられ、SM14-8を境に南と北で違いがみられる。

各溝をみていくと、方位はN-85°-W～N-89°-Eで、平均するとN-86.3°-Eである。平面形状は直線を呈する。確認した規模は、長さが最長で9.96mあり、幅は23～47cmで平均31.5cm、深さは3～23cmで平均10.4cmである。断面形状はU字もしくは弧状を呈する。底面に起伏はなく、概ね平坦である。堆積土は単層で、暗褐色粘土質シルトを主体とする。

遺物は出土していない。

SM17小溝状遺構群(第11・14～16図)

SM17-1～8の計8条が該当し、2区北側、01～03・05～08・14～16・22グリッドに位置する。北側は調査区外に続くものと推定される。SM4より古く、SM18・19、Pit278より新しい。確認した範囲は、南北15.5m、東西25mに及ぶ。各溝間の間隔は129～220cmである。SM17-8が調査区の関係上やや離れるが、間に小溝状遺構が3条入るとおよそ等間隔に位置することとなる。

各溝をみていくと、方位はN-12°～25°-Wで、平均するとN-20.2°-Wである。平面形状は直線を呈する。確認した規模は、長さが最長で15.09mあり、幅は31～70cmで平均50cm、深さは6～45cmで平均26.9cmである。断面形状は台形を呈する。底面に起伏はなく、概ね平坦である。堆積土は2層に分層でき、1層が暗褐色シルトを主体とし、2層はV層を主体として暗褐色シルトが混入する。

遺物はSM17-3・4から土師器が出土したが、小破片のため、図化できなかった。

SM18小溝状遺構群(第11・15・18図)

SM18-1～11の計11条が該当し、2区西側、02・03・06～10・15～18グリッドに位置する。西側は調査区外に続くものと推定される。SM4・17、Pit297・298より古く、SM19より新しい。確認した範囲は、南北21.4m、東西17.8mに及ぶ。各溝間の間隔は53～281cmであるが、SM18-2・6を除くとおよそ等間隔となる。

各溝をみていくと、方位はN-85°-W～N-89°-Eで、平均するとN-86.3°-Eである。平面形状は直線を呈する。確認した規模は、長さが最長で14.93mあり、幅は12～62cmで平均41.4cm、深さは4～34cmで平均19.5cmである。断面形状は台形を呈する。底面に起伏はなく、概ね平坦である。堆積土は2層に分層でき、1層が暗褐色シルトを主体とし、2層はそこにV層土を多量に含む。

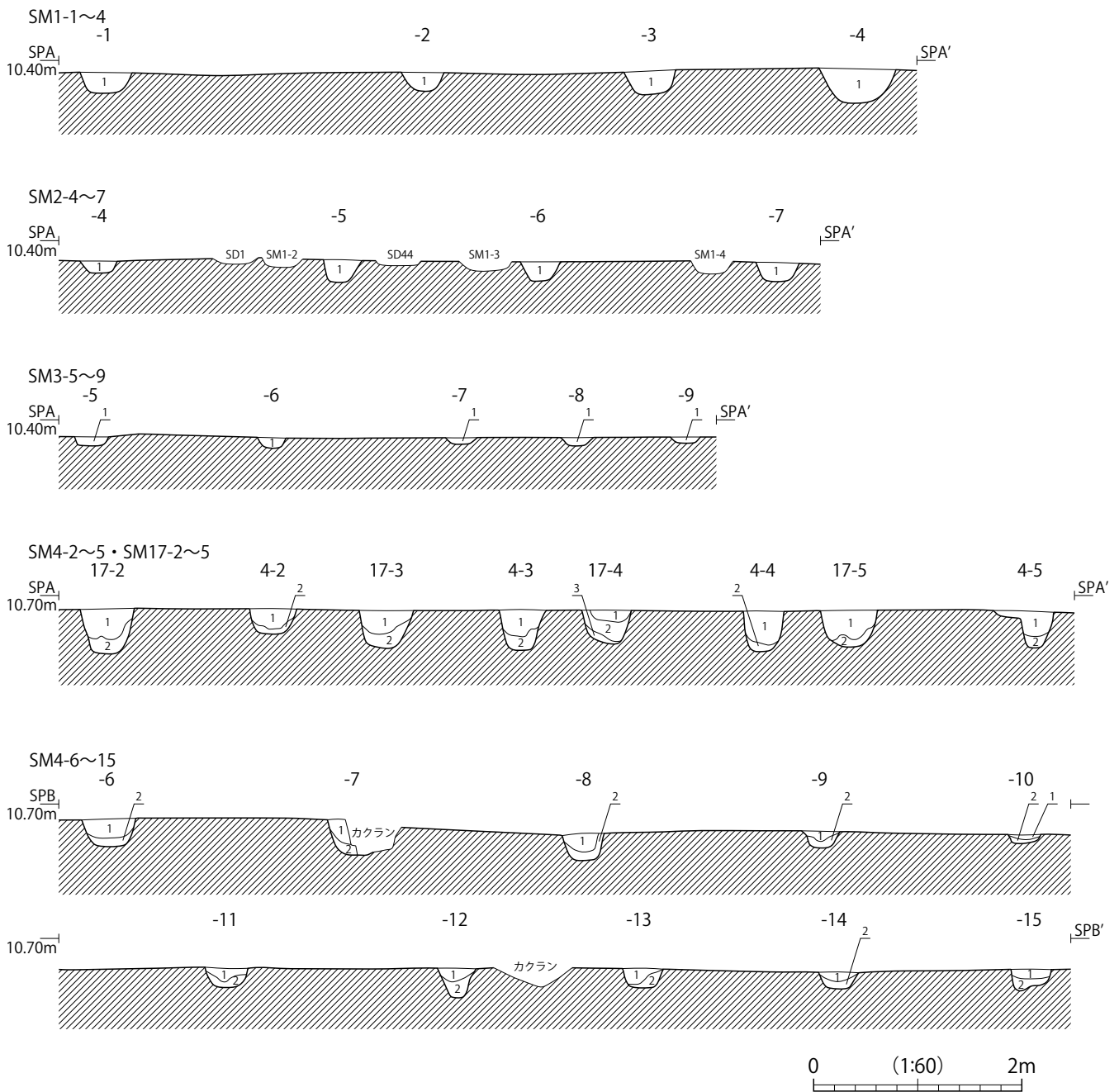
遺物はSM18-2・7から土師器が出土したが、小破片のため、図化できなかった。

SM19小溝状遺構群 (第11・15・18図)

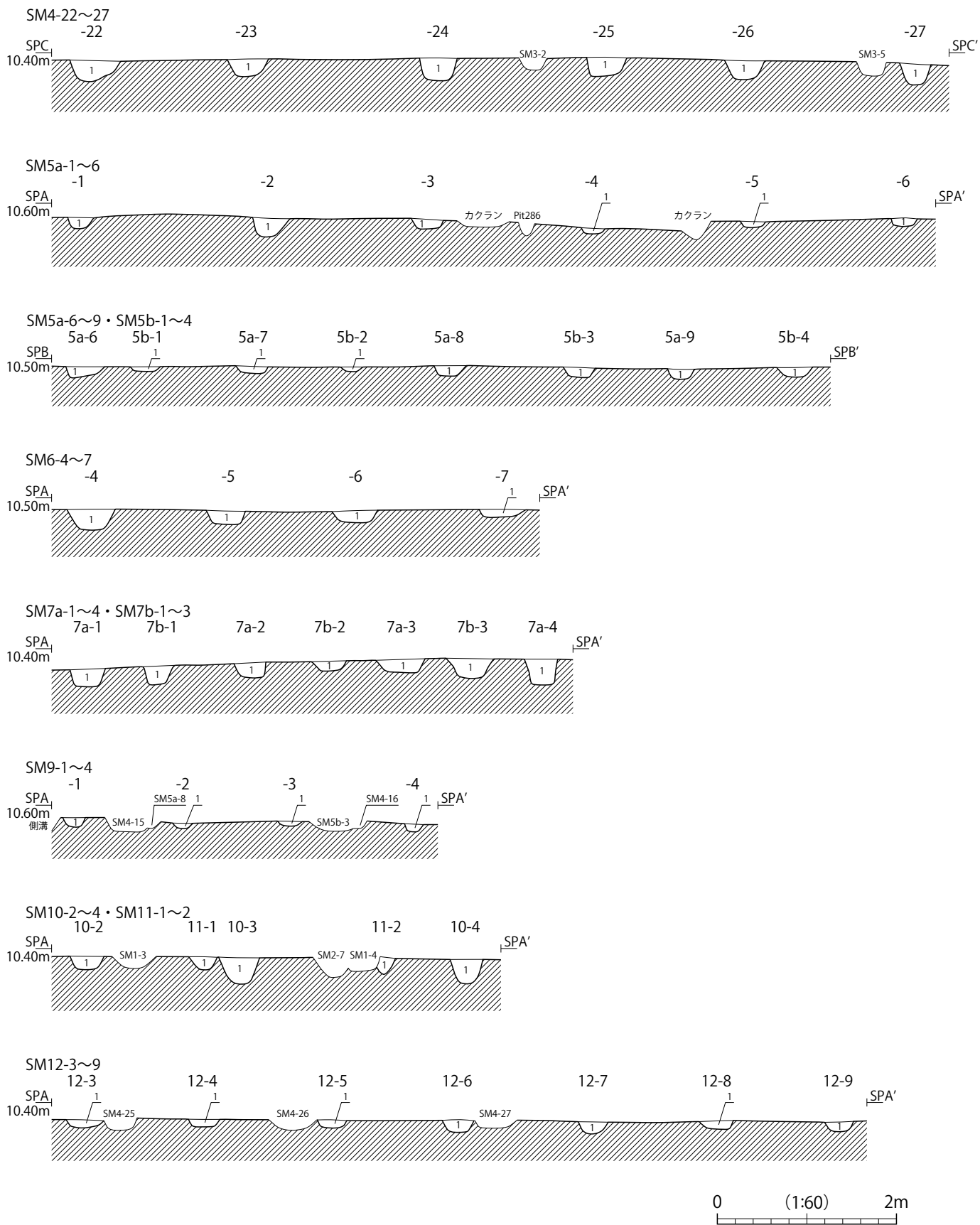
SM19-1～12の計12条が該当し、2区西側、01～03・06～11・14～17グリッドに位置する。南側は攪乱に壊される。北側と西側は調査区外に続くものと推定される。SM4・17・18、Pit292～297・299より古い。確認した範囲は、南北23.2m、東西16.3mに及ぶ。各溝間の間隔は94～181cmである。

各溝をみていくと、方位はN-89°-W～N-84°-Eで、平均するとN-73.1°-Eである。平面形状は直線からやや蛇行している。確認した規模は、長さが最長で15.81mあり、幅は20～81cmで平均47.5cm、深さは5～36cmで平均17.8cmである。断面形状は台形を呈する。底面に起伏はなく、概ね平坦である。堆積土は2層に分層でき、1層は暗褐色シルトを主体とし、2層はV層土に暗褐色シルトが混入する。

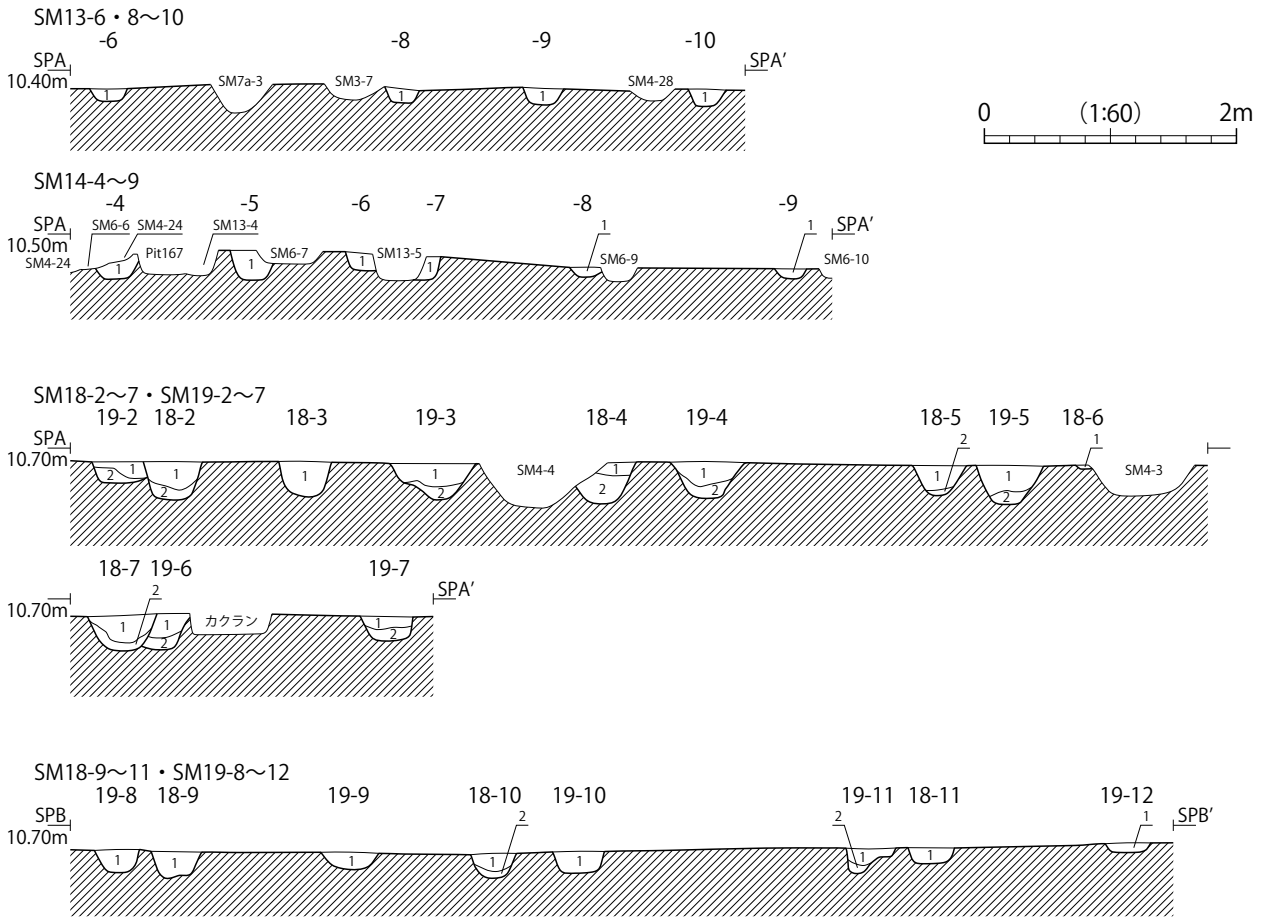
遺物はSM19-9・12から土師器が出土したが、小破片のため、図化できなかった。



第16図 小溝状遺構群 (IV層上面) 断面図(1)



第17図 小溝状遺構群 (IV層上面) 断面図 (2)



第18図 小溝状遺構群 (IV層上面) 断面図 (3)

SM1 (小溝状遺構群) 観察表

遺構名	グリッド	方向	規模 (cm)		層位	土色	土性	備考	重複
			長さ×幅	深さ					
SM1-1	44 ~ 46	N-6° ~ 16° -W	1247 × 42 ~ 55	11 ~ 19	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック (10 ~ 30mm) を少量含む。	SM2・7a・7b、Pit345・346より新しい。
SM1-2	44 ~ 46	N-10° -W ~ 6° -E	1426 × 40 ~ 58	9 ~ 23	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック (5 ~ 10mm) を多量含む。	SD1より古く、SM2・7a・7b、Pit351・353より新しい。
SM1-3	43 ~ 46	N-11° -W ~ 5° -E	1529 × 39 ~ 59	8 ~ 23	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック (5 ~ 10mm) を多量含む。	SM2・7a・7b・11より新しい。
SM1-4	43 ~ 45・ 50 ~ 52	N-10° -W ~ 10° -W	1594 × 36 ~ 74	7 ~ 29	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック (5 ~ 10mm) を少量含む。	SM2・7a・7b・11より新しい。
SM1-5	50 ~ 52	N-15° -W ~ 5° -E	993 × 27 ~ 54	12 ~ 20	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック (5 ~ 10mm) を少量含む。	SM2・7a・7b・11、SD45より新しい。
SM1-6	51・52	N-4° -W	516 × 28 ~ 39	8 ~ 13	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック (5 ~ 10mm) を少量含む。	SM2・7a・7bより新しい。

SM2 (小溝状遺構群) 観察表

遺構名	グリッド	方向	規模 (cm)		層位	土色	土性	備考	重複
			長さ×幅	深さ					
SM2-1	40	N-5° -W	212 × 31 ~ 35	7 ~ 14	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック (10 ~ 30mm) を少量含む。	SM4より新しい。
SM2-2	40	N-5° -W ~ 9° -E	180 × 30 ~ 34	5 ~ 11	1	10YR3/2 黒褐色	粘土質シルト	V層土ブロック (2 ~ 10mm) を微量含む。	SM7aより新しい。
SM2-3	45・46	N-3° ~ 8° -W	439 × 28 ~ 47	6 ~ 12	1	10YR3/2 黒褐色	粘土質シルト	V層土ブロック (2 ~ 10mm) を少量含む。	SM7aより新しい。
SM2-4	45・46	N-11° ~ 20° -W	589 × 34 ~ 49	12 ~ 21	1	10YR2/3 黒褐色	粘土質シルト	V層土ブロック (5 ~ 10mm) を少量含む。	SM1より古く、SM7aより新しい。
SM2-5	45・46	N-8° ~ 22° -W	679 × 29 ~ 43	20 ~ 24	1	10YR2/3 黒褐色	粘土質シルト	V層土ブロック (5 ~ 10mm) を少量含む。	SM1より古く、SM7a・7b・11より新しい。
SM2-6	45・46	N-16° -W	660 × 33 ~ 48	14 ~ 26	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック (5 ~ 10mm) を少量含む。	SM1より古く、SM7a・7b・11より新しい。
SM2-7	44・45・ 51・52	N-4° ~ 19° -W	1135 × 28 ~ 63	14 ~ 25	1	10YR2/3 黒褐色	粘土質シルト	V層土ブロック (5 ~ 10mm) を少量含む。	SM1より古く、SM7a・7bより新しい。
SM2-8	52	N-8° -W	252 × 34 ~ 40	16	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック (5 ~ 10mm) を少量含む。	SM1より古く、SM7a・7bより新しい。
SM2-9	51・52	N-2° -W	554 × (32 ~ 46)	10 ~ 20	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック (5 ~ 10mm) を少量含む。	SM1、Pit6より古く、SM7a・7b、Pit355・359より新しい。

SM3 (小溝状遺構群) 観察表

遺構名	グリッド	方向	規模 (cm)		層位	土色	土性	備考	重複
			長さ×幅	深さ					
SM3-1	40	N-7°-W	279×24 ~35	7~13	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック(10~30mm)を少量含む。	SM4・6より新しい。
SM3-2	39・40	N-6°-W	237×21 ~31	9~13	1	10YR2/3 黒褐色	粘土質シルト	V層土ブロック(5~20mm)を少量含む。	SM4・6より新しい。
SM3-3	39・40	N-5°-W	231×43 ~46	8~13	1	10YR2/3 黒褐色	粘土質シルト	V層土ブロック(5~20mm)を少量含む。	SM4・6より新しい。
SM3-4	39・40	N-3°-W	188×31 ~37	10~13	1	10YR2/3 黒褐色	粘土質シルト	V層土ブロック(5~20mm)を少量含む。	SM4より新しい。
SM3-5	39	N-6°-W	275×28 ~34	9~15	1	10YR2/3 黒褐色	粘土質シルト	V層土ブロック(5~20mm)を少量含む。	SM4より新しい。
SM3-6	39・40	N-2°-W	418×28 ~38	5~11	1	10YR3/2 黒褐色	粘土質シルト	V層土ブロック(2~10mm)を少量含む。	
SM3-7	39・40・45・46	N-1°~3°-E	658×27 ~34	6~10	1	10YR3/2 黒褐色	粘土質シルト	V層土ブロック(2~10mm)を少量含む。	SM7a・7b・12より新しい。
SM3-8	45・46	N-1°-W ~3°-E	613×26 ~34	4~9	1	10YR3/2 黒褐色	粘土質シルト	V層土ブロック(2~10mm)を少量含む。	SM7a・7bより新しい。
SM3-9	45・46	N-1°-W ~4°-E	678×21 ~35	3~9	1	10YR3/2 黒褐色	粘土質シルト	V層土ブロック(2~10mm)を少量含む。	SM7a・7b・10より新しい。

SM4 (小溝状遺構群) 観察表

遺構名	グリッド	方向	規模 (cm)		層位	土色	土性	備考	重複
			長さ×幅	深さ					
SM4-1	02・03	N-2°-E	622×(33 ~61)	12~39	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック(10~30mm)を少量含む。	SM17~19より新しい。
					2	10YR3/3 暗褐色	シルト	V層土を多量含む。	
SM4-2	06~09	N-4°~8°-E	1488×40 ~64	16~36	1	10YR3/3 暗褐色	シルト	V層土ブロック(3~10mm)を微量含む。	SM17~19より新しい。
					2	10YR3/3 暗褐色	シルト	V層土を多量含む。	
SM4-3	06~09	N-2°-W ~9°-E	1961×44 ~58	16~40	1	10YR3/3 暗褐色	シルト	V層土を多量含む。	SM17~19より新しい。
					2	10YR3/3 暗褐色	シルト	V層土を多量含む。	
SM4-4	06~11	N-6°-W ~6°-E	2549×36 ~73	17~39	1	10YR3/3 暗褐色	シルト	V層土ブロック(3~10mm)を微量含む。	SM17~19より新しい。
					2	10YR3/3 暗褐色	シルト	V層土を多量含む。	
SM4-5	05~08	N-2°~7°-E	1528×46 ~74	10~33	1	10YR3/3 暗褐色	シルト	V層土ブロック(3~10mm)を微量含む。	Pit292より古く、SM17~19より新しい。
					2	10YR3/3 暗褐色	シルト	V層土を多量含む。	
SM4-6	09・10・14~18	N-3°~6°-E	2040×43 ~64	15~27	1	10YR3/3 暗褐色	シルト	V層土ブロック(2~5mm)を微量含む。	Pit293より古く、SM17~19より新しい。
					2	10YR3/3 暗褐色	シルト	V層土を多量含む。	
SM4-7	15~17	N-12°-E	932×32 ~59	13~35	1	10YR3/3 暗褐色	シルト	V層土ブロック(2~5mm)を微量含む。	SM18・19より新しい。
					2	10YR3/3 暗褐色	シルト	V層土を多量含む。	
SM4-8	16~18	N-10°-E	829×36 ~48	12~28	1	10YR3/3 暗褐色	シルト	V層土ブロック(2~5mm)を微量含む。	
					2	10YR3/3 暗褐色	シルト	V層土を多量含む。	
SM4-9	16~18	N-10°-E	1042×30 ~41	11~22	1	10YR3/3 暗褐色	シルト	V層土ブロック(2~5mm)を微量含む。	
					2	10YR3/3 暗褐色	シルト	V層土を多量含む。	
SM4-10	16~19・23	N-11°-E	1477×32 ~52	9~18	1	10YR3/3 暗褐色	シルト	V層土ブロック(2~5mm)を微量含む。	Pit281・282より古く、SM5a・5bより新しい。
					2	10YR3/3 暗褐色	シルト	V層土を多量含む。	
SM4-11	18・19・21~26	N-10°-E	2135×36 ~55	14~28	1	10YR3/3 暗褐色	シルト	V層土ブロック(2~5mm)を微量含む。	SM5a・5bより新しい。
					2	10YR3/3 暗褐色	シルト	V層土を多量含む。	
SM4-12	22~26	N-10°-E	1936×34 ~52	19~31	1	10YR3/3 暗褐色	シルト	V層土ブロック(2~5mm)を微量含む。	SM5a・5bより新しい。
					2	10YR3/3 暗褐色	シルト	V層土を多量含む。	
SM4-13	22~25	N-7°~9°-E	1625×40 ~49	13~24	1	10YR3/3 暗褐色	シルト	V層土ブロック(2~5mm)を微量含む。	SK3より古く、SM5a・5bより新しい。
					2	10YR3/3 暗褐色	シルト	V層土を多量含む。	
SM4-14	22~25	N-8°~13°-E	1605×35 ~49	15~23	1	10YR3/3 暗褐色	シルト	V層土ブロック(2~5mm)を微量含む。	Pit279より古く、SM5a・5bより新しい。
					2	10YR3/3 暗褐色	シルト	V層土を多量含む。	
SM4-15	22~24・28・29	N-3°~17°-E	1375×35 ~43	11~18	1	10YR3/3 暗褐色	シルト	V層土ブロック(2~5mm)を微量含む。	SM5a・5b・9より新しい。
					2	10YR3/3 暗褐色	シルト	V層土を多量含む。	
SM4-16	28~30	N-2°~13°-E	1177×29 ~41	8~19	1	10YR2/3 黒褐色	粘土質シルト	V層土ブロック(10~30mm)を底面付近に少量含む。	SM5a・5b・9より新しい。
SM4-17	28~30	N-3°~13°-E	905×34 ~54	10~18	1	10YR2/3 黒褐色	粘土質シルト	V層土ブロック(10~30mm)を底面付近に少量含む。	SM5a・5b・6・9より新しい。
SM4-18	28・29	N-3°-W ~8°-E	780×40 ~47	12~17	1	10YR2/3 黒褐色	粘土質シルト	V層土ブロック(10~30mm)を底面付近に少量含む。	SM5a・5b・6・9、Pit11より新しい。
SM4-19	28・29	N-7°-E	786×40 ~50	13~21	1	10YR2/3 黒褐色	粘土質シルト	V層土ブロック(10~30mm)を底面付近に少量含む。	SM5a・5b・6・9、SD2、Pit10より新しい。
SM4-20	28・29・34~36	N-4°~9°-E	1079×42 ~68	8~25	1	10YR2/3 黒褐色	粘土質シルト	V層土ブロック(10~30mm)を底面付近に少量含む。	SM5a・5b・6・9より新しい。
SM4-21	34~36	N-7°~10°-E	1055×43 ~63	10~22	1	10YR2/3 黒褐色	粘土質シルト	V層土ブロック(10~30mm)を底面付近に少量含む。	SM5a・5b・6・9より新しい。
SM4-22	32~35	N-9°~21°-E	1203×46 ~64	7~23	1	10YR2/3 黒褐色	粘土質シルト	V層土ブロック(10~30mm)を底面付近に少量含む。	SM6より新しい。
SM4-23	32~35・38・39	N-6°~10°-E	1566×33 ~55	9~24	1	10YR2/3 黒褐色	粘土質シルト	V層土ブロック(10~30mm)を底面付近に少量含む。	SM6・12・13より新しい。
SM4-24	38~41	N-4°-W ~13°-E	1169×40 ~49	11~25	1	10YR2/3 黒褐色	粘土質シルト	V層土ブロック(10~30mm)を底面付近に少量含む。	SM3より古く、SM6・12・13より新しい。
SM4-25	39~41	N-2°~12°-E	1012×38 ~55	14~28	1	10YR2/3 黒褐色	粘土質シルト	V層土ブロック(10~30mm)を底面付近に少量含む。	SM3より古く、SM6・12より新しい。
SM4-26	38~40	N-9°-W ~11°-E	1073×38 ~54	10~22	1	10YR2/3 黒褐色	粘土質シルト	V層土ブロック(10~30mm)を底面付近に少量含む。	SM3より古く、SM6・12・13、Pit166より新しい。
SM4-27	38~40	N-14°~17°-E	1120×32 ~52	7~20	1	10YR2/3 黒褐色	粘土質シルト	V層土ブロック(10~30mm)を底面付近に少量含む。	SM3より古く、SM12・13、Pit344より新しい。
SM4-28	39・40	N-9°~16°-E	656×21 ~39	8~14	1	10YR2/3 黒褐色	粘土質シルト	V層土ブロック(10~30mm)を底面付近に少量含む。	SM2より古く、SM13より新しい。

SM5 (小溝状遺構群) 観察表

遺構名	グリッド	方向	規模 (cm)		層位	土色	土性	備考	重複
			長さ×幅	深さ					
SM5a-1	18・25 ・26	N-82° -W	524×30 ～45	16～ 32	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック (10～30mm) を少量含む。	SM4より古い。
SM5a-2	18・25	N-81° -W	723×42 ～58	18～ 28	1	10YR2/2 黒褐色	シルト	V層土ブロック (10～30mm) を少量含む。	SM4より古い。
SM5a-3	18・25	N-78°～ 88° -W	861×24 ～54	10～ 18	1	10YR2/2 黒褐色	シルト	V層土ブロック (10～30mm) を少量含む。	SM4より古い。
SM5a-4	17・24 ・25	N-81° -W	1016×21 ～41	8～ 12	1	10YR2/2 黒褐色	シルト	V層土ブロック (10～30mm) を少量含む。	SM4より古い。
SM5a-5	24・30	N-81° -W	1037×29 ～40	7～ 11	1	10YR2/2 黒褐色	シルト	V層土ブロック (10～30mm) を少量含む。	SM4より古い。
SM5a-6	24・30	N-77°～ 85° -W	876×23 ～52	3～ 14	1	10YR4/3 にぶい黄褐色	シルト	黒褐色シルトを微量含む。	SM4より古く、SM9より新しい。
SM5a-7	23・29 ・30	N-84°～ 89° -W	1037×27 ～41	7～ 13	1	10YR2/2 黒褐色	シルト	V層土を少量含む。	SM4より古く、SM9より新しい。
SM5a-8	23・29	N-84°～ 88° -W	1301×21 ～50	2～ 15	1	10YR4/3 にぶい黄褐色	シルト	黒褐色シルトを微量含む。	SM4、SK3より古く、SM6・9より新しい。
SM5a-9	22・23・28 ・29・36	N-83° -W	1862×25 ～57	3～ 16	1	10YR4/3 にぶい黄褐色	シルト	黒褐色シルトを微量含む。	SM4より古く、SM6・9より新しい。
SM5a-10	22・28・ 35	N-70°～ 89° -E	2059×30 ～62	3～ 13	1	10YR2/2 黒褐色	シルト	V層土を少量含む。	SM4より古く、SM6・9、SD2より新しい。
SM5a-11	21・22	N-71° -W	160×(38)	5	1	10YR2/2 黒褐色	シルト	V層土を少量含む。	SM4より古い。
SM5b-1	23・24 ・30	N-84° -W ～83° -E	911×34 ～43	5～ 12	1	10YR2/2 黒褐色	粘土質シルト	V層土ブロック (5～10mm) を多量含む。	SM4より古く、SM9より新しい。
SM5b-2	23・29	N-85° -W ～87° -E	1160×24 ～54	5～ 14	1	10YR4/3 にぶい黄褐色	シルト	黒褐色シルトを微量含む。	SM4より古く、SM6・9より新しい。
SM5b-3	23・29	N-87° -W ～85° -E	2046×34 ～54	3～ 19	1	10YR4/3 にぶい黄褐色	シルト	黒褐色シルトを微量含む。	SM4より古く、SM6・9より新しい。
SM5b-4	22・28・ 35・36	N-81° -W ～83° -E	1904×29 ～60	8～ 15	1	10YR2/2 黒褐色	シルト	V層土を少量含む。	SM4、Pit10より古く、SM6・9、Pit12より新しい。
SM5b-5	22・28 ・35	N-84° -W ～82° -E	2148×27 ～63	6～ 19	1	10YR2/2 黒褐色	シルト	V層土を少量含む。	SM4より古く、SM6・9より新しい。
SM5b-6	34	N-87° -W ～72° -E	325×25 ～47	8～ 15	1	10YR2/3 黒褐色	粘土質シルト	V層土ブロック (10～30mm) を少量含む。	SM4より古く、SM9より新しい。

SM6 (小溝状遺構群) 観察表

遺構名	グリッド	方向	規模 (cm)		層位	土色	土性	備考	重複
			長さ×幅	深さ					
SM6-1	29	N-80° -E	330×33 ～36	15～ 20	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック (10～30mm) を少量含む。	SM4・5bより古く、SM9より新しい。
SM6-2	29・35 ・36	N-76° -E	1163×37 ～46	8～ 28	1	10YR2/3 黒褐色	粘土質シルト	V層土ブロック (10～30mm) を少量含む。	SM4・5a・5b、Pit14より古く、SM9より新しい。
SM6-3	28・29 ・35	N-67°～ 80° -E	1511×28 ～54	8～ 19	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック (10～50mm) を少量含む。	SM4・5a・5b、Pit12より古く、SM9より新しい。
SM6-4	28・29・ 35・41	N-70°～ 86° -E	1821×23 ～55	15～ 20	1	10YR2/3 黒褐色	粘土質シルト	V層土ブロック (10～30mm) を少量含む。	SM4・5a・5bより古く、SM9より新しい。
SM6-5	28・34・35 ・40・41	N-87° -W ～70° -E	2226×24 ～57	7～ 18	1	10YR2/3 黒褐色	粘土質シルト	V層土ブロック (10～30mm) を少量含む。	SM4・5a・5bより古く、SM9・13より新しい。
SM6-6	34・40	N-81°～ 88° -E	1338×42 ～71	8～ 16	1	10YR2/3 黒褐色	粘土質シルト	V層土ブロック (5～20mm) を多量含む。	SM4より古く、SM9・13より新しい。
SM6-7	34・40	N-88° -W ～74° -E	1557×40 ～65	5～ 17	1	10YR2/3 黒褐色	粘土質シルト	V層土ブロック (5～20mm) を多量含む。	SM3・4より古く、SM13より新しい。
SM6-8	34	N-84° -E	175×(38)	10	1	10YR2/2 黒褐色	粘土質シルト	V層土ブロック (10～30mm) を少量含む。	SM4より古い。
SM6-9	33・39	N-85°～ 86° -E	807×31 ～42	9～ 13	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック (5～10mm) を少量含む。	SM3・4、Pit146より古い。
SM6-10	33・39	N-87° -E	173×35 ～37	4～ 8	1	10YR2/3 黒褐色	粘土質シルト	V層土ブロック (5～10mm) を少量含む。	SM4より古い。
SM6-11	33・39	N-83° -E	203×36 ～38	8～ 11	1	10YR2/3 黒褐色	粘土質シルト	V層土ブロック (5～10mm) を少量含む。	SM4より古く、SM12より新しい。
SM6-12	32・38	N-79° -E	226×36 ～41	6～ 7	1	10YR2/3 黒褐色	粘土質シルト	V層土ブロック (5～10mm) を少量含む。	SM4より古く、SM12より新しい。
SM6-13	32・38	N-82° -E	240×40 ～52	8～ 10	1	10YR2/3 黒褐色	粘土質シルト	V層土ブロック (5～10mm) を少量含む。	SM4より古く、SM12より新しい。

SM7 (小溝状遺構群) 観察表 (1)

遺構名	グリッド	方向	規模 (cm)		層位	土色	土性	備考	重複
			長さ×幅	深さ					
SM7a-1	46・52	N-68°～ 76° -E	937×39 ～56	18～ 22	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック (10～30mm) を少量含む。	SM1・2より古く、SM10・11より新しい。
SM7a-2	46・51 ・52	N-61°～ 74° -E	1315×34 ～45	5～ 22	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック (5～10mm) を少量含む。	SM1・2、SD44より古く、SM10・11、SD45より新しい。
SM7a-3	40・45・ 46・51	N-69°～ 77° -E	1621×41 ～60	14～ 22	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック (5～10mm) を少量含む。	SM1・2、Pit13より古く、SM10・11・13、SD45、Pit37より新しい。
SM7a-4	39・40・45 ・46・51	N-72°～ 81° -E	1432×31 ～47	16～ 29	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック (5～10mm) を少量含む。	SM1～3より古く、SM10・11・13、SD45より新しい。
SM7a-5	39・45・ 50・51	N-73°～ 78° -E	1360×44 ～48	14～ 25	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック (5～10mm) を少量含む。	SM1～3、SK1、Pit9より古く、SM10・11・13、SD45より新しい。
SM7a-6	39・44・ 45・50	N-70°～ 79° -E	1218×41 ～55	11～ 33	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック (5～10mm) を少量含む。	SM1～3より古く、SM10～12、SD45より新しい。
SM7a-7	38・44 ・50	N-70°～ 80° -E	1170×43 ～58	18～ 34	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック (5～10mm) を少量含む。	SM1より古く、SM10～12、SD45より新しい。
SM7a-8	43・44	N-69°～ 75° -E	924×46 ～56	17～ 33	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック (5～10mm) を少量含む。	SM1より古く、SM10・12より新しい。
SM7b-1	46・52	N-64°～ 73° -E	830×36 ～47	7～ 22	1	10YR2/3 黒褐色	粘土質シルト	V層土ブロック (10～30mm) を多量含む。	SM1・2、SD44より古く、SM10・11、Pit36・357より新しい。

SM7 (小溝状遺構群) 観察表 (2)

遺構名	グリッド	方向	規模 (cm)		層位	土色	土性	備考	重複
			長さ×幅	深さ					
SM7b-2	45・46 ・51	N-61°~ 77°-E	974×36 ~52	6~ 14	1	10YR2/3 黒褐色	粘土質シルト	V層土ブロック (10~30mm) を多量含む。	SM1・2より古く、SM10・11、SD45より新しい。
SM7b-3	45・46 ・51	N-57°~ 75°-E	797×36 ~54	11~ 27	1	10YR2/3 黒褐色	粘土質シルト	V層土ブロック (10~30mm) を多量含む。	SM1・2より古く、SM10・11、SD45、Pit355より新しい。
SM7b-4	45・51	N-71°-E	530×40 ~53	10~ 33	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック (5~10mm) を少量含む。	SM1・2、SK1、Pit5より古く、SM10・11、SD45より新しい。
SM7b-5	39・44・ 45・50	N-68°~ 83°-E	1262×39 ~50	4~ 35	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック (5~10mm) を少量含む。	SM1~3より古く、SM10・11、SD45より新しい。
SM7b-6	44・50	N-79°~ 82°-E	547×43 ~64	17~ 29	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック (5~10mm) を少量含む。	SM1・2、Pit8より古く、SM10・11、SD45より新しい。
SM7b-7	44・50	N-72°~ 78°-E	460×38 ~53	13~ 30	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック (5~10mm) を少量含む。	SM1より古く、SM10・11より新しい。

SM9 (小溝状遺構群) 観察表

遺構名	グリッド	方向	規模 (cm)		層位	土色	土性	備考	重複
			長さ×幅	深さ					
SM9-1	23・29 ・30	N-39°-W	504×23 ~27	6~ 10	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック (10~30mm) を少量含む。	SM4・5a・5bより古い。
SM9-2	23・29 ・30	N-37°-W	581×26 ~31	4~ 13	1	10YR2/3 黒褐色	粘土質シルト	V層土ブロック (5~10mm) を少量含む。	SM4・5a・5bより古い。
SM9-3	29・30	N-36°-W	654×19 ~29	4~ 7	1	10YR2/3 黒褐色	粘土質シルト	V層土ブロック (5~10mm) を少量含む。	SM4・5a・5bより古い。
SM9-4	28・29	N-34°~ 37°-W	688×20 ~26	6~ 10	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック (5~10mm) を少量含む。	SM4・5a・5b・6より古い。
SM9-5	28・29	N-27°~ 38°-W	620×24 ~30	3~ 12	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック (5~10mm) を少量含む。	SM4・5a・5b・6、Pit14より古い。
SM9-6	28・29	N-21°~ 33°-W	670×21 ~28	4~ 8	1	10YR2/3 黒褐色	粘土質シルト	V層土ブロック (5~10mm) を少量含む。	SM4・5a・5b・6より古い。
SM9-7	28・29	N-30°-W	627×19 ~30	5~ 8	1	10YR2/3 黒褐色	粘土質シルト	V層土ブロック (5~10mm) を少量含む。	SM4・5a・5b・6より古い。
SM9-8	28・29	N-27°~ 40°-W	574×21 ~31	5~ 11	1	10YR2/3 黒褐色	粘土質シルト	V層土ブロック (5~10mm) を少量含む。	SM4・5a・5b・6、SD2より古い。
SM9-9	28・29	N-13°~ 27°-W	628×22 ~25	5~ 7	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック (5~10mm) を少量含む。	SM4・5a・5b・6、SD2より古い。
SM9-10	28・35 ・36	N-33°~ 42°-W	617×21 ~30	3~ 8	1	10YR2/3 黒褐色	粘土質シルト	V層土ブロック (5~10mm) を少量含む。	SM4・5a・5b・6、SD2より古い。
SM9-11	28・35	N-37°-W	515×22 ~30	6~ 8	1	10YR2/3 黒褐色	粘土質シルト	V層土ブロック (5~10mm) を少量含む。	SM4・5a・5b・6より古い。
SM9-12	35	N-29°-W	348×19 ~23	5~ 6	1	10YR2/3 黒褐色	粘土質シルト	V層土ブロック (5~10mm) を少量含む。	SM4・5b・6より古い。
SM9-13	34・35	N-31°~ 37°-W	544×18 ~25	3~ 6	1	10YR2/3 黒褐色	粘土質シルト	V層土ブロック (5~10mm) を少量含む。	SM4・5b・6より古い。

SM10 (小溝状遺構群) 観察表

遺構名	グリッド	方向	規模 (cm)		層位	土色	土性	備考	重複
			長さ×幅	深さ					
SM10-1	45・46	N-12°-W	485×34 ~42	5~ 12	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック (10~30mm) を少量含む。	SM3・7aより古い。
SM10-2	44・45	N-20°-W ~4°-E	1043×29 ~45	9~ 20	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック (5~10mm) を少量含む。	SM1・7a・7bより古く、Pit354より新しい。
SM10-3	44~46 ・52	N-4°~ 10°-W	1150×39 ~52	20~ 34	1	10YR2/3 黒褐色	粘土質シルト	V層土ブロック (5~10mm) を少量含む。	SM2・7a・7b、Pit15・16より古く、SM11より新しい。
SM10-4	50・51	N-4°~ 15°-W	953×31 ~49	11~ 27	1	10YR2/3 黒褐色	粘土質シルト	V層土ブロック (5~10mm) を少量含む。	SM7a・7b、SK1より古い。

SM11 (小溝状遺構群) 観察表

遺構名	グリッド	方向	規模 (cm)		層位	土色	土性	備考	重複
			長さ×幅	深さ					
SM11-1	43~46	N-8°-W ~8°-E	1162×33 ~54	8~ 36	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック (10~30mm) を少量含む。	SM1・2・7a・7b・10、Pit8・16・37より古い。
SM11-2	50~52	N-10°-W	656×(29)	13~ 19	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック (5~10mm) を少量含む。	SM1・2・7a・7bより古い。
SM11-3	51・52	N-6°-W	472×(28)	14~ 18	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック (5~10mm) を少量含む。	SM1・7a・7b、Pit36より古い。

SM12 (小溝状遺構群) 観察表

遺構名	グリッド	方向	規模 (cm)		層位	土色	土性	備考	重複
			長さ×幅	深さ					
SM12-1	32・33	N-8°-W	339×27 ~47	3~ 12	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック (10~30mm) を少量含む。	SM4・6より古い。
SM12-2	38・39	N-13°-W	648×30 ~41	5~ 8	1	10YR2/2 黒褐色	粘土質シルト	V層土ブロック (5~10mm) を微量含む。	SM4・6より古い。
SM12-3	39	N-14°-W	192×43 ~45	9~ 22	1	10YR2/2 黒褐色	粘土質シルト	V層土ブロック (5~10mm) を多量含む。	SM4より古い。
SM12-4	39	N-13°-W	243×33 ~41	8~ 9	1	10YR2/2 黒褐色	粘土質シルト	V層土ブロック (5~10mm) を微量含む。	Pit75より古い。
SM12-5	38・39	N-10°-W	272×27 ~34	7~ 10	1	10YR2/2 黒褐色	粘土質シルト	V層土ブロック (5~10mm) を微量含む。	SM4より古く、SM13より新しい。
SM12-6	38・39	N-11°-W	286×33 ~46	12~ 15	1	10YR2/2 黒褐色	粘土質シルト	V層土ブロック (10~30mm) を多量含む。	SM4より古く、SM13より新しい。
SM12-7	38・39	N-11°-W	324×32 ~39	8~ 14	1	10YR2/2 黒褐色	粘土質シルト	V層土ブロック (5~10mm) を微量含む。	SM4より古い。
SM12-8	38・39・ 44・45	N-14°-W	341×39 ~41	8~ 12	1	10YR2/2 黒褐色	粘土質シルト	V層土ブロック (5~10mm) を微量含む。	SM3・7aより古く、Pit344より新しい。
SM12-9	44・45	N-11°-W	374×32 ~39	9~ 17	1	10YR2/2 黒褐色	粘土質シルト	V層土ブロック (5~10mm) を微量含む。	SM7aより古い。

SM13 (小溝状遺構群) 観察表

遺構名	グリッド	方向	規模 (cm)		層位	土色	土性	備考	重複
			長さ×幅	深さ					
SM13-1	40	N-56°-E	286×27 ~48	13 ~18	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック(10~30mm)を少量含む。	SM6、Pit114より古い。
SM13-2	40	N-59°~ 74°-E	465×32 ~39	13 ~16	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック(10~30mm)を少量含む。	SM4・6より古い。
SM13-3	40	N-64°-E	355×35 ~49	12 ~15	1	10YR2/3 黒褐色	粘土質シルト	V層土ブロック(5~20mm)を多量含む。	SM4・6より古い。
SM13-4	34・40	N-64°~ 75°-E	690×33 ~41	13 ~27	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック(10~30mm)を少量含む。	SM3・4・6より古い。
SM13-5	34・39 ・40	N-71°-E	667×34 ~45	16 ~21	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック(10~30mm)を少量含む。	SM3・4・6より古い。
SM13-6	40・46	N-61°-E	247×29 ~34	9 ~13	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック(10~30mm)を少量含む。	SM2より古い。
SM13-7	40・46	N-54°-E	387×28 ~38	8 ~11	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック(10~30mm)を少量含む。	SM2・7aより古い。
SM13-8	40・46	N-63°-E	433×28 ~33	9 ~13	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック(10~30mm)を少量含む。	SM2・3・4・7aより古い。
SM13-9	39・40 ・45	N-62°-E	398×19 ~40	6 ~17	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック(10~30mm)を少量含む。	SM3・4・7aより古い。
SM13-10	39	N-66°-E	331×25 ~33	12 ~14	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック(10~30mm)を少量含む。	SM3・4・7a、Pit100より古い。
SM13-11	39	N-72°-E	148×23 ~25	9 ~12	1	10YR3/2 黒褐色	粘土質シルト	V層土ブロック(5~10mm)を少量含む。	SM3・4より古い。
SM13-12	39	N-78°-E	37×20~ 26	15	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック(10~30mm)を少量含む。	Pit120・166より古い。
SM13-13	39	N-72°-E	114×30 ~36	8 ~12	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック(10~30mm)を少量含む。	SM12より古い。
SM13-14	38・39	N-63°-E	229×30 ~37	11 ~18	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック(10~30mm)を少量含む。	SM4・12より古い。

SM14 (小溝状遺構群) 観察表

遺構名	グリッド	方向	規模 (cm)		層位	土色	土性	備考	重複
			長さ×幅	深さ					
SM14-1	35・41	N-74°~ 83°-E	(486)× (47)	10 ~16	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック(10~30mm)を少量含む。	SM4、Pit154より古い。
SM14-2	40	N-88°-E	(727)×33 ~35	3 ~11	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック(10~30mm)を少量含む。	SM4・6・13、Pit114より古い。
SM14-3	40	N-85°-W ~85°-E	(633)×26 ~40	8 ~13	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック(10~30mm)を少量含む。	SM4・13、Pit134より古い。
SM14-4	34・40	N-88°-E	(600)× (37)	10 ~15	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック(10~30mm)を少量含む。	SM4・6・13、Pit134・167より古い。
SM14-5	34・40	N-88°-E	(976)×34 ~38	4 ~21	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック(10~30mm)を少量含む。	SM3・4・13、Pit150・165より古い。
SM14-6	34・40	N-85°-E	(369)×27 ~31	4 ~6	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック(5~30mm)を少量含む。	SM4・6・13より古い。
SM14-7	34・40	N-86°~ 89°-E	(996)×28 ~43	11 ~23	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック(10~30mm)を少量含む。	SM3・4・6・13、Pit116・117より古い。
SM14-8	33・39	N-88°~ 89°-E	(646)×25 ~28	5 ~11	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック(10~30mm)を少量含む。	SM3・4・6、Pit146より古い。
SM14-9	33・39	N-89°-E	(246)×25 ~28	8 ~9	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック(10~30mm)を少量含む。	SM4・6より古い。
SM14-10	33・39	N-87°-E	(164)× (23)	6	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック(10~30mm)を少量含む。	SM4・6・12より古い。
SM14-11	32・33	N-82°-E	(63)×24 ~26	8	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック(10~30mm)を少量含む。	SM4・12、Pit159・160より古い。
SM14-12	32・38	N-84°-E	(237)×24 ~27	9 ~10	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック(10~30mm)を少量含む。	SM4・12より古い。

SM17 (小溝状遺構群) 観察表

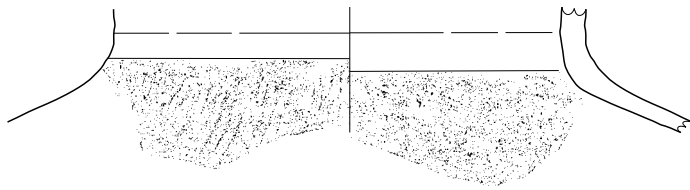
遺構名	グリッド	方向	規模 (cm)		層位	土色	土性	備考	重複
			長さ×幅	深さ					
SM17-1	01~03	N-15°~ 23°-W	1011×56 ~60	9 ~45	1	10YR3/3 暗褐色	シルト	V層土ブロック(20~100mm)を微量含む。	SM4より古く、SM18・19より新しい。
					2	10YR4/3 にぶい黄褐色	シルト	暗褐色シルトを微量含む。	
SM17-2	01・02・ 07・08	N-14°~ 22°-W	1037×49 ~60	37 ~44	1	10YR3/3 暗褐色	シルト	V層土ブロック(20~100mm)を微量含む。	SM4より古く、SM18・19より新しい。
					2	10YR4/3 にぶい黄褐色	シルト	暗褐色シルトを微量含む。	
SM17-3	06・07	N-22°-W	823×43 ~70	30 ~45	1	10YR3/3 暗褐色	シルト	V層土ブロック(20~100mm)を微量含む。	SM4より古く、SM18・19より新しい。
					2	10YR4/3 にぶい黄褐色	シルト	暗褐色シルトを微量含む。	
SM17-4	06~08	N-13°~ 19°-W	966×39 ~56	18 ~42	1	10YR3/3 暗褐色	シルト	にぶい黄褐色シルトを少量含む。	SM4より古く、SM18・19より新しい。
					2	10YR3/3 暗褐色	シルト	V層土ブロック(20~100mm)を微量含む。	
					3	10YR4/3 にぶい黄褐色	シルト	暗褐色シルトを微量含む。	
SM17-5	05~07	N-12°~ 20°-W	1042×50 ~62	13 ~40	1	10YR3/3 暗褐色	シルト	V層土ブロック(20~100mm)を微量含む。	SM4より古く、SM18・19より新しい。
					2	10YR4/3 にぶい黄褐色	シルト	暗褐色シルトを微量含む。	
SM17-6	05~07・ 15・16	N-18°~ 23°-W	1509×43 ~56	14 ~34	1	10YR3/3 暗褐色	シルト	V層土ブロック(20~100mm)を微量含む。	SM4より古く、SM18・19、Pit278より新しい。
					2	10YR4/3 にぶい黄褐色	シルト	暗褐色シルトを微量含む。	
SM17-7	05・06・ 14・15	N-25°-W	826×43 ~51	13 ~32	1	10YR3/3 暗褐色	シルト	V層土ブロック(20~100mm)を微量含む。	SM4より古く、SM19より新しい。
					2	10YR4/3 にぶい黄褐色	シルト	暗褐色シルトを微量含む。	
SM17-8	22	N-25°-W	154×(31)	6 ~9	1	10YR3/3 暗褐色	シルト	V層土ブロック(20~100mm)を微量含む。	SM4より古い。
					2	10YR4/3 にぶい黄褐色	シルト	暗褐色シルトを微量含む。	

SM18 (小溝状遺構群) 観察表

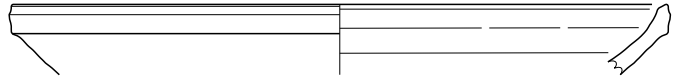
遺構名	グリッド	方向	規模 (cm)		層位	土色	土性	備考	重複
			長さ×幅	深さ					
SM18-1	10	N-87°-E	524×39 ～59	25～	1	10YR3/3 暗褐色	シルト	V層土を微量含む。	SM4より古く、SM19より新しい。
				32	2	10YR3/3 暗褐色	シルト	V層土を多量含む。	
SM18-2	10・18	N-83°-E	741×34 ～55	21～	1	10YR3/3 暗褐色	シルト	V層土を微量含む。	SM4より古く、SM19より新しい。
				30	2	10YR3/3 暗褐色	シルト	V層土を多量含む。	
SM18-3	10・18	N-84°-E	749×39 ～52	4～	1	10YR3/3 暗褐色	シルト	V層土を微量含む。	SM4より古い。
				26	2	10YR3/3 暗褐色	シルト	V層土を多量含む。	
SM18-4	09・17	N-80°～ 87°-E	1185×38 ～56	9～	1	10YR3/3 暗褐色	シルト	V層土を微量含む。	SM4より古く、SM19より新しい。
				34	2	10YR3/3 暗褐色	シルト	V層土を多量含む。	
SM18-5	09	N-82°-E	594×40 ～55	19～	1	10YR3/3 暗褐色	シルト	V層土を微量含む。	SM4より古く、SM19より新しい。
				29	2	10YR3/3 暗褐色	シルト	V層土を多量含む。	
SM18-6	09	N-89°-E	537×12 ～25	4～	1	10YR3/3 暗褐色	シルト	V層土を微量含む。	SM4、Pit297より古く、SM19より新しい。
				18	2	10YR3/3 暗褐色	シルト	V層土を多量含む。	
SM18-7	08・16	N-85°-W ～87°-E	1432×37 ～62	9～	1	10YR3/3 暗褐色	シルト	V層土を微量含む。	SM4、Pit298より古く、SM19より新しい。
				34	2	10YR3/3 暗褐色	シルト	V層土を多量含む。	
SM18-8	03・08	N-82°～ 89°-E	445×35 ～49	7～	1	10YR3/3 暗褐色	シルト	V層土を微量含む。	SM4・17より古く、SM19より新しい。
				32	2	10YR3/3 暗褐色	シルト	V層土を多量含む。	
SM18-9	07・15	N-85°-W ～87°-E	1050×25 ～52	4～	1	10YR3/3 暗褐色	シルト	V層土を微量含む。	SM4・17より古く、SM19より新しい。
				26	2	10YR3/3 暗褐色	シルト	V層土を多量含む。	
SM18-10	02・07 ・15	N-85°～ 89°-E	1493×35 ～49	10～	1	10YR3/3 暗褐色	シルト	V層土を微量含む。	SM4・17より古く、SM19より新しい。
				24	2	10YR3/3 暗褐色	シルト	V層土を多量含む。	
SM18-11	06	N-86°-E	357×23 ～40	13～ 20	1	10YR4/3 にぶい黄褐色	シルト	暗褐色シルトを少量含む。	SM4・17より古く、SM19より新しい。

SM19 (小溝状遺構群) 観察表

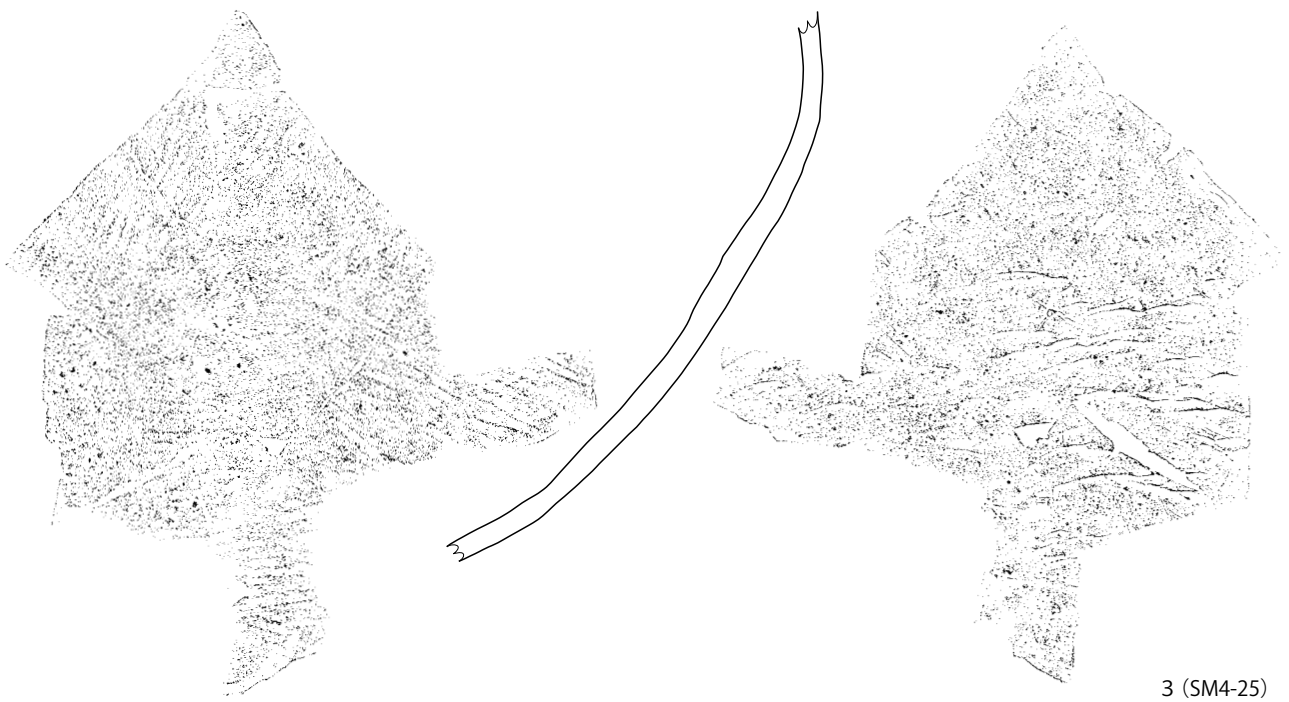
遺構名	グリッド	方向	規模 (cm)		層位	土色	土性	備考	重複
			長さ×幅	深さ					
SM19-1	10・11	N-63°-E	420×(20)	7～	1	10YR3/4 暗褐色	シルト	V層土を少量含む。	SM4・18より古い。
				18	2	10YR4/3 にぶい黄褐色	シルト	暗褐色シルトを少量含む。	
SM19-2	10	N-66°-E	520×57 ～62	13～	1	10YR3/4 暗褐色	シルト	V層土を少量含む。	SM4・18より古い。
				18	2	10YR4/3 にぶい黄褐色	シルト	暗褐色シルトを少量含む。	
SM19-3	9・10	N-89°-W ～72°-E	686×66 ～81	16～	1	10YR3/4 暗褐色	シルト	V層土を少量含む。	SM4より古い。
				30	2	10YR4/3 にぶい黄褐色	シルト	暗褐色シルトを少量含む。	
SM19-4	09・17	N-74°-E	1282×36 ～62	9～	1	10YR3/4 暗褐色	シルト	V層土を少量含む。	SM4・18より古い。
				32	2	10YR4/3 にぶい黄褐色	シルト	暗褐色シルトを少量含む。	
SM19-5	09・16	N-72°～ 80°-E	1418×34 ～60	5～	1	10YR3/4 暗褐色	シルト	V層土を少量含む。	SM4・18、Pit297より古い。
				27	2	10YR4/3 にぶい黄褐色	シルト	暗褐色シルトを少量含む。	
SM19-6	08・09 ・16	N-71°～ 84°-E	1379×36 ～58	11～	1	10YR3/4 暗褐色	シルト	V層土を少量含む。	SM4・17・18、Pit294・299より古い。
				36	2	10YR4/3 にぶい黄褐色	シルト	暗褐色シルトを少量含む。	
SM19-7	08・15 ・16	N-63°～ 80°-E	1502×31 ～54	12～	1	10YR3/4 暗褐色	シルト	V層土を少量含む。	SM4・17・18、Pit292・295・296より古い。
				27	2	10YR4/3 にぶい黄褐色	シルト	暗褐色シルトを少量含む。	
SM19-8	03・07・ 08・15	N-70°～ 80°-E	1581×21 ～61	6～	1	10YR3/4 暗褐色	シルト	V層土を少量含む。	SM4・17・18より古い。
				24	2	10YR4/3 にぶい黄褐色	シルト	暗褐色シルトを少量含む。	
SM19-9	07・15	N-74°～ 80°-E	1079×37 ～55	10～	1	10YR3/4 暗褐色	シルト	V層土を少量含む。	SM4・17・18より古い。
				30	2	10YR4/3 にぶい黄褐色	シルト	暗褐色シルトを少量含む。	
SM19-10	02・06・ 07・14	N-66°～ 78°-E	1263×39 ～68	13～	1	10YR3/4 暗褐色	シルト	V層土を少量含む。	SM4・17・18、Pit293より古い。
				20	2	10YR4/3 にぶい黄褐色	シルト	暗褐色シルトを少量含む。	
SM19-11	02・06・ 07・14	N-65°～ 80°-E	1494×33 ～63	10～	1	10YR3/4 暗褐色	シルト	V層土を少量含む。	SM4・17・18より古い。
				27	2	10YR4/3 にぶい黄褐色	シルト	暗褐色シルトを少量含む。	
SM19-12	01・06	N-65°～ 78°-E	1332×30 ～55	8～	1	10YR3/4 暗褐色	シルト	V層土を少量含む。	SM4・17より古い。
				18	2	10YR4/3 にぶい黄褐色	シルト	暗褐色シルトを少量含む。	



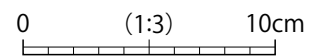
1 (SM1-3)



2 (SM3-3)



3 (SM4-25)



第19図 小溝状遺構群 (IV層上面) 出土遺物

SM (小溝状遺構群)

図版 番号	登録 番号	出土地点	層位	種別	器種	法 量 (cm)			外面調整	内面調整	備 考	写真 図版
						口径	底径	器高				
1	E-1	SM1-3	1層	須恵器	甕	—	—	(5.0)	口縁：叩け 肩部：平行斜	口縁：叩け 肩部：ワ具痕→ハツテ	外面肩部、内面口縁部灰かぶり 海綿骨針わずかに含む	13-5
2	E-2	SM3-3	1層	須恵器	甕	(26.0)	—	(2.8)	叩け	叩け	2点あり。 内外面灰かぶり	13-6
3	E-3	SM4-25	1層	須恵器	甕	—	—	(21.8)	平行斜	胴部上半：ワ具痕 胴部下半：ナ	外面灰かぶり 海綿骨針わずかに含む	13-7

(2) 溝跡 (第11～14・20図)

IV層上面では溝跡を6条確認しているが、形状や規模、堆積土は小溝状遺構に近いものの、周囲に同規模の溝がなく、「群」とならないものも溝跡とした。

SD1 溝跡 (第 11・12・20 図)

1 区南東部、46 グリッドに位置する。南側は攪乱に壊される。SM1-2 より新しい。

方位は N-41° -E で、北西から南西方向へ直線的に延びる。規模は長さ 1.39m 以上、上端幅 24 ～ 29cm、下端幅 13 ～ 18cm、深さ 5 ～ 9 cm を測る。断面形状は台形を呈する。底面標高は南側へ向かって低くなり、比高差は 7 cm である。堆積土は単層で、黒褐色粘土質シルトを主体とする。規模や堆積土は小溝状遺構に近似するが、周囲には方位が共通する小溝状遺構がないため、単独の溝跡とした。

遺物は出土していない。

SD2 溝跡 (第 11・13・14・20 図)

1 区西側、28 グリッドに位置する。SM4-19・SM5a-10 より古く、SM9-8 ～ SM9-10 より新しい。

方位は N-89° -W で、東西方向へ直線的に延びる。規模は長さ 2.62m 以上、上端幅 44cm 以上、下端幅 17 ～ 23cm、深さ 13 ～ 15cm を測る。断面形状は台形を呈する。底面標高は西側へ向かって低くなり、比高差は 9 cm である。堆積土は単層で、黒褐色粘土質シルトを主体とする。規模や堆積土は小溝状遺構に近似するが、周囲には方位が共通する小溝状遺構がないため、単独の溝跡とした。

遺物は出土していない。

SD6 溝跡 (第 11・12・20 図)

1 区南東側、52 グリッドに位置する。東側は調査区外へと延び、SM1・2 より古く、Pit362 より新しい。

方位は N-83° -E で、東西方向へ直線的に延びる。規模は長さ 2.55m 以上、上端幅 30 ～ 41cm、下端幅 19 ～ 26cm、深さ 7 ～ 17cm を測る。断面形状は半円形を呈する。底面標高は東側に向かって緩やかに低くなり、比高差は 11cm である。堆積土は単層で、暗褐色粘土質シルトを主体とする。規模や堆積土は小溝状遺構に近似し、位置や間隔から SM7b の一部である可能性も考えたが、方位と新旧関係より単独の溝跡とした。

遺物は出土していない。

SD14 溝跡 (第 11・12・20 図)

1 区北東側、44 グリッドに位置する。北側は調査区外へと延びる。SM7a より古く、Pit77・349 より新しい。

方位は N-10° -W で、南北方向へ直線的に延びる。規模は長さ 1.44m 以上、上端幅 24 ～ 34cm、下端幅 12 ～ 22cm、深さ 5 ～ 6 cm を測る。断面形状は台形を呈する。底面標高は南側に向かって緩やかに低くなり、比高差は 6 cm である。堆積土は単層で、暗褐色粘土質シルトを主体とする。規模や堆積土は小溝状遺構に近似し、方位がほぼ共通するものとして、SD5 があるが、北側に続かないことや 2 条のみであることなどから、単独の遺構とした。

遺物は出土していない。

SD44 溝跡 (第 11・12・20 図)

1 区南東側、46 グリッドに位置する。SM7a-2・SM7b-1 より新しい。

方位は N-1° -E で、南北方向へ直線的に延びる。規模は長さ 1.37m、上端幅 35 ～ 43cm、下端幅 24 ～ 36cm、深さ 4 cm を測る。断面形状は台形を呈する。底面に起伏はなく、ほぼ平坦である。堆積土は単層で、暗褐色粘土質シルトを主体とする。堆積土は小溝状遺構に近似するが、規模や方位などから単独の溝跡とした。

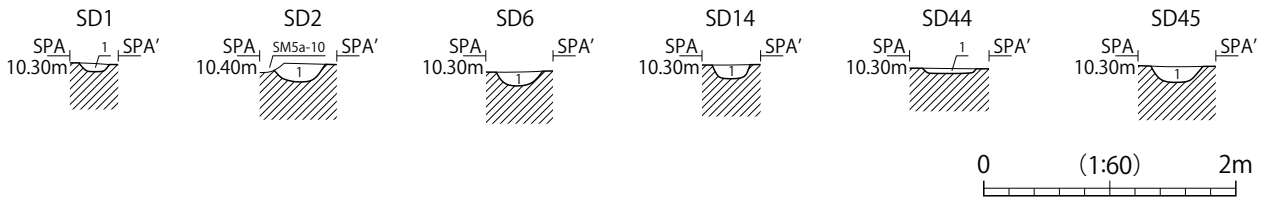
遺物は出土していない。

SD45 溝跡 (第 11・12・20 図)

1 区東側、50～52 グリッドに位置する。SM1-5、SM7a・7b より新しい。

方位は N-14～33-W で、南端部においてやや蛇行するほかは、南北方向へ直線的に延びる。規模は、長さ 8.78m 以上、上端幅 26～42cm、下端幅 17～30cm、深さ 6～16cm を測る。断面形状は台形を呈する。底面標高は中央部が最も低く、比高差は 8 cm である。堆積土は単層で、黒褐色粘土質シルトを主体とする。規模や堆積土は小溝状遺構に近似するが、周囲には方位や間隔の共通する小溝状遺構がないため、単独の溝跡とした。

遺物は出土していない。



第 20 図 溝跡 (IV 層上面) 断面図

溝跡 (IV 層上面) 観察表

遺構名	グリッド	方向 (N-°)	規模 (cm)			層位	土色	土性	備考	重複
			全長	上端幅	下端幅					
SD1	46	41E	(139)	24～29	13～18	5～9	10YR2/3 黒褐色	粘土質シルト	V 層土ブロック (5～10mm) を多量含む。	SM1-2 より新しい。南側を攪乱に壊される。
SD2	28	89W	(262)	(44)	17～23	13～15	10YR3/2 黒褐色	粘土質シルト	V 層土ブロック (5～10mm) を少量含む。	SM4-19、SM5a-10 より古く、SM9-8～9-10 より新しい。
SD6	52	83E	(255)	30～41	19～26	7～17	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V 層土ブロック (5～10mm) を微量含む。	SM1・2 より古く、Pit362 より新しい。
SD14	44	10W	(144)	24～34	12～22	5～6	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V 層土ブロック (5～10mm) を微量含む。	SM7a より古く、Pit77・349 より新しい。
SD44	46	1E	137	35～43	24～36	4	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V 層土ブロック (5～10mm) を少量含む。	SM7a-2、SM7b-1 より新しい。
SD45	50～52	14～33W	(878)	26～42	17～30	6～16	10YR2/3 黒褐色	粘土質シルト	V 層土ブロック (5～10mm) を少量含む。	SM1-5、SM7a・7b より新しい。

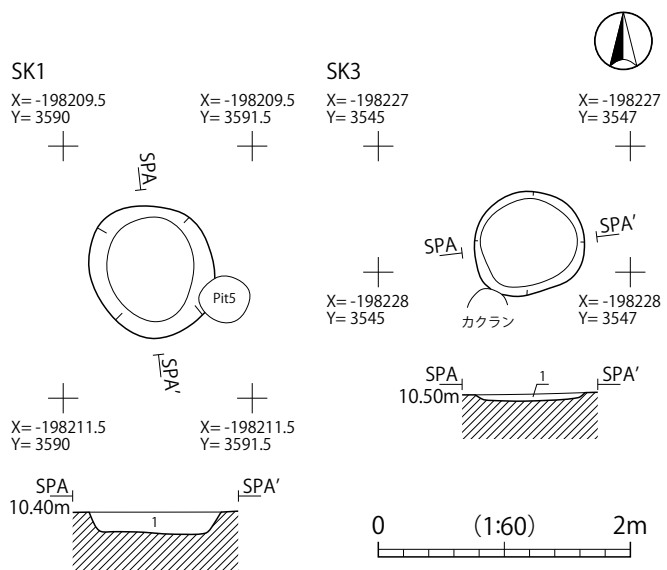
(3) 土坑 (第 11～14・21 図)

SK1 土坑 (第 11・12・21 図)

1 区東側、50・51 グリッドに位置する。Pit5 より古く、SM7a-5・SM7b-4・SM10-4・Pit9 より新しい。

平面形状は円形を呈し、規模は長軸 109cm、短軸 99cm、深さ 18cm を測る。堆積土は単層で、暗褐色粘土質シルトを主体とする。

遺物は出土していない。



第 21 図 土坑 (IV 層上面) 平面図・断面図

SK3 土坑 (第 11・13・14・21 図)

2 区東側、23 グリッドに位置する。南側の一部を攪乱に壊され、SM4-13・SM5a-8 より新しい。

平面形状は円形を呈し、規模は長軸 91cm、短軸 83cm、深さ 16cm を測る。堆積土は単層で、黒褐色粘土質シルトを主体とする。

遺物は出土していない。

土坑 (IV層上面) 観察表

遺構名	グリッド	平面形	規模 (cm)		層位	土色	土性	備考	重複
			長軸×短軸	深さ					
SK1	50・51	円形	109×99	18	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック (10～30mm) を少量含む。	Pit5より古く、SM7a-5・7b-4・10-4、Pit9より新しい。
SK3	23	円形	91×83	16	1	10YR3/2 黒褐色	粘土質シルト	V層土ブロック (5～10mm) を微量含む。	SM4-13・5a-8より新しい。

(4) ピット (第11～15図)

ピットは1区で47基 (Pit5～16・36・37・75・100・114・116・117・120・134・146・150・154・159・160・165～167・343～360)、2区で22基 (Pit279～300) を確認した。分布は全体的に疎らで、配置に規則性はみられない。

遺物は、Pit134から石製品1点が出土しており、これを図化した (第22図-1)。

1は全長19.8cm、幅16.7cm、厚さ9.4cmを測る。a～c面に刃物を研いだような鋭利な痕跡が部分的に確認できるため、砥石とした。ピットの底面に据えられたように出土した。砥石が最終的に柱穴の根石として転用されたものと推定される。石材は、全面に複数の凹みが確認できる多孔質な凝灰岩である。

ピット (IV層上面) 観察表 (1)

遺構名	グリッド	平面形	規模 (cm)		層位	土色	土性	備考	重複
			長軸×短軸	深さ					
Pit5	51	円形	40×37	41	1	10YR2/3 黒褐色	粘土質シルト	V層土ブロック (10～30mm) を多量含む。	SM7b-4、SK1より新しい。
					2	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック (5～10mm) を微量含む。	
Pit6	51	円形	30×29	16	1	10YR2/3 黒褐色	粘土質シルト	V層土ブロック (5～10mm) を微量含む。	SM2-9より新しい。
					2	10YR2/3 黒褐色	粘土質シルト	V層土ブロック (10～30mm) を少量含む。	
Pit7	52	(円形)	29×26	33	1	10YR3/2 黒褐色	粘土質シルト	V層土ブロック (5～10mm) を微量含む。	
					1	10YR2/3 黒褐色	粘土質シルト	V層土ブロック (10～30mm) を多量含む。	
Pit8	44	円形	47×40	26	2	10YR2/3 黒褐色	粘土質シルト	V層土ブロック (10～30mm) を微量含む。	SM7b-6・11-1より新しい。
					3	10YR3/2 黒褐色	粘土質シルト	V層土ブロック (5～10mm) を微量含む。	
					1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック (10～30mm) を多量含む。	
Pit9	51	(円形)	(28×24)	18	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック (10～30mm) を多量含む。	SK1より古く、SM7a-5より新しい。
Pit10	28	—	37×(25)	9	1	10YR2/3 黒褐色	粘土質シルト	V層土ブロック (5～10mm) を少量含む。	SM4-19より古く、SM5b-4より新しい。
Pit11	28	(円形)	(33)×29	10	1	10YR3/2 黒褐色	粘土質シルト	V層土ブロック (5～30mm) を少量含む。	SM4-18より古い。
Pit12	28	(円形)	(33×33)	35	1	10YR3/2 黒褐色	粘土質シルト	V層土ブロック (2～5mm) を微量含む。	SM5b-4より古く、SM6-3より新しい。
					2	10YR3/2 黒褐色	粘土質シルト	V層土ブロック (5～10mm) を多量含む。	
Pit13	51	円形	38×35	40	1	10YR2/3 黒褐色	粘土質シルト	V層土ブロック (5～10mm) を多量含む。	SM7a-3、SD45より新しい。
					2	10YR2/3 黒褐色	粘土質シルト	V層土ブロック (5～30mm) を多量含む。	
					3	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック (5～10mm) を多量含む。	
Pit14	29	円形	31×27	33	1	10YR3/2 黒褐色	粘土質シルト	V層土ブロック (2～5mm) を少量含む。	SM6-2・9-5より新しい。
Pit15	45	楕円形	39×33	13	1	10YR2/3 黒褐色	粘土質シルト	V層土ブロック (10～30mm) を少量含む。	SM10-3より新しい。
Pit16	44	円形	32×31	18	1	10YR2/3 黒褐色	粘土質シルト	V層土ブロック (10～30mm) を少量含む。	SM10-3・11-1より新しい。
Pit36	52	—	(39×26)	15	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック (5～10mm) を少量、炭化物 (5mm以下) を微量含む。	SM1-5・7b-1より古く、SM11-3より新しい。
Pit37	45	(楕円形)	45×35	17	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック (5～10mm) を少量含む。	SM7a-3より古く、SM11-1より新しい。
					2	10YR3/2 黒褐色	粘土質シルト	V層土ブロック (10～30mm) を少量含む。	
Pit75	39	円形	30×27	46	1	10YR3/2 黒褐色	粘土質シルト	V層土ブロック (5～10mm) ・焼土ブロック (2～5mm) を微量含む。	SM12-4より新しい。
Pit100	39	円形	26×25	15	1	10YR3/2 黒褐色	粘土質シルト	V層土ブロック (5～10mm) を微量含む。	SM13-10より新しい。
Pit114	40	円形	26×24	23	1	10YR3/2 黒褐色	粘土質シルト	V層土ブロック (5～10mm) を微量含む。	SM13-1、14-2より新しい。
Pit116	40	円形	47×44	23	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック (5～20mm) を少量含む。	SM14-7より新しい。
					2	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック (10～30mm) を多量含む。	
Pit117	40	(楕円形)	(45)×33	22	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック (5～10mm) を微量含む。	SM4-27より古く、SM14-7、Pit118より新しい。
Pit120	39	楕円形	44×31	20	1	10YR3/4 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック (10～20mm) を微量含む。	SM13-12より新しい。
Pit134	40	(円形)	(40×39)	21	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック (5～10mm) を微量含む。	SM6-6より古く、SM14-3より新しい。
Pit146	39	円形	46×40	10	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック (5～10mm) を微量含む。	SM6-9・14-8より新しい。
Pit150	34	楕円形	34×28	19	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック (5～10mm) を微量含む。	SM14-5より新しい。
Pit154	35	(円形)	(37×37)	11	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック (10～20mm) を少量含む。	SM14-1より古い。西部を攪乱に壊される。
Pit159	32・33・38・39	(楕円形)	(39×30)	23	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック (10～20mm) を少量含む。	SM4-23より古く、SM14-11・Pit160より新しい。
Pit160	33・39	(円形)	(38×32)	30	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック (10～20mm) を少量含む。	SM4-23、Pit159より古く、SM12-1・14-11より新しい。
Pit165	34	—	(49×44)	13	1	10YR3/2 黒褐色	粘土質シルト	V層土ブロック (10～30mm) を微量含む。	SM4-23・6-7より古く、SM14-5より新しい。
Pit166	39	(円形)	(34)×32	16	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック (10～30mm) を多量含む。	SM4-26より古く、SM13-12より新しい。
Pit167	40	—	(39×38)	13	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック (10～30mm) を多量含む。	SM4-24・13-4より古く、SM14-4より新しい。
Pit279	22	楕円形	33×26	28	1	10YR3/2 黒褐色	シルト	V層土ブロック (2～5mm) を少量含む。	SM4-1より新しい。
Pit280	22・28	楕円形	35×27	21	1	10YR3/2 黒褐色	シルト	V層土ブロック (2～5mm) を少量含む。	

ピット (IV層上面) 観察表 (2)

遺構名	グリッド	平面形	規模 (cm)			層位	土色	土性	備考	重複
			長軸×短軸	深さ						
Pit281	17	楕円形	31×25	58	1	10YR3/2 黒褐色	シルト	V層土ブロック (2～5mm) を少量含む。	SM4-18より新しい。	
Pit282	18	円形	25×21	22	1	10YR3/2 黒褐色	シルト	V層土ブロック (50mm以下) を少量含む。	SM4-18より新しい。	
Pit283	24	楕円形	29×20	18	1	10YR3/2 黒褐色	シルト	V層土ブロック (2～5mm) を少量含む。		
Pit284	17・24	楕円形	23×17	12	1	10YR3/2 黒褐色	シルト	V層土ブロック (2～5mm) を微量含む。		
Pit285	17	円形	28×25	40	1	10YR4/3 にぶい黄褐色	砂質シルト	黒褐色シルトを少量含む。		
					2	10YR3/2 黒褐色	シルト	V層土ブロック (2～5mm) を微量含む。		
Pit286	24	楕円形	36×30	34	1	10YR3/2 黒褐色	シルト	V層土ブロック (2～5mm) を少量、炭化物 (3mm以下) を微量含む。		
Pit287	18	楕円形	32×26	16	1	10YR3/2 黒褐色	シルト	V層土ブロック (2～5mm) を少量含む。		
Pit288	18	円形	23×22	19	1	10YR3/2 黒褐色	シルト	V層土ブロック (2～5mm) を少量含む。		
Pit289	17	楕円形	27×18	28	1	10YR3/2 黒褐色	シルト	V層土ブロック (2～5mm) を微量含む。		
Pit290	17	円形	24×23	49	1	10YR3/2 黒褐色	シルト	V層土ブロック (2～5mm) を微量含む。		
Pit291	19	(円形)	(31×26)	15	1	10YR3/2 黒褐色	シルト	V層土ブロック (2～5mm) を微量含む。	上部を攪乱に壊される。	
Pit292	08	円形	23×20	19	1	10YR4/3 にぶい黄褐色	シルト	IV層土ブロック (3mm以下) を微量含む。	SM19-7・4-23より新しい。	
Pit293	14	楕円形	32×23	24	1	10YR4/3 にぶい黄褐色	シルト	褐色シルトを微量含む。	SM19-10・4-22より新しい。	
Pit294	16	円形	19×19	15	1	10YR4/3 にぶい黄褐色	シルト	褐色シルトを微量含む。	SM4-22より古く、SM19-6より新しい。	
Pit295	16	円形	23×20	21	1	10YR4/3 にぶい黄褐色	シルト	褐色シルトを微量含む。	SM19-7より新しい。	
Pit296	16	円形	28×25	24	1	10YR4/3 にぶい黄褐色	シルト	褐色シルトを微量含む。	SM19-7より新しい。	
Pit297	09	楕円形	35×29	26	1	10YR3/4 暗褐色	シルト	V層土を少量含む。	SM19-5・SM18-6より新しい。	
Pit298	08	円形	31×28	18	1	10YR3/4 暗褐色	シルト	V層土を少量含む。	SM18-7より新しい。	
Pit299	08・09	円形	23×21	25	1	10YR4/2 灰黄褐色	シルト		SM19-6より新しい。	
Pit300	06	円形	23×22	11	1	10YR4/4 褐色	シルト	黒褐色シルトを少量含む。		
					2	10YR3/2 黒褐色	シルト	V層土を少量含む。		
Pit343	34	—	(23)	17	1	10YR4/3 にぶい黄褐色	粘土質シルト	V層土を少量含む。調査区壁で確認。		
Pit344	38	—	(31)	19	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土を少量含む。調査区壁で確認。	SM4-27・SM12-8より古い。	
Pit345	44	—	(37)	19	1	10YR3/4 暗褐色	粘土質シルト	V層土を少量含む。調査区壁で確認。	SM1-1より古い。	
Pit346	44	—	(25)	17	1	10YR3/4 暗褐色	粘土質シルト	V層土を微量含む。調査区壁で確認。	SM1-1より古い。	
Pit347	44	—	(23)	30	1	10YR3/4 暗褐色	粘土質シルト	V層土を少量含む。調査区壁で確認。	Pit348より新しい。	
Pit348	44	—	(15)	20	1	10YR4/3 にぶい黄褐色	粘土質シルト	V層土を多量含む。調査区壁で確認。	Pit347より古い。	
Pit349	44	—	(51)	35	1	10YR4/3 にぶい黄褐色	粘土質シルト	V層土を多量含む。調査区壁で確認。	SD14より古い。	
Pit350	44	—	(16)	10	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土を少量含む。調査区壁で確認。		
Pit351	43・44	—	(25)	26	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土を少量含む。調査区壁で確認。	SM1-2より古く、Pit352より新しい。	
Pit352	44	—	(28)	20	1	10YR4/3 にぶい黄褐色	粘土質シルト	V層土を少量含む。調査区壁で確認。	Pit351より古い。	
Pit353	43	—	(29)	36	1	10YR3/4 暗褐色	粘土質シルト	V層土を少量含む。調査区壁で確認。	SM1-2より古い。	
Pit354	43	—	(43)	24	1	10YR4/3 にぶい黄褐色	粘土質シルト	V層土を少量含む。調査区壁で確認。	SM10-2より古い。	
Pit355	51	—	(28)	38	1	10YR4/3 にぶい黄褐色	粘土質シルト	V層土を少量含む。調査区壁で確認。	SM2-9・SM7b-3より古い。	
Pit356	51	—	(41)	13	1	10YR4/3 にぶい黄褐色	粘土質シルト	V層土を多量含む。調査区壁で確認。		
Pit357	51	—	(20)	21	1	10YR3/4 暗褐色	粘土質シルト	V層土を少量含む。調査区壁で確認。	SM7b-1より古い。	
Pit358	52	—	(22)	15	1	10YR3/4 暗褐色	粘土質シルト	V層土を少量含む。調査区壁で確認。		
Pit359	52	—	(30)	30	1	10YR3/4 暗褐色	粘土質シルト	V層土を少量含む。調査区壁で確認。	SM2-9より古い。	
Pit360	52	—	(36)	32	1	10YR4/3 にぶい黄褐色	粘土質シルト	V層土を少量含む。調査区壁で確認。		

(5) 遺構外出土遺物 (第22図)

IV層上面の遺構外からは、土師器・須恵器・埴輪・縄文土器・敲石などが出土し、このうち土師器2点、須恵器2点、埴輪1点、縄文土器1点、敲石1点を図化した (第22図-2～8)。

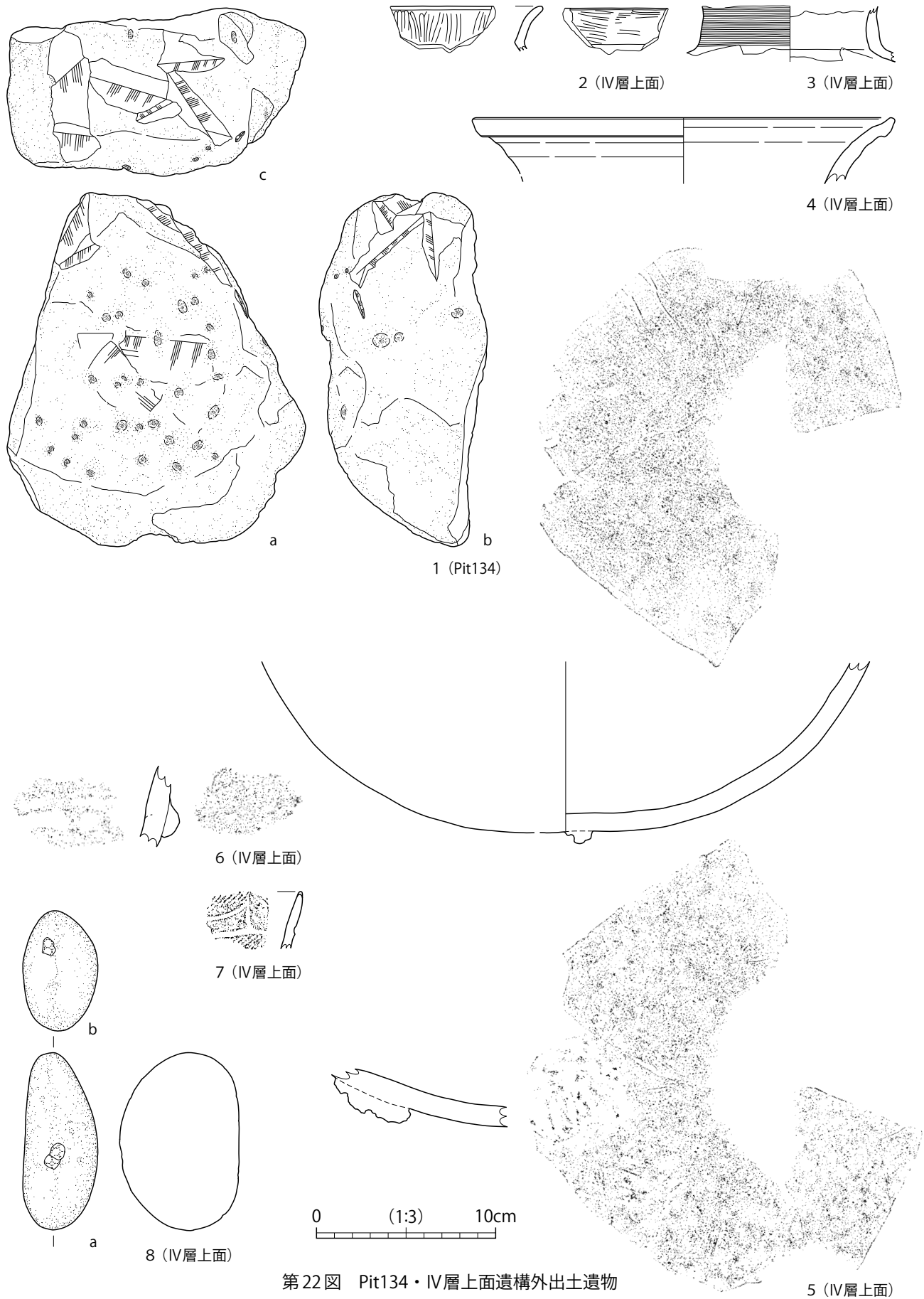
2は土師器甕の口縁部片であり、内外面へラ磨きで調整されている。3は土師器壺の頸部片であり、内外面とも摩耗しており調整は確認できなかった。

4は須恵器甕の口縁部片であり、内外面ともにロクロナデにより調整されている。5世紀後半の所産と推定される。5は須恵器甕の胴部片であり、外面は平行タタキとロクロナデにより調整され、内面にはアテ具痕がみられる。外面には炉壁の一部が附着している。また、内外面に灰を被った状態であったことが観察できる。第19図-3と出土地点も近く、同一個体と思われるが接合しなかった。

6は円筒埴輪である。外面には凸帯が確認でき、凸帯の上下はナデで調整されている。春日社古墳に伴うものと考えられ、5世紀後半から6世紀初頭の所産と推定される。

7は縄文土器深鉢の口縁部片である。口縁部は波状を呈する。外面はLR縄文が横位回転で施され、横位の弧状または直線の沈線によって区画されている。無文部にはミガキが施されている。縄文時代後期末～晩期初頭の所産と推定される。

8は敲石である。正面及び上面に敲打痕が確認できる。石材は安山岩である。



第22図 Pit134・IV層上面遺構外出土遺物

Pit134

図版番号	登録番号	出土地点	層位	種別	器種	法 量 (cm)			重量 (g)	石材	備 考	写真図版
						全長	幅	厚さ				
1	Kd-1	Pit134	1層	石製品	砥石	19.8	16.7	9.4	1,682.0	凝灰岩		14-1

IV層上面遺構外

図版番号	登録番号	出土地点	層位	種別	器種	法 量 (cm)			外面調整	内面調整	備 考	写真図版
						口径	底径	器高				
2	C-1	03グリッド	IV層	土師器	甕	—	—	(2.6)	ハミガキ	ハミガキ		13-8
3	C-2	07グリッド	IV層	土師器	壺	—	—	(3.1)	口縁：エッジ	不明	内外面摩滅	13-9
4	E-5	1区	IV層	須恵器	甕	(26.0)	—	(3.7)	叩け	叩け	内外面灰かぶり 海綿骨針わずかに含む	13-11
5	E-4	1区	IV層	須恵器	甕	—	—	(5.2)	平行斜線→叩け	77具痕	内外面灰かぶり 外面灰壁付着 歪みあり	13-10

図版番号	登録番号	出土地点	層位	種別	器種	法 量 (cm)	外面調整 (文様)	内面調整 (文様)	備 考	写真図版
6	S-2	1区	IV層	埴輪	円筒埴輪	器高(4.5)	凸帯	不明	内外面摩滅	13-12

図版番号	登録番号	出土地点	層位	種別	器種	部位	外面調整 (文様)	内面調整 (文様)	備 考	写真図版
7	A-1	24グリッド	IV層	縄文土器	深鉢	口縁部	LR縄文横位回転→沈線(横位・斜位直線文・弧線文) 無文部ミガキ	横位ミガキ	小波状口縁	13-13

図版番号	登録番号	出土地点	層位	種別	器種	法 量 (cm)			重量 (g)	石材	備 考	写真図版
						全長	幅	厚さ				
8	Kc-1	1区	IV層	礫石器	敲石	9.9	6.7	4.2	371.0	安山岩		13-14

第3節 V層上面の遺構と遺物 (第23～32図)

V層上面において確認した遺構は、小溝状遺構群 (SM15・16)、溝跡30条 (SD3～5・7～13・15・16・18・20・22～26・28・29・31・36～43)、土坑2基 (SK2・4)、ピット279基 (Pit17～35・38～74・76～99・101～113・115・118・119・121～133・135～145・147～149・151～153・155～158・161～164・168～268・301～342・361・362)、性格不明遺構 (SX1・2) である。

小溝状遺構群はIV層から掘り込まれると考えられ、V層上面で確認したものはIV層の下位から掘り込まれたものの可能性がある。V層上面では小溝状遺構14条を確認し、方向や形状などから2群に割り当てた。溝跡は、規模や堆積土が小溝状遺構に似ているが、方向や間隔などから小溝状遺構群に組み込めなかったものである。ピットはV層になると確認数を増す。単層のものが多く、柱穴ではなく小溝状遺構群に伴う耕作痕の可能性もある。性格不明遺構は当初竪穴住居跡を想定して調査を進めたが、竪穴住居跡としての要素が欠けており、認定に至らなかったものである。

出土遺物は、IV層上面に比べて少ないが、土師器、縄文土器、礫石器などが出土した。

(1) 小溝状遺構群 (第23・25・27図)

SM15小溝状遺構群 (第23・25・27図)

SM15-1～7の計7条が該当し、1区中央、34・35・39～41グリッドに位置する。南側は調査区外に続くものと推定される。SM4・6・13・14・16、SD31、Pit126・130・147・148・151・153より古く、Pit167より新しい。確認した範囲は、南北7.5m、東西11.1mに及ぶ。各溝間の間隔は57～234cmである。SM15-2・3間、3・4間の間隔が特に広く、確認できなかったが間にもう1条存在した可能性がある。小溝状遺構の底面には耕作痕が確認でき、通常半月状に見えるが、上部が乱れているとピット状に確認されることがある。例えば耕作痕のみを確認したとすると、Pit137・138・140～142が耕作痕に該当する可能性がある。同じようにPit127・131・134が耕作痕であると、SM15-2～3間・SM15-3～4間にもう1条ずつ小溝状遺構を想定できる。

各溝をみていくと、方位はN-13°-W～N-10°-Eで、平均するとN-3.7°-Wである。平面形状は直線を呈する。確認した規模は、長さが最長で6.48mあり、幅は27～46cmで平均37.2cm、深さは4～16cmで平均9.1cmである。断面形状はU字もしくは弧状を呈する。底面に起伏はなく、概ね平坦である。堆積土は単層で、暗褐色粘土質シルトを主体とする。

遺物は出土していない。



第23図 V層上面全体図



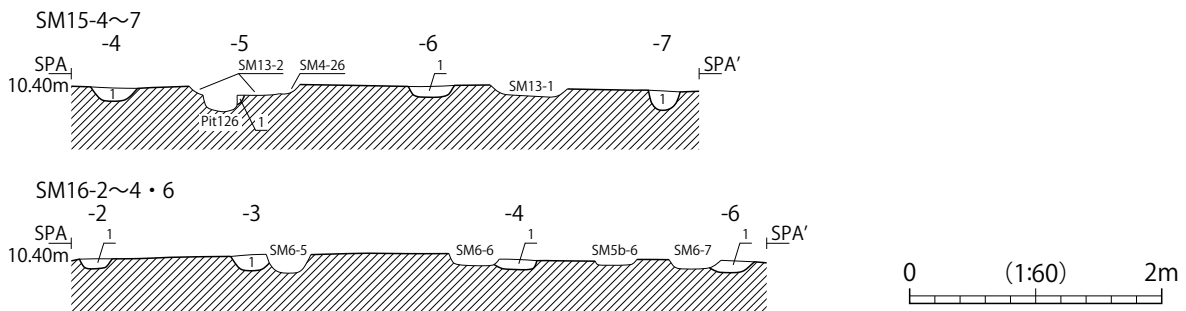
第26図 V層上面遺構配置図(3)

SM16小溝状遺構群 (第23・25・27図)

SM16-1～7の計7条が該当し、1区中央、28・34～36グリッドに位置する。北側の一部と南側は攪乱に壊される。北側は調査区外に、南側は攪乱以南に続くものと推定される。SM4～6・9・14、Pit153・174より古く、SM15、Pit154・170・230・231・243より新しい。確認した範囲は、南北8.5m、東西11.9mに及ぶ。各溝間の間隔は34～119cmである。SM16-1・2間の間隔が広く、確認できなかったが間にもう1条存在した可能性がある。また、SM16-4・5間やSM16-6・7間の間隔が狭く、SM16とは別群の可能性も考えたが、ほかに同方位の小溝状遺構がないため本群に含めた。

各溝をみていくと、方位はN-64°～84°-Eで、平均するとN-76.4°-Eである。平面形状は直線を呈する。確認した規模は、長さが最長で11.39m以上あり、幅は21～49cmで平均31.1cm、深さは5～21cmで平均11.1cmである。断面形状はU字もしくは弧状を呈する。底面に起伏はなく、概ね平坦である。堆積土は単層で、黒褐色粘土質シルトを主体とする。

遺物は出土していない。



第27図 小溝状遺構群 (V層上面) 断面図

SM15 (小溝状遺構群) 観察表

遺構名	グリッド	方向	規模 (cm)		層位	土色	土性	備考	重複
			長さ×幅	深さ					
SM15-1	34・35	N-8°-W	(564)×28 ~44	4～8	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック(10～30mm)を少量含む。	SM4・6・14・16より古い。
SM15-2	34・35	N-3°～ 13°-W	(571)×27 ~38	4～9	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック(10～30mm)を少量含む。	SM4・6・14・16、Pit151・153より古い。
SM15-3	39～41	N-3°～ 6°-W	(648)×29 ~34	5～9	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック(10～30mm)を少量含む。	SM4・6・13・14・16、Pit126・130・147・148より古く、Pit167より新しい。
SM15-4	40	N-4°-W ~10°-E	(286)×37 ~46	9～12	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック(10～30mm)を少量含む。	SM6・13・14より古い。
SM15-5	40	N-2°-W ~2°-E	(267)×39	9～16	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック(10～30mm)を少量含む。	SM4・6・13・14より古い。
SM15-6	40	N-7°-W	(92)×37 ~41	7～9	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック(10～30mm)を少量含む。	SM13・14より古い。
SM15-7	40	N-9°-W	(112)×26 ~31	9～12	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック(10～30mm)を少量含む。	SM13・14、SD31より古い。

SM16 (小溝状遺構群) 観察表

遺構名	グリッド	方向	規模 (cm)		層位	土色	土性	備考	重複
			長さ×幅	深さ					
SM16-1	35・36	N-76°-E	(266)×(21)	8～10	1	10YR3/2 黒褐色	粘土質シルト	V層土ブロック(5～10mm)を少量含む。	SM4・6より古い。
SM16-2	35	N-73°～ 84°-E	(787)×25 ~26	6～15	1	10YR3/2 黒褐色	粘土質シルト	V層土ブロック(5～10mm)を少量含む。	SM4・6・9・14より古く、SM15、Pit154より新しい。
SM16-3	28・34 ・35	N-64°～ 81°-E	(1139)×24 ~49	7～16	1	10YR3/2 黒褐色	粘土質シルト	V層土ブロック(5～10mm)を少量含む。	SM4・5・6、Pit153より古く、SM15より新しい。
SM16-4	34	N-68°～ 80°-E	(778)×28 ~41	5～11	1	10YR3/2 黒褐色	粘土質シルト	V層土ブロック(5～10mm)を少量含む。	SM4・6・14、Pit174より古く、SM15、Pit170・230・231より新しい。
SM16-5	34	N-75°-E	(85)×29 ~35	9	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック(10～30mm)を少量含む。	SM4より古く、SM15より新しい。
SM16-6	34	N-68°～ 77°-E	(668)×36 ~37	11～13	1	10YR3/2 黒褐色	粘土質シルト	V層土ブロック(5～10mm)を少量含む。	SM4・14より古く、Pit243より新しい。
SM16-7	34	N-81°-E	(167)×28 ~36	17～21	1	10YR3/2 黒褐色	粘土質シルト	V層土ブロック(5～10mm)を少量含む。	SM4より古い。

(2) 溝跡(第23・24・29図)

V層上面では溝跡を30条確認しているが、形状や規模、堆積土は小溝状遺構に近いものの、周囲に同規模の溝がなく、「群」とならないものも溝跡とした。

SD3 溝跡(第23・24・29図)

1区東側、45グリッドに位置する。SM7a・7b・10より古い。

方位はN-43°-Wで、北西から南東方向へ直線的に延びる。規模は長さ1.30m以上、上端幅19～23cm、下端幅10～14cm、深さ4～6cmを測る。断面形状は弧状を呈する。底面標高は、南側に向かって緩やかに低くなり、比高差は3cmである。堆積土は単層で、暗褐色粘土質シルトを主体とする。規模や堆積土は小溝状遺構に近似するが、方位や間隔の共通する小溝状遺構がなかったため、単独の溝跡とした。

遺物は出土していない。

SD4 溝跡(第23・24・29図)

1区南東側、45・46グリッドに位置する。SM2・7a・7bより古く、SD29、Pit69より新しい。

方位はN-3°-W～1°-Eで、南北方向へ直線的に延びる。規模は長さ4.22m以上、上端幅28～38cm、下端幅17～21cm、深さ5～8cmを測る。断面形状は弧状を呈する。底面標高は、中央部が高く南北に傾斜する。比高差は南が6cm、北が4cmを測る。堆積土は単層で、暗褐色粘土質シルトを主体とする。規模や堆積土は小溝状遺構に近似し、方位からSM15に含まれる可能性も考えたが、SM15に連続して確認できなかつたため、単独の溝跡とした。また、方位がやや異なるがSD5に続く可能性も考えられる。

遺物は出土していない。

SD5 溝跡(第23・24・29図)

1区北東側、44・45グリッドに位置する。SM7a・7b、Pit50より古く、SD13・28、Pit73・80より新しい。

方位はN-7°～13°-Wで、南北方向へ直線的に延びる。規模は長さ5.88m以上、上端幅22～28cm、下端幅10～19cm、深さ4～8cmを測る。断面形状は弧状を呈する。底面標高は、北側に向かって緩やかに低くなり、比高差は9cmである。堆積土は単層で、暗褐色粘土質シルトを主体とする。規模や堆積土は小溝状遺構に近似し、方位からSM15に含まれる可能性も考えたが、SM15はSD5ほど北側まで延びていない。また、南側でSD4に続く可能性も考えられる。

遺物は土師器が出土したが、小破片のため、図化できなかった。

SD7 溝跡(第23・24・29図)

1区南東側、46・52グリッドに位置する。西側は調査区外となり、SM1・2・10より古い。

方位はN-58°-Eで、東西方向へ直線的に延びる。規模は長さ1.63m以上、上端幅30～44cm、下端幅14～32cm、深さ5～6cmを測る。断面形状は弧状を呈する。底面標高は、西側に向かって緩やかに低くなり、比高差は4cmである。堆積土は単層で、黒褐色粘土質シルトを主体とする。規模や堆積土は小溝状遺構に近似し、位置や間隔からSM7bの可能性も考えたが、方位と新旧関係より単独の溝跡とした。また、方位がほぼ共通するものとして、SD8・9・13・26・28があるが、間隔などにより小溝状遺構群として認定するには至らなかつた。東側ではSD6に続く可能性も考えられるが、堆積土の色調に違いがみられた。

遺物は出土していない。

SD8 溝跡 (第 23・24・29 図)

1 区南東側、46 グリッドに位置する。SM1・2・7a より古く、Pit74 より新しい。

方位は N-33° ~ 57° -E で、東西方向へ直線的に延びる。規模は長さ 1.10m 以上、上端幅 30 ~ 33cm、下端幅 12 ~ 19cm、深さ 11 ~ 12cm を測る。断面形状は弧状を呈する。底面に起伏はなく、平坦である。堆積土は単層で、暗褐色粘土質シルトを主体とする。規模や堆積土は小溝状遺構に近似し、方位がほぼ共通するものとして、SD7・9・13・26・28 があるが、間隔などにより小溝状遺構群として認定するには至らなかった。

遺物は出土していない。

SD9 溝跡 (第 23・24・29 図)

1 区東側、45・46 グリッドに位置する。SM1・2・7a・7b・10 より古い。

方位は N-50° ~ 65° -E で、東西方向へ直線的に延びる。規模は長さ 2.89m 以上、上端幅 39cm 以上、下端幅 13 ~ 22cm、深さ 9 ~ 14cm を測る。断面形状は台形を呈する。底面標高は、東側に向かって緩やかに低くなり、比高差は 4 cm である。堆積土は単層で、暗褐色粘土質シルトを主体とする。規模や堆積土は小溝状遺構に近似し、方位がほぼ共通するものとして、SD7・8・13・26・28 があるが、間隔などにより小溝状遺構群として認定するには至らなかった。

遺物は出土していない。

SD10 溝跡 (第 23・24・29 図)

1 区東側、45 グリッドに位置する。SM2・7b・10 より古い。

方位は N-74° -W で、東西方向へ直線的に延びる。規模は長さ 0.56m 以上、上端幅 19 ~ 21cm、下端幅 11cm、深さ 3 cm を測る。断面形状は台形を呈する。底面に起伏はなく、平坦である。堆積土は単層で、暗褐色粘土質シルトを主体とする。規模や堆積土は小溝状遺構に近似するが、方位の共通する小溝状遺構がなかったため、単独の溝跡とした。

遺物は出土していない。

SD11 溝跡 (第 23・24・29 図)

1 区東側、45・46 グリッドに位置する。SM7a・7b より古い。

方位は N-12° -W で、南北方向へ直線的に延びる。規模は長さ 0.42m 以上、上端幅 15 ~ 19cm、下端幅 10cm、深さ 3 cm を測る。断面形状は台形を呈する。底面に起伏はなく、平坦である。堆積土は単層で、暗褐色粘土質シルトを主体とする。堆積土は小溝状遺構に近似し、方位がほぼ共通するものとして、SD4・12・16・15 があるが、間隔の違いなどにより小溝状遺構群として認定するには至らなかった。

遺物は出土していない。

SD12 溝跡 (第 23・24・29 図)

1 区東側、45・46 グリッドに位置する。SM7a・7b より古い。

方位は N-6° -W で、南北方向へ直線的に延びる。規模は長さ 0.39m 以上、上端幅 27 ~ 33cm、下端幅 16 ~ 24cm、深さ 5 cm を測る。断面形状は台形を呈する。底面に起伏はなく平坦である。堆積土は単層で、暗褐色粘土質シルトを主体とする。堆積土は小溝状遺構に近似し、方位がほぼ共通するものとして、SD4・11・15・16 があるが、間隔の違いなどにより小溝状遺構群として認定するには至らなかった。

遺物は出土していない。

SD13 溝跡 (第 23・24・29 図)

1 区東側、45 グリッドに位置する。SM1・7a、SD5、Pit50 より古い。

方位は N-55° -E で、東西方向へ直線的に延びる。規模は長さ 2.54m 以上、上端幅 22 ～ 28cm、下端幅 13 ～ 18cm、深さ 4 ～ 7cm を測る。断面形状は台形を呈する。底面標高は、中央が低く、比高差は西が 6 cm、東が 3 cm である。堆積土は単層で、暗褐色粘土質シルトを主体とする。規模や堆積土は小溝状遺構に近似し、方位がほぼ共通するものとして、SD7 ～ 9・26・28 があるが、間隔などにより小溝状遺構群として認定するには至らなかった。

遺物は出土していない。

SD15 溝跡 (第 23・24・29 図)

1 区東側、45・46 グリッドに位置する。SM1・2・7a より古く、Pit96・98 より新しい。

方位は N-4° -W で、南北方向へ直線的に延びる。規模は長さ 1.79m 以上、上端幅 31cm 以上、下端幅 12 ～ 18cm、深さ 7 ～ 8cm を測る。断面形状は台形を呈する。底面標高は、南側に向かって緩やかに低くなり、比高差は 2 cm である。堆積土は単層で、暗褐色粘土質シルトを主体とする。規模や堆積土は小溝状遺構に近似し、方位がほぼ共通するものとして、SD4・11・12・16 があるが、間隔の違いなどにより小溝状遺構群として認定するには至らなかった。

遺物は出土していない。

SD16 溝跡 (第 23・24・29 図)

1 区東側、45・46 グリッドに位置する。SM2・7a、Pit68 より古い。

方位は N-2° -W で、南北方向へ直線的に延びる。規模は長さ 1.54m 以上、上端幅 39cm 以上、下端幅 32cm 以上、深さ 4 ～ 8 cm を測る。断面形状は台形を呈する。底面標高は、中央に向かって低くなり、比高差は南が 4 cm、北が 2 cm である。堆積土は単層で、暗褐色粘土質シルトを主体とする。規模や堆積土は小溝状遺構に近似し、方位がほぼ共通するものとして、SD4・11・12・15 があるが、間隔の違いなどにより小溝状遺構群として認定するには至らなかった。

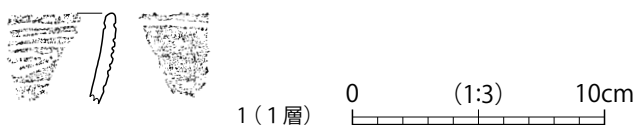
遺物は出土していない。

SD18 溝跡 (第 23・24・28・29 図)

1 区北東側、44・50 グリッドに位置する。東側は調査区外に延びる。SM7b より古い。

方位は N-73 ～ 85E で、東西方向へ直線的に延びる。規模は長さ 1.97m 以上、上端幅 38cm 以上、下端幅 18 ～ 22cm、深さ 33 ～ 50cm を測る。断面形状は台形を呈する。底面標高は、中央に向かって低くなり、比高差は西が 15cm、東が 5 cm である。堆積土は単層で、暗褐色粘土質シルトを主体とする。SM7b-7 の下層部分かと思われたが、調査区東壁において重複関係が確認できたため、単独の溝跡とした。

遺物は 1 層から縄文土器 2 点と土師器 1 点が出土した。縄文土器片 2 点は文様や胎土より同一個体と推定されるが、接合しなかった。このうち、縄文土器 1 点を図化した (第 28 図 - 1)。1 は深鉢の口縁部片であり、沈線で文様が施され、内面にも口縁部の縁と並行するように 1 条の沈線が施される。縄文時代晩期の所産と推定される。



第 28 図 SD18 出土遺物

SD18

図版番号	登録番号	出土地点	層位	種別	器種	部位
1	A-2	SD18	1層	縄文土器	深鉢	口縁部
外面調整(文様)			内面調整(文様)		写真図版	
沈線(横位・斜位直線文、弧線文・変形工字文)			沈線(横位直線文)		14-2	

SD20 溝跡 (第 23・25・29 図)

1 区中央部、40 グリッドに位置する。SM4・13 より古い。

方位は N-35° -W で、南北方向へ直線的に延びる。規模は長さ 1.70m 以上、上端幅 20～27cm、下端幅 9～15cm、深さ 3～5 cm を測る。断面形状は台形を呈する。底面に起伏はなく、概ね平坦である。堆積土は単層で、暗褐色粘土質シルトを主体とする。規模や堆積土は小溝状遺構に近似するが、方位の共通する小溝状遺構がなかったため、単独の溝跡とした。

遺物は出土していない。

SD22 溝跡 (第 23・25・29 図)

1 区西側、28・29 グリッドに位置する。SM4・5a・9、SX2 より古い。

方位は N-23° -E で、南北方向へ直線的に延びる。規模は長さ 1.03m 以上、上端幅 29cm 以上、下端幅 13～18cm、深さ 8～9 cm を測る。断面形状は台形を呈する。底面に起伏はなく、概ね平坦である。堆積土は単層で、暗褐色粘土質シルトを主体とする。SX2 の外周に沿うように延びるが、周溝にしては外周から離れ過ぎているため、単独の溝跡とした。

遺物は出土していない。

SD23 溝跡 (第 23～25・29 図)

1 区北東側、38・44 グリッドに位置する。SM12 より古い。

方位は N-78° -E で、東西方向へ直線的に延びる。規模は長さ 1.96m 以上、上端幅 18～23cm、下端幅 11～14cm、深さ 2～3 cm を測る。断面形状は台形を呈する。底面標高は、西側に向かって緩やかに低くなり、比高差は 2 cm である。堆積土は単層で、暗褐色粘土質シルトを主体とする。規模や堆積土は小溝状遺構に近似するが、方位の共通する小溝状遺構がなかったため、単独の溝跡とした。

遺物は出土していない。

SD24 溝跡 (第 23～25・29 図)

1 区北東側、39 グリッドに位置する。SM4・12、Pit91・93 より古い。

方位は N-90° -E で、東西方向へ直線的に延びる。規模は長さ 1.95m 以上、上端幅 19～25cm、下端幅 7～11cm、深さ 3～5 cm を測る。断面形状は台形を呈する。底面標高は、中央に向かって低くなり、比高差は西側が 2 cm、東側が 1 cm である。堆積土は単層で、暗褐色粘土質シルトを主体とする。規模や堆積土は小溝状遺構に近似するが、方位の合う小溝状遺構がなかったため、単独の溝跡とした。また、SD25 と接続する可能性もあるが、少し距離があったため別番号で記録した。

遺物は出土していない。

SD25 溝跡 (第 23・24・29 図)

1 区北東側、44・45 グリッドに位置する。SM12、Pit85 より古い。

方位は N-60°～80° -E で、東西方向へ直線的に延びる。規模は長さ 2.24m、上端幅 32～36cm、下端幅 16～28cm、深さ 6～17cm を測る。断面形状は台形を呈する。底面標高は、東に向かって低くなり、比高差は 11cm である。堆積土は単層で、暗褐色粘土質シルトを主体とする。規模や堆積土は小溝状遺構に近似するが、方位の共通する小溝状遺構がなかったため、単独の溝跡とした。また、SD24 と接続する可能性もあるが、少し距離があったため別番号で記録した。遺物は出土していない。

SD26 溝跡 (第 23・24・29 図)

1 区北東側、44 グリッドに位置する。SM1・12 より古い。

方位は N-54° -E で、東西方向へ直線的に延びる。規模は長さ 2.56m 以上、上端幅 27～34cm、下端幅 15～24cm、深さ 6～9 cm を測る。断面形状は台形を呈する。底面標高は、中央が高く、東西に向かって低くなり、比高差は西側が 3 cm、東側が 8 cm である。堆積土は単層で、暗褐色粘土質シルトを主体とする。規模や堆積土は小溝状遺構に近似し、方位がほぼ共通するものとして、SD7～9・13・28 があるが、間隔などにより小溝状遺構群として認定するには至らなかった。

遺物は出土していない。

SD28 溝跡 (第 23・24・29 図)

1 区北東側、44 グリッドに位置する。SM7a、SD5 より古い。

方位は N-59° -E で、東西方向へ直線的に延びる。規模は長さ 1.38m 以上、上端幅 40cm 以上、下端幅 28cm 以上、深さ 7～8 cm を測る。断面形状は台形と推定される。底面に起伏はなく、概ね平坦である。堆積土は単層で、暗褐色粘土質シルトを主体とする。規模や堆積土は小溝状遺構に近似し、方位がほぼ共通するものとして、SD7～9・13・26 があるが、間隔などにより小溝状遺構群として認定するには至らなかった。

遺物は出土していない。

SD29 溝跡 (第 23・24・29 図)

1 区東側、45・46 グリッドに位置する。SM1・7a、SD4、Pit70 より古い。

方位は N-33° -W で、南北方向へ直線的に延びる。規模は長さ 1.95m 以上、上端幅 28～36cm、下端幅 21～27cm、深さ 2～3 cm を測る。断面形状は台形を呈する。底面標高は、南に緩やかに低くなり、比高差は 3 cm である。堆積土は単層で、暗褐色粘土質シルトを主体とする。規模や堆積土は小溝状遺構に近似するが、方位や間隔の共通する小溝状遺構がなかったため、単独の溝跡とした。

遺物は出土していない。

SD31 溝跡 (第 23・25・29 図)

1 区中央、40 グリッドに位置する。SM4・13～15 より古い。

方位は N-7°～14° -W で、南北方向へ直線的に延びる。規模は長さ 2.13m 以上、上端幅 43cm 以上、下端幅 14～34cm、深さ 8～11cm を測る。断面形状は台形を呈する。底面標高は、南に向かって緩やかに低くなり、比高差は 2 cm である。堆積土は単層で、暗褐色粘土質シルトを主体とする。規模や堆積土は小溝状遺構に近似するが、方位や間隔の共通する小溝状遺構がなかったため、単独の溝跡とした。

遺物は出土していない。

SD36 溝跡 (第 23・26・29 図)

2 区北側、14 グリッドに位置する。SM17-7、SD32 より古く、SD39 より新しい。

方位は N-14° -W で、南北方向へ直線的に延びる。規模は長さ 2.03m 以上、上端幅 24～30cm、下端幅 13～20cm、深さ 11～14cm を測る。断面形状は台形を呈する。底面に起伏はなく、ほぼ平坦面である。堆積土は単層で、にぶい黄褐色シルトを主体とする。位置や方位より SM4 の可能性も考えたが、確認面や長さの相違から SM4 には組み込まなかった。

遺物は出土していない。

SD37 溝跡 (第 23・26・29 図)

2区、07・15グリッドに位置する。東側は攪乱に壊され、SM4-5より古い。

方位はN-76°-Eで、東西方向へ直線的に延びる。規模は長さ1.21m以上、上端幅37～43cm、下端幅23～31cm、深さ6～9cmを測る。断面形状は台形を呈する。底面に起伏はなく、ほぼ平坦面である。堆積土は単層で、にぶい黄褐色シルトを主体とする。位置や方位よりSM19の可能性も考えたが、確認面や間隔の相違からSM19には組み込まなかった。

遺物は出土していない。

SD38 溝跡 (第 23・26・29 図)

2区、08グリッドに位置する。西側の一部を攪乱に壊され、SM19-7、SD32より古い。

方位はN-74°-Eで、東西方向へ直線的に延びる。規模は長さ0.93m以上、上端幅25～50cm以上、下端幅15～38cm、深さ11～13cmを測る。断面形状は台形を呈する。底面に起伏はなく、ほぼ平坦面である。堆積土は単層で、にぶい黄褐色シルトを主体とする。方位はSD37と同じくするが、それ以外に組み合わせる小溝状遺構がなかったため、単独の溝跡とした。

遺物は出土していない。

SD39 溝跡 (第 23・26・29 図)

2区北側、14グリッドに位置する。SD32・36より古い。

方位はN-71°～78°-Eで、東西方向へ直線的に延びる。規模は長さ1.20m以上、上端幅16～27cm、下端幅9～15cm、深さ9～11cmを測る。断面形状は台形を呈する。底面に起伏はなく、ほぼ平坦面である。堆積土は単層で、にぶい黄褐色シルトを主体とする。位置や方位よりSM19の可能性も考えたが、確認面や間隔の相違からSM19には組み込まなかった。

遺物は出土していない。

SD40 溝跡 (第 23・26・29 図)

2区西側、03・08グリッドに位置する。北側を攪乱に壊され、SM4-1より古い。

方位はN-81°-Eで、東西方向へ直線的に延びる。規模は長さ1.42m以上、上端幅33～47cm以上、下端幅23～31cm、深さ8～10cmを測る。断面形状は台形を呈する。底面に起伏はなく、ほぼ平坦面である。堆積土は単層で、にぶい黄褐色シルトを主体とする。位置や方向よりSM18の可能性も考えたが、確認面や方位の相違からSM18には組み込まなかった。

遺物は出土していない。

SD41 溝跡 (第 23・26・29 図)

2区西側、10グリッドに位置する。SM19-3より古い。

方位はN-69°-Eで、東西方向へ直線的に延びる。規模は長さ1.33m、上端幅21～33cm、下端幅12～18cm、深さ8～12cmを測る。断面形状は弧状を呈する。底面に起伏はなく、ほぼ平坦面である。堆積土は単層で、にぶい黄褐色シルトを主体とする。SM19-3の一部である可能性も考えたが、平面プランが一致しないことなどから単独の溝跡とした。

遺物は出土していない。

SD42 溝跡 (第 23・26・29 図)

2 区西側、03・08 グリッドに位置する。SM4-2・19-7 より古い。

方位は N-60° ~ 80° -W で、東西方向へやや蛇行状に延びる。規模は長さ 2.04m、上端幅 27 ~ 40cm、下端幅 13 ~ 18cm、深さ 14 ~ 16cm を測る。断面形状は台形を呈する。底面標高は、西に向かって緩やかに低くなり、比高差は 3 cm である。堆積土は単層で、にぶい黄褐色シルトを主体とする。

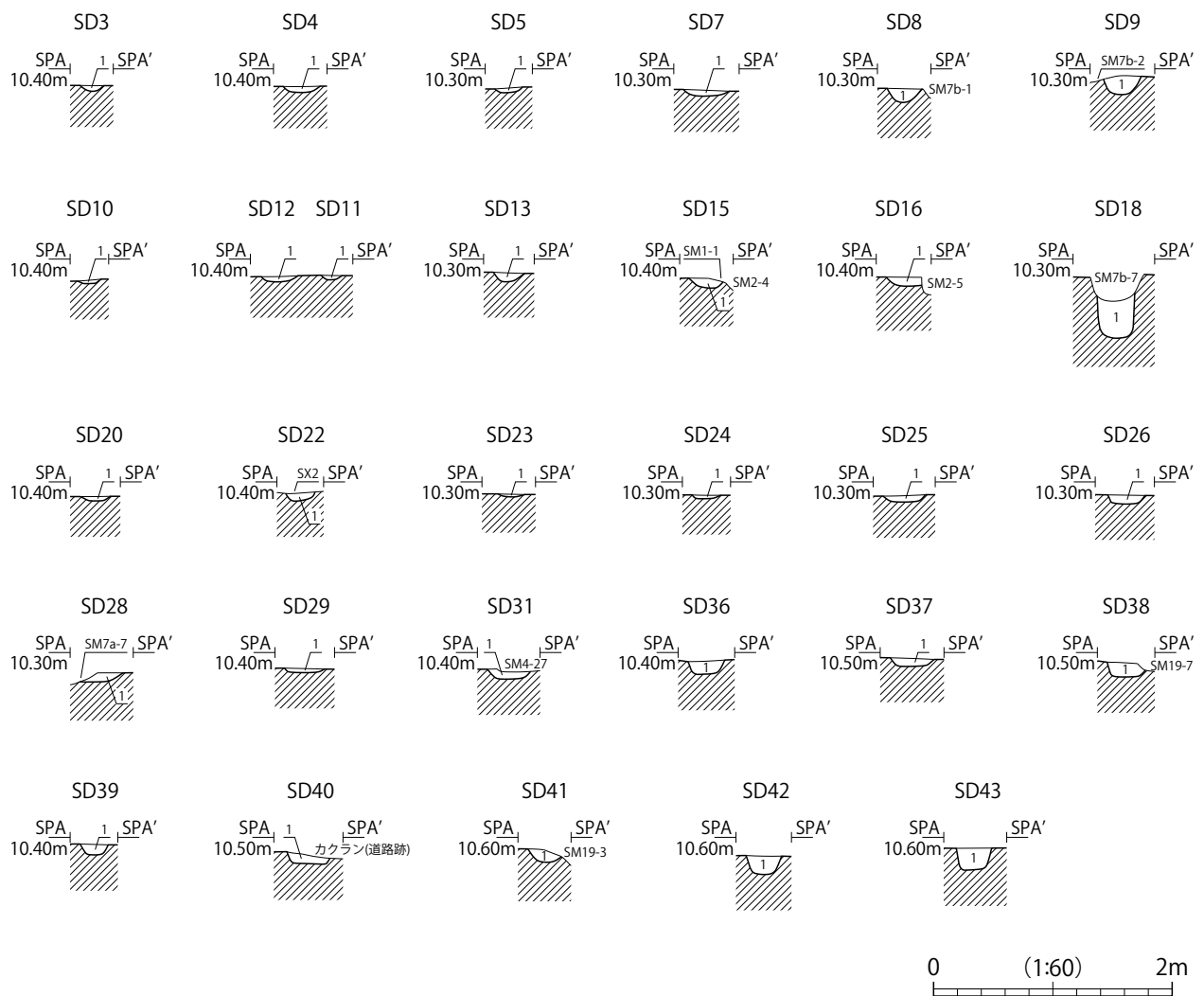
遺物は出土していない。

SD43 溝跡 (第 23・26・29 図)

2 区西側、09 グリッドに位置する。SM4-3・SM18-5 より古く、Pit328・338 より新しい。

方位は N-57° -W で、東西方向へ直線的に延びる。規模は長さ 1.21m 以上、上端幅 28 ~ 32cm、下端幅 18 ~ 21cm、深さ 18 ~ 22cm を測る。断面形状は台形もしくは箱形を呈する。底面標高は、東に向かって緩やかに低くなり、比高差は 3 cm である。堆積土は単層で、にぶい黄褐色シルトを主体とする。規模や堆積土は小溝状遺構に近似するが、方位や間隔の共通する小溝状遺構がなかったため、単独の溝跡とした。

遺物は出土していない。



第 29 図 溝跡 (V 層上面) 断面図

溝跡 (V層上面) 観察表

遺構名	グリッド	方向 (N°)	規模 (cm)			層位	土色	土性	備考	重複	
			全長	上端幅	下端幅						深さ
SD3	45	43W	(130)	19~23	10~14	4~6	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック (5~10mm) を微量含む。	SM7a・7b・10より古い。
SD4	45・46	3W~1E	(422)	28~38	17~21	5~8	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック (5~10mm) を微量含む。	SM2・7a・7bより古く、Pit69、SD29より新しい。
SD5	44・45	7~13W	(588)	22~28	10~19	4~8	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック (5~10mm) を微量含む。	SM7a・7b、Pit50より古く、SD13・28、Pit73・80より新しい。
SD7	46・52	58E	(163)	30~44	14~32	5~6	1	10YR3/2 黒褐色	粘土質シルト	V層土ブロック (5~10mm) を微量含む。	SM1・2・10より古い。
SD8	46	33~57E	(110)	30~33	12~19	11~12	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック (5~30mm) を少量含む。	SM1・2・7aより古く、Pit74より新しい。
SD9	45・46	50~65E	(289)	(39)	13~22	9~14	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック (5~30mm) を少量含む。	SM1・2・7a・7b・10より古い。
SD10	45	74W	(56)	19~21	11	3	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック (5~10mm) を微量含む。	SM2・7b・10より古い。
SD11	45・46	12W	(42)	15~19	10	3	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック (5~10mm) を微量含む。	SM7a・7bより古い。
SD12	45・46	6W	(39)	27~33	16~24	5	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック (5~10mm) を微量含む。	SM7a・7bより古い。
SD13	45	55E	(254)	22~28	13~18	4~7	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック (5~10mm) を微量含む。	SM1・7a、SD5、Pit50より古い。
SD15	45・46	4W	(179)	(31)	12~18	7~8	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック (5~10mm) を微量含む。	SM1・2・7aより古く、Pit96・98より新しい。
SD16	45・46	2W	(154)	(39)	(32)	4~8	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック (5~10mm) を微量含む。	SM2・7a、Pit68より古い。
SD18	44・50	73~85E	(197)	(38)	18~22	33~50	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック (10~30mm) を多量含む。 東壁ではグライ化。	SM7bより古い。
SD20	40	35W	(170)	20~27	9~15	3~5	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック (5~30mm) を少量含む。	SM4・13より古い。
SD22	28・29	23E	(103)	(29)	13~18	8~9	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック (10~30mm) を多量含む。	SM4・5a・9、SX2より古い。
SD23	38・44	78E	(196)	18~23	11~14	2~3	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック (5~30mm) を少量含む。	SM12より古い。
SD24	39	90E	(195)	19~25	7~11	3~5	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック (10~30mm) を多量含む。	SM4・12、Pit91・93より古い。
SD25	44・45	60~80E	224	32~36	16~28	6~17	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック (10~30mm) を多量含む。	SM12、Pit85より古い。
SD26	44	54E	(256)	27~34	15~24	6~9	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック (10~30mm) を多量含む。	SM1・12より古い。
SD28	44	59E	(138)	(40)	(28)	7~8	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック (5~30mm) を少量含む。	SM7a、SD5より古い。
SD29	45・46	33W	(195)	28~36	21~27	2~3	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック (5~30mm) を少量含む。	SM1・7a、SD4、Pit70より古い。
SD31	40	7~14W	(213)	(43)	14~34	8~11	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック (5~30mm) を少量含む。	SM4・13~15より古い。
SD36	14	14W	(203)	24~30	13~20	11~14	1	10YR4/3 にぶい黄褐色	シルト	V層土を少量含む。	SD32・SM17-7より古く、SD39より新しい。
SD37	07・15	76E	(121)	37~43	23~31	6~9	1	10YR4/3 にぶい黄褐色	シルト	V層土を少量含む。	東側は攪乱に壊される。SM4-5より古い。
SD38	08	74E	(93)	25~(50)	15~38	11~13	1	10YR4/3 にぶい黄褐色	シルト	V層土を少量含む。	西側の一部を攪乱に壊される。SM19-7・SD32より古い。
SD39	14	71~78E	(120)	16~27	9~15	9~11	1	10YR4/3 にぶい黄褐色	シルト	V層土を多量含む。	SD32・36より古い。
SD40	03・08	81E	(142)	(33)~(47)	23~31	8~10	1	10YR4/3 にぶい黄褐色	シルト	V層土を少量含む。	北側を攪乱に壊される。SM4-1より古い。
SD41	10	69E	133	21~33	12~18	8~12	1	10YR4/3 にぶい黄褐色	シルト	V層土を少量含む。	SM19-3より古い。
SD42	03・08	60~80W	204	27~40	13~18	14~16	1	10YR4/3 にぶい黄褐色	シルト	灰白色シルト・V層土を少量含む。	SM4-2・19-7より古い。
SD43	09	57W	(121)	28~32	18~21	18~22	1	10YR4/3 にぶい黄褐色	シルト	V層土を微量含む。	SM4-3・SM18-5より古く、Pit328・338より新しい。

(3) 土坑 (第23・24・26・30図)

SK2土坑 (第23・24・30図)

1区東側、43・44・49・50グリッドに位置する。SM1-4・SM7b-7・SM10-4より古い。SD18との新旧関係は不明である。調査区壁際の排水溝で確認したが、ほかの遺構との重複によりほとんど壊されている状態であった。

平面形状は円形と推定され、規模は長軸51cm以上、短軸47cm以上、深さ17cmを測る。堆積土は単層で、暗褐色粘土質シルトを主体とする。

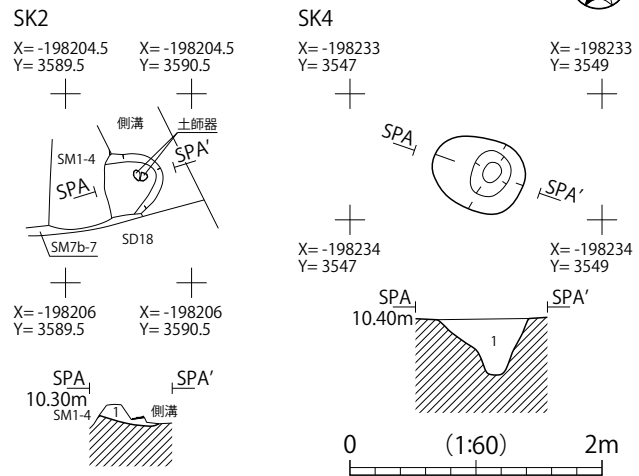
遺物は土器器が出土したが、小破片であるため、図化できなかった。

SK4土坑(第23・26・30図)

2区東側、24グリッドに位置する。

平面形状は楕円形を呈し、規模は長軸74cm、短軸58cm、深さ44cmを測る。堆積土は単層で、灰黄褐色シルトを主体とする。

遺物は出土していない。



第30図 土坑(V層上面)平面図・断面図

土坑(V層上面)観察表

遺構名	グリッド	平面形	規模(cm)		層位	土色	土性	備考	重複
			長軸×短軸	深さ					
SK2	43・44・49・50	(円形)	(51)×(47)	17	1	10YR3/4 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック(10~20mm)を微量含む。	SM1-4・7b-7・10-4より古い。
SK4	24	楕円形	74×58	44	1	10YR4/2 灰黄褐色	シルト	暗褐色シルト・V層土を少量含む。	

(4) ピット(第23~26図)

ピットは1区で237基(Pit17~35・38~74・76~99・101~113・115・118・119・121~133・135~145・147~149・151~153・155~158・161~164・168~268・361・362)、2区で42基(301~342)を確認した。分布は調査区の全域に渡り、Ⅲ・Ⅳ層に比べて密度が増す。特に1区では増加が顕著である。Pit66では底面より礫が出土しており、根石の可能性もある。これらのピットの配置に規則性はみられない。ただし、これらのピットのうち、小溝状遺構とほぼ重なるように確認されたものや、延長線上に位置するもの、あるいは小溝状遺構と重複関係がないピットでも直線上に並んでいる場合など、小溝状遺構の耕作痕となる可能性がある。

遺物はPit45・303から土師器が出土したが、小破片であるため、図化できなかった。

ピット(V層上面)観察表(1)

遺構名	グリッド	平面形	規模(cm)		層位	土色	土性	備考	重複
			長軸×短軸	深さ					
Pit17	52	(楕円形)	29×(24)	29	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック(5~10mm)を少量含む。	SM7a-1より古く、Pit41より新しい。
Pit18	52	円形	31×29	29	1	10YR3/2 黒褐色	粘土質シルト	V層土ブロック(10~30mm)を少量含む。	
Pit19	51	(円形)	(33×31)	25	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック(5~10mm)を少量含む。	SM2-9・7b-2より古い。
Pit20	51	(円形)	(29)×25	25	1	10YR3/2 黒褐色	粘土質シルト	V層土ブロック(10~30mm)を少量含む。	SM2-9より古い。
Pit21	51	(円形)	(31×27)	29	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック(10~30mm)を多量含む。	SM7b-2、SD45より古い。
Pit22	51	(円形)	(38×36)	11	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック(10~30mm)を多量含む。	SM7b-2、SD45より古い。
Pit23	51	楕円形	37×29	40	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック(5~10mm)を少量含む。	SM7a-3、SD45より古い。
Pit24	51	円形	27×23	26	1	10YR3/2 黒褐色	粘土質シルト	V層土ブロック(10~30mm)を少量含む。	SM7b-3、SD45より古い。
Pit25	51	円形	33×32	20	1	10YR3/2 黒褐色	粘土質シルト	V層土ブロック(10~30mm)を少量含む。	SD45より古い。
Pit26	50	楕円形	38×26	18	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック(5~10mm)を少量含む。	
Pit27	44	(楕円形)	(35×25)	18	2	10YR3/2 黒褐色	粘土質シルト	V層土ブロック(10~30mm)を少量含む。	SM2-7より古い。
Pit28	44	—	(32×28)	9	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック(5~10mm)を少量含む。	SM2-7、7a-6より古い。
Pit29	44	—	43×(27)	17	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック(10~30mm)を少量含む。	SM1-4より古い。
Pit30	44	楕円形	29×23	12	1	10YR3/2 黒褐色	粘土質シルト	V層土ブロック(10~30mm)を少量含む。	
Pit31	44	—	23×17	17	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック(5~10mm)を少量含む。	SM7a-6より古い。
Pit32	45	円形	23×21	20	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック(5~10mm)を少量含む。	
Pit33	45	円形	23×21	23	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック(5~10mm)を少量含む。	

ピット (V層上面) 観察表 (2)

遺構名	グリッド	平面形	規模 (cm)		層位	土色	土性	備考	重複
			長軸×短軸	深さ					
Pit34	45	円形	22×22	23	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック (5～10mm) を少量含む。	
Pit35	51	(楕円形)	(22×16)	15	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック (5～10mm) を少量含む。	SM7a-3・10-4より古い。
Pit38	45	(円形)	28×(24)	21	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック (5～10mm) を少量含む。	SM10-3より古い。
Pit39	46	円形	28×24	40	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック (5～10mm) を少量含む。	
Pit40	46	(楕円形)	(32×24)	43	2	10YR3/2 黒褐色	粘土質シルト	V層土ブロック (10～30mm) を少量含む。	
Pit41	52	(楕円形)	(32×26)	32	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック (5～10mm) を少量含む。	SM2-6・7b-2より古い。
Pit42	52	(楕円形)	(36×22)	46	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック (10～30mm)・炭化物 (5mm以下) を少量含む。	SM7a-1、Pit17より古い。
Pit43	51	(円形)	(32×30)	46	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック (5～10mm) を少量含む。	SM2-7・11-2より古い。
Pit44	45	(楕円形)	(33)×25	24	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック (5～10mm) を少量含む。	SM7b-4、SD45より古い。
Pit45	44	(円形)	45×(43)	39	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック (5～10mm) を少量含む。	SM10-2より新しい。
Pit46	44	円形	42×38	56	2	10YR3/2 黒褐色	粘土質シルト	V層土ブロック (5～10mm) を少量含む。	SM7a-7より古く、Pit77より新しい。
Pit47	44・45	楕円形	50×35	47	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック (10～30mm) を少量含む。	
Pit48	45	(円形)	33×(32)	37	1	10YR3/2 黒褐色	粘土質シルト	V層土ブロック (5～10mm) を少量含む。	SM7a-6より古い。
Pit49	45	円形	34×31	41	2	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック (10～30mm) を少量含む。	
Pit50	45	楕円形	28×23	11	1	10YR3/2 黒褐色	粘土質シルト	V層土ブロック (5～10mm) を少量含む。	SM7b-5より古い。
Pit51	45	(楕円形)	(44×32)	37	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック (10～30mm) を少量含む。	
Pit52	45	楕円形	51×38	53	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック (5～10mm) を少量含む。	SD5・13より新しい。
Pit53	45	円形	32×27	28	2	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック (5～10mm) を少量含む。	SM1-2・2-5より古い。
Pit54	45	円形	23×23	41	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック (5～10mm) を少量含む。	
Pit55	46	(円形)	30×(26)	24	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック (5～10mm) を少量含む。	
Pit56	45	円形	20×20	11	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック (5～10mm) を微量含む。	SM10-3より古い。
Pit57	45	楕円形	23×19	10	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック (5～10mm) を微量含む。	
Pit58	45	(円形)	23×(20)	7	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック (5～10mm) を微量含む。	
Pit59	45	円形	25×22	8	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック (5～10mm) を微量含む。	SM7a-4より古い。
Pit60	51・52	(楕円形)	(50×30)	49	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック (5～10mm) を微量含む。	SM7a-4より古い。
Pit61	45	(円形)	27×(23)	10	2	10YR3/2 黒褐色	粘土質シルト	V層土ブロック (10～30mm) を少量含む。	SM2-7・7a-2・11-2より古い。
Pit62	45	(円形)	41×36	11	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック (5～10mm) を少量含む。	SM1-1より古い。
Pit63	45	円形	31×28	34	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック (5～10mm) を少量含む。	SM1-1・2-4より古い。
Pit64	45	円形	42×36	39	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック (5～10mm) を微量含む。	
Pit65	45	円形	35×31	27	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック (10～30mm) を微量含む。	
Pit66	45	(楕円形)	(38×30)	14	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック (10～30mm) を多量含む。	SM7b-3より古く、Pit67より新しい。
Pit67	45	(楕円形)	(49×28)	12	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック (10～30mm) を微量含む。	SM7b-3、Pit66より古い。
Pit68	46	(円形)	36×35	21	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック (5～10mm) を微量含む。	SM2-5より古く、SD16より新しい。
Pit69	45・46	楕円形	57×36	7	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック (10～50mm) を多量含む。	SD4より古い
Pit70	46	楕円形	46×38	40	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック (10～50mm) を微量含む。	SD29より新しい。
Pit71	45	楕円形	44×31	31	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック (2～10mm) を微量含む。	Pit72より新しい。
Pit72	45	(楕円形)	24×(19)	10	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック (5～10mm) を少量含む。	Pit71より古い。
Pit73	45	(楕円形)	(20×14)	8	1	10YR3/2 黒褐色	粘土質シルト	V層土ブロック (5～10mm) を多量含む。	SD5より古い。
Pit74	46	(円形)	(20×18)	28	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック (10～30mm) を少量含む。	SD8より古い。
Pit76	44	円形	42×38	47	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック (5～10mm) を微量含む。	
Pit77	44	(円形)	(41)×38	45	1	10YR3/2 黒褐色	粘土質シルト	V層土ブロック (5～10mm)・焼土ブロック (2～5mm) を微量含む。	SD14、Pit45より古い。
Pit78	44	(円形)	(48×41)	31	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック (5～10mm) を微量含む。	SM1-1・7a-7より古い。
Pit79	44	(円形)	(27)×25	30	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック (5～10mm) を微量含む。	SM1-1より古い。
Pit80	44	(楕円形)	36×(29)	26	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック (5～10mm) を微量含む。	SD5より古い。
Pit81	44	円形	27×25	26	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック (5～10mm) を微量含む。	
Pit82	44・45	円形	40×35	15	1	10YR3/4 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック (10～30mm) を少量含む。	
Pit83	44	円形	18×17	7	1	10YR3/4 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック (10～30mm) を少量含む。	
Pit84	44	円形	33×30	10	1	10YR3/4 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック (10～30mm) を少量含む。	
Pit85	44・45	円形	37×35	16	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック (10～30mm) を少量含む。	SD25より新しい。
Pit86	45	(楕円形)	(39×29)	23	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック (10～30mm) を少量含む。	SM3-9・7a-6より古い。
Pit87	44・45	円形	31×29	13	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック (10～30mm) を少量含む。	
Pit88	44	(円形)	41×(35)	8	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック (10～30mm) を少量含む。	SM7a-7・12-9より古い。
Pit89	44	円形	37×31	26	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック (10～30mm) を少量含む。	SM7a-7より古い。
Pit90	38	円形	18×18	8	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック (10～30mm) を少量含む。	
Pit91	38・39	円形	41×36	15	1	10YR3/4 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック (10～30mm) を少量含む。	Pit92・93、SD24より新しい。
Pit92	38・39	(円形)	42×(41)	16	1	10YR3/4 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック (10～30mm) を少量含む。	Pit91、SM17a-7より古い。
Pit93	39	(円形)	34×30	15	1	10YR3/2 黒褐色	粘土質シルト	V層土ブロック (5～10mm) を微量含む。	Pit91より古く、SD24より新しい。
Pit94	39	(円形)	(36)×32	32	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック (10～30mm) を微量含む。	SM4-28より古く、Pit123より新しい。
Pit95	45	円形	31×26	11	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック (10～30mm) を微量含む。	
Pit96	45・46	円形	18×17	5	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック (10～30mm) を微量含む。	SD15より新しい。
Pit97	46	楕円形	36×25	8	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック (10～30mm) を微量含む。	
Pit98	46	(円形)	(32)×28	39	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック (10～30mm) を微量含む。	SD15より新しい。
Pit99	46	円形	56×53	14	1	10YR3/2 黒褐色	粘土質シルト	V層土ブロック (5～10mm) を微量含む。	SM7a-2より古い。
Pit101	45	(円形)	(39)×35	15	1	10YR3/2 黒褐色	粘土質シルト	V層土ブロック (5～10mm) を微量含む。	SM3・7より古い。
Pit102	46	(円形)	24×(21)	6	1	10YR3/2 黒褐色	粘土質シルト	V層土ブロック (5～10mm) を微量含む。	SM2-3より古い。
Pit103	39	(楕円形)	(33)×24	64	1	10YR3/2 黒褐色	粘土質シルト	V層土ブロック (5～10mm) を微量含む。	SM4-27より古い。

ピット (V層上面) 観察表 (3)

遺構名	グリッド	平面形	規模 (cm)		層位	土色	土性	備考	重複
			長軸×短軸	深さ					
Pit104	39	(円形)	34×(33)	48	1	10YR3/2 黒褐色	粘土質シルト	V層土ブロック(2~5mm)を微量含む。	SM4-27より古い。
Pit105	39	楕円形	31×24	10	1	10YR3/4 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック(10~30mm)を少量含む。	
Pit106	39	(円形)	30×(26)	11	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック(10~30mm)を微量含む。	SM3-6より古い。
Pit107	39	(円形)	32×(27)	15	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック(10~30mm)を微量含む。	SM4-27より古い。
Pit108	39	(円形)	(32)×29	8	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック(10~30mm)を微量含む。	SM4より古い。
Pit109	40	(円形)	(32)×32	25	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック(10~30mm)を微量含む。	SM2-1、4-28より古い。
Pit110	40	(円形)	(17×15)	10	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック(10~30mm)を微量含む。	SM4-28より古い。
Pit111	40	(円形)	39×(34)	13	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック(5~10mm)を微量含む。	SM2-1より古い。
Pit112	40	(円形)	25×(22)	9	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック(5~10mm)を微量含む。	SM2-1より古い。
Pit113	40	(円形)	31×(28)	12	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック(5~10mm)を微量含む。	SM2-1より古い。
Pit115	40	(円形)	29×(28)	22	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック(5~10mm)を微量含む。	SM4-27より新しい。
Pit118	40	(円形)	41×37	14	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック(10~20mm)を微量含む。	Pit117より古い。
Pit119	39	円形	33×29	20	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック(10~20mm)を微量含む。	
Pit121	40・41	(楕円形)	(40×29)	19	1	10YR3/2 黒褐色	粘土質シルト	V層土ブロック(10~30mm)を少量含む。	SM6-5より古い。
Pit122	40・41	(円形)	(28×24)	31	1	10YR3/4 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック(10~20mm)を微量含む。	SM6-5より古い。
Pit123	39	(円形)	29×(28)	41	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック(10~20mm)を微量含む。	SM4-28、Pit94より古い。
Pit124	40	(円形)	(34×30)	18	1	10YR3/2 黒褐色	粘土質シルト	V層土ブロック(10~30mm)を少量含む。	SM4-26より古い。
Pit125	40	(楕円形)	(45×33)	21	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック(10~20mm)を微量含む。	SM13-4より古い。
Pit126	40	(円形)	(39×35)	17	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック(10~30mm)を多量含む。	SM13-2より古く、SM15-5より新しい。
Pit127	40・41	(円形)	(46×44)	13	1	10YR3/2 黒褐色	粘土質シルト	V層土ブロック(10~30mm)を少量含む。	SM4-25・6・5より古い。
Pit128	40・41	(円形)	(26×22)	27	1	10YR3/2 黒褐色	粘土質シルト	V層土ブロック(10~30mm)を少量含む。	SM6-5より古い。
Pit129	41	円形	30×28	33	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック(5~10mm)を微量含む。	
Pit130	41	円形	21×20	28	1	10YR3/2 黒褐色	粘土質シルト	V層土ブロック(2~5mm)を微量含む。	SM15-3より新しい。
Pit131	40	円形	43×38	20	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック(5~10mm)を微量含む。	
Pit132	40	楕円形	39×30	9	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック(10~20mm)を微量含む。	
Pit133	40	(円形)	(31×31)	33	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック(5~10mm)を微量含む。	SM6-6より古く、Pit266より新しい。
Pit135	40	(楕円形)	(52)×40	9	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック(5~20mm)を少量含む。	SM3-1より古い。
Pit136	34	(円形)	(29×26)	27	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック(5~10mm)を微量含む。	SM6-7より古い。
Pit137	34	円形	25×23	1	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック(5~10mm)を微量含む。	
Pit138	34	円形	41×36	34	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック(10~20mm)を微量含む。	
Pit139	34	円形	25×23	8	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック(10~20mm)を微量含む。	
Pit140	35	楕円形	40×27	43	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック(10~20mm)を微量含む。	
Pit141	35	楕円形	31×24	8	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック(10~30mm)を微量含む。	
Pit142	35	円形	20×20	16	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック(10~30mm)を微量含む。	
Pit143	39	楕円形	38×30	14	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック(5~10mm)を微量含む。	Pit144より新しい。
Pit144	39	(円形)	31×26	11	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック(5~10mm)を微量含む。	Pit143より古い。
Pit145	40	円形	29×28	9	1	10YR3/2 黒褐色	粘土質シルト	V層土ブロック(10~30mm)を微量含む。	SM2-1・13-7より古い。
Pit147	39	(円形)	20×17	10	1	10YR3/2 黒褐色	粘土質シルト	V層土ブロック(10~30mm)を微量含む。	Pit146より古く、SM15-3より新しい。
Pit148	34・40	円形	33×32	31	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック(5~10mm)を微量含む。	
Pit149	34	(円形)	(22×20)	14	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック(5~10mm)を微量含む。	SM6-7・14-6より古い。
Pit151	34	円形	30×28	27	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック(5~10mm)を微量含む。	SM15-2より新しい。
Pit152	34	(円形)	(31×26)	34	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック(5~10mm)を微量含む。	SM6-6より古い。
Pit153	34	円形	44×39	23	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック(5~10mm)を微量含む。	SM15-2・16-3より新しい。
Pit155	32	(楕円形)	(25×19)	18	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック(10~20mm)を少量含む。	SM6-13より古い。
Pit156	32	円形	26×25	11	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック(10~20mm)を少量含む。	
Pit157	38・39	円形	20×20	9	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック(10~20mm)を少量含む。	Pit158より新しい。
Pit158	38・39	(楕円形)	35×28	11	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック(10~20mm)を少量含む。	Pit157より古い。
Pit161	33・39	(円形)	(33×28)	11	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック(10~20mm)を少量含む。	SM4-23・6-11より古い。
Pit162	39	円形	25×22	19	1	10YR3/2 黒褐色	粘土質シルト	V層土ブロック(10~30mm)を微量含む。	
Pit163	39	(円形)	(25×23)	7	1	10YR3/2 黒褐色	粘土質シルト	V層土ブロック(10~30mm)を微量含む。	SM12-4、Pit75より古い。
Pit164	39	(楕円形)	40×33	14	1	10YR3/2 黒褐色	粘土質シルト	V層土ブロック(10~30mm)を微量含む。	SM4-25より古い。
Pit168	40	(楕円形)	(40×33)	17	1	10YR3/2 黒褐色	粘土質シルト	V層土ブロック(10~20mm)を少量含む。	SM4-26より古い。
Pit169	39	(円形)	(34×29)	32	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック(5~10mm)を微量含む。	SM13-5より古い。
Pit170	34	(円形)	(27×24)	11	1	10YR3/2 黒褐色	粘土質シルト	V層土ブロック(10~20mm)を微量含む。	SM4-22・6・6・16-4より古い。
Pit171	35	楕円形	32×26	25	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック(5~10mm)を微量含む。	
Pit172	35	(円形)	(28)×26	51	1	10YR3/2 黒褐色	粘土質シルト	V層土ブロック(5~10mm)を微量含む。	
Pit173	34	(円形)	41×(37)	8	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック(5~10mm)を微量含む。	東部を攪乱に壊される。
Pit174	34	(円形)	29×(27)	7	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック(5~10mm)を微量含む。	SM16-4より新しい。東部を攪乱に壊される。
Pit175	34・35	楕円形	39×29	15	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック(5~10mm)を微量含む。	
Pit176	35	円形	21×20	7	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック(5~10mm)を微量含む。	
Pit177	34・35	円形	40×38	36	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック(5~10mm)を微量含む。	Pit189より新しい。
Pit178	35	円形	34×31	18	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック(5~10mm)を微量含む。	
Pit179	35	円形	23×22	6	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック(5~10mm)を微量含む。	
Pit180	35	(円形)	(34)×30	34	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック(5~10mm)を微量含む。	SM5b-4より古い。
Pit181	35	(円形)	24×22	10	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック(5~10mm)を微量含む。	SM6-3より古い。
Pit182	35・36	(円形)	46×40	25	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック(5~10mm)を微量含む。	SM6-2より古い。
Pit183	28	円形	30×28	17	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック(5~10mm)を微量含む。	
Pit184	28・35	(円形)	40×(35)	65	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック(5~10mm)を微量含む。	北部を攪乱に壊される。
Pit185	28	(円形)	(17×15)	4	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック(5~10mm)を微量含む。	SM5b-4より古い。
Pit186	28	(楕円形)	22×(14)	5	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック(5~10mm)を微量含む。	SM5b-4・6・3より古い。
Pit187	28・29	円形	18×16	7	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック(5~10mm)を微量含む。	

ビット (V層上面) 観察表 (4)

遺構名	グリッド	平面形	規模 (cm)		層位	土色	土性	備考	重複
			長軸×短軸	深さ					
Pit188	28・29	(円形)	33×(29)	24	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック (5～10mm) を微量含む。	SM9-9より古く、SX1より新しい。
Pit189	35	(円形)	(41)×35	11	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック (5～10mm) を微量含む。	Pit177より古い。
Pit190	35	(円形)	(20×19)	16	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック (10～20mm) を少量含む。	SM6-2より古い。
Pit191	29	楕円形	22×18	1	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック (10～20mm) を少量含む。	
Pit192	29	(円形)	(21×21)	11	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック (10～20mm) を少量含む。	SM5a-9より古い。
Pit193	29	—	41×(27)	13	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック (10～20mm) を少量含む。	SM4-19・6-2より古く、Pit194より新しい。
Pit194	29	—	56×(32)	21	1	10YR3/2 黒褐色	粘土質シルト	V層土ブロック (5～10mm) を微量含む。	SM5a-9・6-2、Pit193より古い。
Pit195	29	円形	46×43	19	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック (5～10mm) を微量含む。	SX1より新しい。
Pit196	29	円形	24×21	5	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック (5～10mm) を微量含む。	
Pit197	29	(円形)	14×(12)	3	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック (10～20mm) を少量含む。	SM5a-9より古い。
Pit198	29	円形	14×13	8	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック (10～20mm) を少量含む。	
Pit199	28	(円形)	42×(36)	20	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック (10～20mm) を少量含む。	SM4-18より古い。
Pit200	28	(円形)	(19×18)	15	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック (10～20mm) を少量含む。	SM6-4より古い。
Pit201	29	円形	22×21	13	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック (5～10mm) を微量含む。	SX2より新しい。
Pit202	29	(円形)	(20×19)	10	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック (5～10mm) を微量含む。	SM4-17より古く、SX2より新しい。
Pit203	29	円形	21×21	8	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック (5～10mm) を微量含む。	SX2より新しい。
Pit204	29	円形	16×14	4	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック (5～10mm) を微量含む。	SX2より新しい。
Pit205	29	円形	10×9	12	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック (5～10mm) を微量含む。	SX2より新しい。
Pit206	29	(楕円形)	35×(28)	25	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック (5～10mm) を微量含む。	SM5b-3より古く、SX2、Pit236より新しい。
Pit207	29	(楕円形)	38×(28)	60	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック (5～10mm) を微量含む。	SM5a-9より古い。
Pit208	23・29	(円形)	(31×27)	12	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック (5～10mm) を微量含む。	SM4-15より古く、Pit209より新しい。
Pit209	23・29	(楕円形)	(20×16)	11	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック (5～10mm) を微量含む。	SM4-15、Pit208より古い。
Pit210	29	(楕円形)	(27×22)	17	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック (5～10mm) を微量含む。	SM4-16・5b-3より古く、SX2より新しい。
Pit211	29	(円形)	(40×36)	17	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック (5～10mm) を微量含む。	SM4-16・5a-8より古く、SX2より新しい。
Pit212	29	円形	24×22	6	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック (5～10mm) を微量含む。	SX2より新しい。
Pit213	29	円形	20×20	2	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック (5～10mm) を微量含む。	SX2より新しい。
Pit214	29	—	29×(18)	5	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック (5～10mm) を微量含む。	SM4-16より古い。
Pit215	29	(円形)	(15×13)	12	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック (10～30mm) を微量含む。	SM4-16より古い。
Pit216	30	—	33×(20)	12	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック (10～30mm) を微量含む。	SM4-16より古い。
Pit217	30	円形	16×15	1	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック (5～10mm) を微量含む。	
Pit218	30	方形	16×16	15	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック (5～10mm) を微量含む。	
Pit219	23	円形	26×24	18	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック (5～10mm) を微量含む。	
Pit220	23	楕円形	18×15	8	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック (5～10mm) を微量含む。	
Pit221	23	(円形)	31×30	16	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック (5～10mm) を微量含む。	SM9-1より古い。
Pit222	30	円形	24×24	8	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック (10～30mm) を少量含む。	
Pit223	30	円形	25×23	8	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック (10～30mm) を少量含む。	
Pit224	36	円形	30×26	32	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック (10～30mm) を少量含む。	
Pit225	29	(円形)	(28×24)	13	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック (10～30mm) を少量含む。	SM4-18・5a-9・6-3より古い。
Pit226	35	円形	19×18	11	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック (10～30mm) を少量含む。	
Pit227	28	(円形)	(39×34)	35	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック (10～30mm) を少量含む。	SM4-19、SD2より古い。
Pit228	34	円形	16×14	6	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック (10～30mm) を少量含む。	
Pit229	34	円形	26×25	13	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック (10～30mm) を少量含む。	
Pit230	34	(円形)	(32×32)	34	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック (5～10mm) を微量含む。	SM4-20・6-6・16-4より古く、Pit231より新しい。
Pit231	34	(円形)	(32×27)	28	1	10YR3/2 黒褐色	粘土質シルト	V層土ブロック (5～10mm) を微量含む。	SM4-20・6-6、Pit230より古い。
Pit232	28	(円形)	(16×14)	6	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック (5～10mm) を微量含む。	SM5b-5より古い。
Pit233	28	(楕円形)	(27×20)	10	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック (5～10mm) を微量含む。	SM5b-5・6-5より古い。
Pit234	28	(楕円形)	(24×17)	11	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック (5～10mm) を微量含む。	SM6-5より古い。
Pit235	29	楕円形	38×31	8	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック (5～10mm) を微量含む。	SX2より新しい。
Pit236	29	(楕円形)	(35×24)	20	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック (5～10mm) を微量含む。	SM5b-3、Pit206より古く、SX2より新しい。
Pit237	34	(円形)	(19×19)	23	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック (5～10mm) を微量含む。	SM4-21より古い。
Pit238	39	(円形)	(45×38)	32	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック (10～30mm) を少量含む。	SM3-3・4-25より古い。
Pit239	40	(円形)	(36×31)	33	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック (10～30mm) を少量含む。	SM4-26・6-7より古い。
Pit240	45	—	62×(32)	7	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック (10～30mm) を少量含む。	SM7a-6より古い。
Pit241	45	(楕円形)	(48)×39	15	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック (10～30mm) を少量含む。	SM7a-5より古い。
Pit242	45	(楕円形)	38×(30)	11	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック (10～30mm) を少量含む。	SM10-2より古い。
Pit243	34	(楕円形)	(45)×33	17	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック (10～30mm) を少量含む。	SM16-6より古い。
Pit244	28	円形	13×12	5	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック (5～10mm) を微量含む。	Pit268より新しい。
Pit245	28	—	16×15	7	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック (5～10mm) を微量含む。	SM5a-10より古い。
Pit246	28	(円形)	(9×8)	6	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック (5～10mm) を微量含む。	SM5a-10より古い。
Pit247	28	—	(10×10)	8	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック (5～10mm) を微量含む。	SM9-7より古い。
Pit248	28	—	14×10	12	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック (5～10mm) を微量含む。	
Pit249	28	—	10×5	6	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック (5～10mm) を微量含む。	
Pit250	28	楕円形	10×8	6	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック (5～10mm) を微量含む。	
Pit251	28	—	(20×19)	6	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック (5～10mm) を微量含む。	SM4-18・6-5より古い。
Pit252	28	(円形)	(15×14)	10	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック (5～10mm) を微量含む。	SM9-8より古い。
Pit253	28	—	13×12	5	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック (5～10mm) を微量含む。	
Pit254	28	(円形)	(10)×9	14	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック (5～10mm) を微量含む。	
Pit255	28	—	(12×11)	5	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック (5～10mm) を微量含む。	SM9-9より古い。
Pit256	28	円形	9×8	6	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック (5～10mm) を微量含む。	

ピット (V層上面) 観察表 (5)

遺構名	グリッド	平面形	規模 (cm)		層位	土色	土性	備考	重複
			長軸×短軸	深さ					
Pit257	28	(円形)	(12)×11	7	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック (5～10mm) を微量含む。	SM9-9 より古い。
Pit258	28	(楕円形)	8×6	8	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック (5～10mm) を微量含む。	
Pit259	28	—	11×(6)	6	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック (5～10mm) を微量含む。	
Pit260	28	(円形)	(13×12)	7	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック (5～10mm) を微量含む。	SM6-5・9-10 より古い。
Pit261	28	—	13×12	7	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック (5～10mm) を微量含む。	
Pit262	28	円形	10×9	3	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック (5～10mm) を微量含む。	
Pit263	28	円形	10×9	7	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック (5～10mm) を微量含む。	
Pit264	28	(楕円形)	(12×10)	9	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック (5～10mm) を微量含む。	SM6-5・9-11 より古い。
Pit265	28	(円形)	(11×10)	5	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック (10～30mm) を少量含む。	SM5b-5 より古い。
Pit266	40	(楕円形)	(64×38)	36	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック (10～30mm) を少量含む。	SM14-3, Pit133・134 より古い。
Pit267	39	(楕円形)	38×(27)	11	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック (10～30mm) を少量含む。	SM13-10 より古い。
Pit268	28	(円形)	12×(11)	5	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック (5～10mm) を微量含む。	SM5a-10, Pit244 より古い。
Pit301	02	円形	20×19	18	1	10YR3/3 暗褐色	シルト	V層土を少量含む。	
Pit302	07	楕円形	33×25	19	1	10YR3/3 暗褐色	シルト	V層土・炭化物 (5mm以下) を微量含む。	
Pit303	07	円形	48×46	16	1	10YR3/3 暗褐色	シルト	V層土・炭化物 (5mm以下) を微量含む。	
					2	10YR4/3 にぶい黄褐色	シルト	暗褐色シルトを少量含む。	
Pit304	07	円形	33×29	17	1	10YR3/3 暗褐色	シルト	V層土・炭化物 (5mm以下) を微量含む。	
					2	10YR4/3 にぶい黄褐色	シルト	暗褐色シルトを少量含む。	
Pit305	07	—	23×(19)	22	1	10YR3/3 暗褐色	シルト	V層土・炭化物 (5mm以下) を微量含む。	東部を SM17-3 に壊される。
Pit306	07	円形	23×23	26	1	10YR3/3 暗褐色	シルト	V層土を少量含む。	
Pit307	07	(楕円形)	50×40	20	1	10YR3/3 暗褐色	シルト	V層土・炭化物 (5mm以下) を微量含む。	SM17-4 より古い。
					2	10YR4/3 にぶい黄褐色	シルト	暗褐色シルトを少量含む。	
Pit308	07	(円形)	(26×25)	(19)	1	10YR3/3 暗褐色	シルト	V層土・炭化物 (5mm以下) を微量含む。	SM19-9 より古い。
Pit309	07	(楕円形)	42×(31)	13	1	10YR4/3 にぶい黄褐色	シルト	暗褐色シルトを少量含む。	SM19-9 より古い。
Pit310	07	(円形)	32×(29)	19	1	10YR3/3 暗褐色	シルト	V層土・炭化物 (5mm以下) を微量含む。	東部を SD32 に壊される。
					2	10YR4/3 にぶい黄褐色	シルト	暗褐色シルトを少量含む。	
Pit311	15	円形	32×32	10	1	10YR3/3 暗褐色	シルト	V層土・炭化物 (5mm以下) を微量含む。	
					2	10YR4/3 にぶい黄褐色	シルト	暗褐色シルトを少量含む。	
Pit312	15	(円形)	37×(34)	33	1	10YR3/3 暗褐色	シルト	V層土を少量含む。	SM19-9 より古い。
Pit313	15	楕円形	41×30	32	1	10YR3/3 暗褐色	シルト	V層土・炭化物 (5mm以下) を微量含む。	
Pit314	08	(円形)	(27)×25	12	1	10YR3/3 暗褐色	シルト	V層土を少量含む。	北部を攪乱に壊される。
Pit315	16	円形	25×22	14	1	10YR4/2 灰黄褐色	シルト	IV層土を少量含む。	
Pit316	08	円形	21×18	17	1	10YR4/3 にぶい黄褐色	シルト	暗褐色シルトを少量含む。	
Pit317	16	円形	23×21	23	1	10YR3/3 暗褐色	シルト	V層土を少量含む。	
Pit318	09	円形	22×21	24	1	10YR3/3 暗褐色	シルト	V層土を少量含む。	
Pit319	08	円形	32×30	38	1	10YR4/3 にぶい黄褐色	シルト	V層土を少量含む。	
Pit320	08	(円形)	22×21	28	1	10YR4/3 にぶい黄褐色	シルト	V層土を微量含む。	
Pit321	08	(楕円形)	(50×33)	12	1	10YR4/3 にぶい黄褐色	シルト	V層土を多量含む。	上部・東部を攪乱に壊される。
Pit322	08	(楕円形)	(22×17)	(13)	1	10YR4/3 にぶい黄褐色	シルト	V層土を微量含む。	SM18-8 より古い。
Pit323	08	(円形)	(32×27)	(24)	1	10YR4/3 にぶい黄褐色	シルト	V層土を少量含む。	SM4-25 より古い。
Pit324	08	円形	21×20	26	1	10YR4/3 にぶい黄褐色	シルト	V層土を多量含む。	
Pit325	09	円形	25×21	14	1	10YR4/3 にぶい黄褐色	シルト	V層土を多量含む。	
Pit326	09	(円形)	(32×27)	(37)	1	10YR4/3 にぶい黄褐色	シルト	V層土を少量含む。	SM19-5 より古い。
Pit327	09	円形	19×18	23	1	10YR4/3 にぶい黄褐色	シルト	V層土を少量含む。	
Pit328	09	(円形)	(30×29)	46	1	10YR4/3 にぶい黄褐色	シルト	V層土を少量含む。	SD43 より古い。
Pit329	10	(円形)	(26×23)	(41)	1	10YR4/3 にぶい黄褐色	シルト	V層土を微量含む。	SM19-2 より古い。
Pit330	10	(円形)	(25×21)	(46)	1	10YR4/3 にぶい黄褐色	シルト	V層土を多量含む。	SM4-24 より古い。
Pit331	24	円形	32×30	14	1	10YR4/3 にぶい黄褐色	シルト	V層土を微量含む。	東部を攪乱に壊される。
Pit332	23	(円形)	(19×18)	(28)	1	10YR4/3 にぶい黄褐色	シルト	V層土を微量含む。	SM5-6 より古い。
Pit333	23	(楕円形)	(37×28)	(26)	1	10YR4/3 にぶい黄褐色	シルト	V層土を微量含む。	SM5-7 より古い。
Pit334	22	(円形)	23×(21)	25	1	10YR4/3 にぶい黄褐色	シルト	V層土を微量含む。	SM4-16 より古い。
Pit335	22	円形	34×29	21	1	10YR4/3 にぶい黄褐色	シルト	V層土を微量含む。	
Pit336	22	(楕円形)	28×(18)	25	1	10YR4/3 にぶい黄褐色	シルト	V層土を微量含む。	東部を排水溝に壊される。
Pit337	10	(円形)	(25×21)	(25)	1	10YR4/3 にぶい黄褐色	シルト	V層土を微量含む。	SD32 より古い。
Pit338	09	(楕円形)	(18×15)	(11)	1	10YR4/3 にぶい黄褐色	シルト	V層土を少量含む。	SD43 より古い。
Pit339	23	円形	26×22	31	1	10YR4/3 にぶい黄褐色	シルト	V層土を微量含む。	
Pit340	23	円形	21×20	10	1	10YR4/3 にぶい黄褐色	シルト	V層土を少量含む。	
Pit341	23	(円形)	(24×21)	(24)	1	10YR4/3 にぶい黄褐色	シルト	V層土を少量含む。	SM5-7 より古い。
Pit342	23・24	円形	30×27	37	1	10YR3/3 暗褐色	シルト	V層土を少量含む。	
Pit361	52	—	(30)	17	1	10YR4/3 にぶい黄褐色	粘土質シルト	V層土を多量含む。調査区壁で確認。	
Pit362	52	—	(26)	16	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土を少量含む。調査区壁で確認。	SD6 より古い。

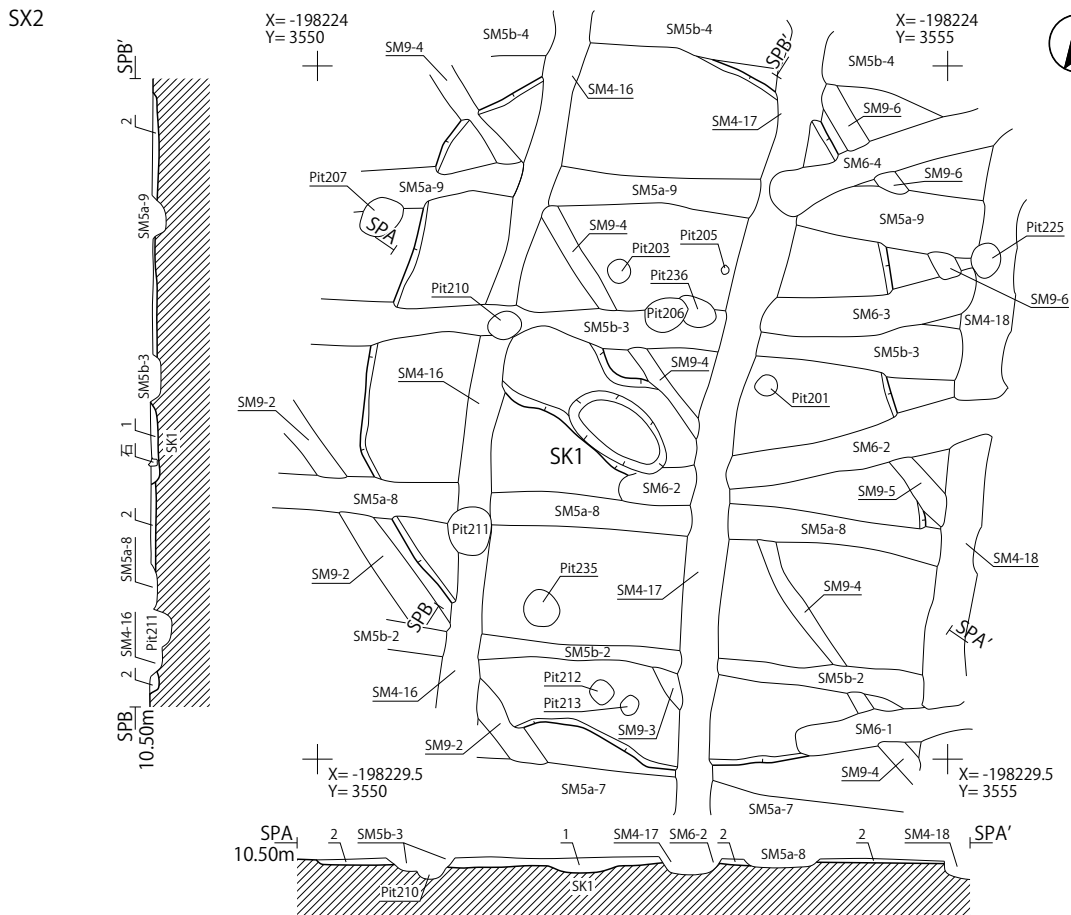
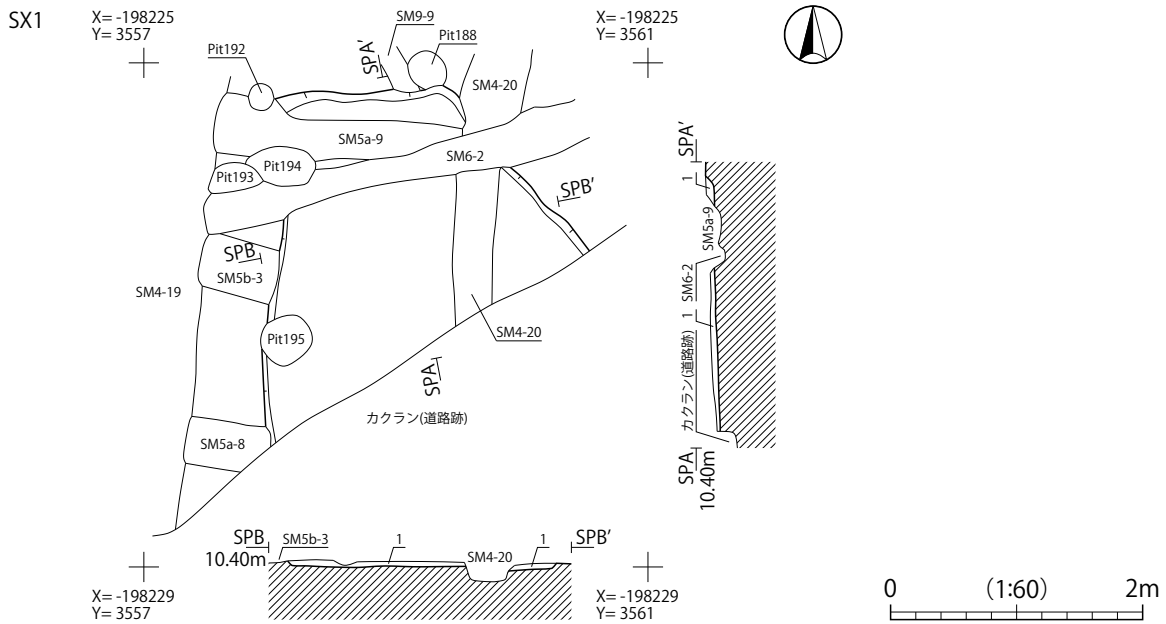
(5) 性格不明遺構 (第23・25・31図)

SX1 性格不明遺構 (第23・25・31図)

1区南西側、29・36グリッドに位置する。南側は攪乱によって大きく壊されている。SM4-20・SM5a-8・SM5b-3・SM6-2・SM9-9、Pit188・192・194・195より古い。

平面形状は不整形であり、規模は長軸292cm、短軸233cm以上、深さ6cmを測る。堆積土は単層で、暗褐色粘土質シルトを主体とする。竅穴住居跡の掘り方を想定して調査したが、残存状況が悪く確認は得られなかった。

遺物は出土していない。



第31図 性格不明遺構SX1・2 (V層上面) 平面図・断面図

性格不明遺構 (V層上面) 観察表

遺構名	グリッド	平面形	規模 (cm)		層位	土色	土性	備考	重複
			長軸×短軸	深さ					
SX1	29・36	不整形	292×(233)	6	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック (10～30mm) を多量含む。	南側を攪乱に壊される。SM4～6・9、Pit188・192・194・195より古い。
SX2-SK1	28・29	長楕円形	176×73	12	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック (10～30mm) を多量、炭化物 (5～10mm) を微量含む。	SM4～6・9、Pit201～206、210～213、235・236より古く、SD22より新しい。
SX2		楕円形	579×441	6	2	10YR3/4 暗褐色	粘土質シルト	V層土ブロック (5～10mm) を少量、炭化物 (2～5mm) を微量含む。	

SX2 性格不明遺構 (第 23・25・31 図)

1 区西側、28・29 グリッドに位置する。SM4～6・9、Pit201～206・210～213・235・236 より古く、SD22 より新しい。

平面形状は楕円形であり、規模は長軸 579cm、短軸 441cm、深さ 6 cm を測る。堆積土は単層で、暗褐色粘土質シルトを主体とする。SX1 と同様に、竪穴住居跡の掘り方を想定して調査したが、残存状況が悪く確認が得られなかった。

付属施設として上面で土坑 (SK1) を確認した。SX2 の中央付近に位置する。平面形状は長楕円形と推定し、規模は長軸 176cm、短軸 73cm、深さ 12cm を測る。堆積土は単層で、暗褐色粘土質シルトを主体とする。

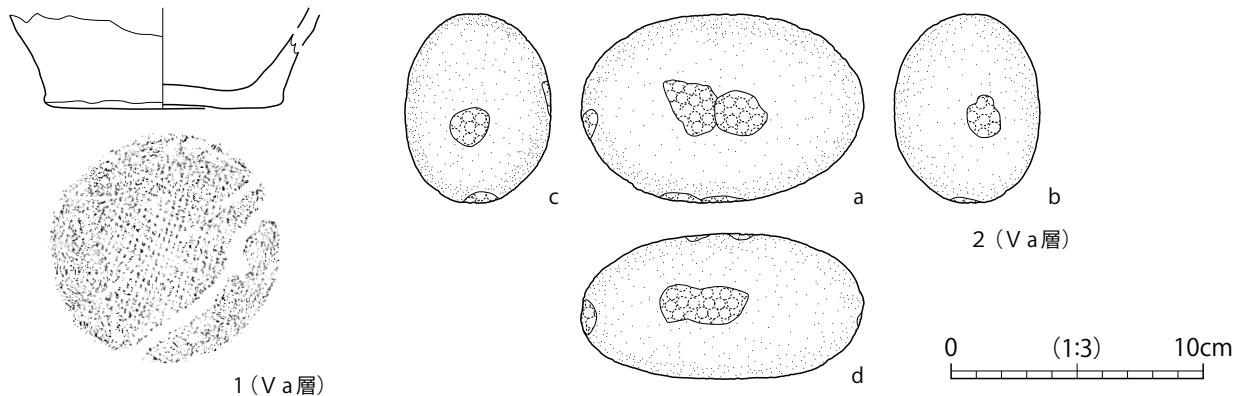
遺物は礫石器が堆積土中から 3 点出土したが、使用痕が顕著ではなかったため図化しなかった。

(6) 遺構外出土遺物 (第 32 図)

V 層上面の遺構外からは、縄文土器と礫石器が出土した。このうち、縄文土器 1 点と敲石 1 点を図化した (第 32 図-1・2)。

1 は深鉢の底部片である。残存部の器高が 4 cm で、底部径が 9 cm を測る。内外面はナデによる整形がみられ、外面底部に網代痕が確認できる。網代痕は縦材に対して横材が 1 本超え 2 本潜りである。底部の周縁はナデにより網代痕が消されている。

2 は敲石であり、a～d 面に敲打痕が確認できる。石材は安山岩である。



第 32 図 V 層上面遺構外出土遺物

V 層上面遺構外

図版番号	登録番号	出土地点	層位	種別	器種	部位	外面調整 (文様)	内面調整 (文様)	備考	写真 図版		
											体部：ナデ 底部：網代痕(1本超え2本潜り)→周縁ナデ	ナデ
1	A-3	1区	Va層	縄文土器	深鉢	底部				14-4		
図版番号	登録番号	出土地点	層位	種別	器種	法量 (cm)			重量 (g)	石材	備考	写真 図版
						全長	幅	厚さ				
2	Kc-2	2区	Va層	礫石器	敲石	11.2	7.5	5.8	663.0	安山岩		14-3

第 4 節 VI 層上面の遺構と遺物 (第 33～35 図)

VI 層上面で確認した遺構は、竪穴住居跡 3 軒 (SI1～3) である。トレンチ調査によるものであるため、部分的に確認したのみである。

(1) 竪穴住居跡 (第 33・34 図)

SI1 竪穴住居跡 (第 33・34 図)

1 区南東側、51・52 グリッド、トレンチ A 内で確認した。東側は調査区外、北側はトレンチ外となり、確認でき

たのは全体の1/4程度と推定される。

平面形状は楕円形を呈すると推定され、確認できた東西軸が374cm、南北軸が247cmを測る。堆積土は4層に分層し、1層が床上の堆積土で、暗褐色粘土質シルトを主体とする。4層は掘り方の堆積土で、暗褐色シルトを主体とする。硬化面は明確に確認できず、炉跡や遺物の出土した面を床面とした。

付属施設として炉跡が確認されており、竪穴住居跡と認識するきっかけとなった施設である。北側の一部がトレンチ外となる。規模は長軸が107cm以上、短軸が84cmである。焼成面は確認されなかったが、底面には凹みが6カ所確認され、炉石の抜き取り痕の可能性はある。堆積土は4層に分層され、2層は焼土層であるが、ブロック状に混入するのではなく、焼土が全体に堆積している。3層は暗褐色粘土質シルトを主体とし、上位に焼土が、下位にⅦ層土が混入する。

柱穴や周溝など、そのほかの付属施設は確認できなかった。

遺物は縄文土器と礫石器が床面から出土した。このうち縄文土器2点、凹石1点を図化した(第34図-1~3)。

1は深鉢の口縁部突起部分である。三角形の突起頂部の内外面は斜位のミガキが施され、横位の沈線で区画される。外面は横位の沈線以下に縦に弧状の沈線が二条施され、沈線の間は無文で外側にはRL縄文が横位、斜位に施される。縄文時代後期後葉の所産と考えられる。2は深鉢の胴部下位から底部片である。残存部の器高が2.8cmで、底部径が9.8cmを測る。外面は胴部下位に縄文が施され、横位の沈線によって区画されている。外面底部には網代痕が確認でき、縦材に対して横材が1本超え2本潜りである。底部の周縁はナデにより網代痕が消されている。

3は凹石で、a面のほぼ中央に深い凹みが確認できる。石材は安山岩である。

SI2 竪穴住居跡(第33図)

2区西側、09・10グリッド、トレンチH内で確認した。西側の一部は調査区外となり、確認できたのは全体の2/3程度と推定される。

平面形状は楕円形を呈すると推定され、南北軸が250cm、東西軸が143cm以上である。南北軸を主軸とすると方位はN-13°-Wとなる。床面からの壁高は、4~6cmである。堆積土は4層に分層され、1層は暗褐色シルトを主体とし、3~30mmの炭化物を多量に含む。SI2の遺構確認はこの炭化物によるところが大きく、炭化物の範囲を掘り下げた結果、焼土が確認でき竪穴住居跡と認定した。4層は褐色シルトを主体とする掘り方埋土である。SI1同様に床面は明確ではなく、炉跡を確認した面が床面と推定された。

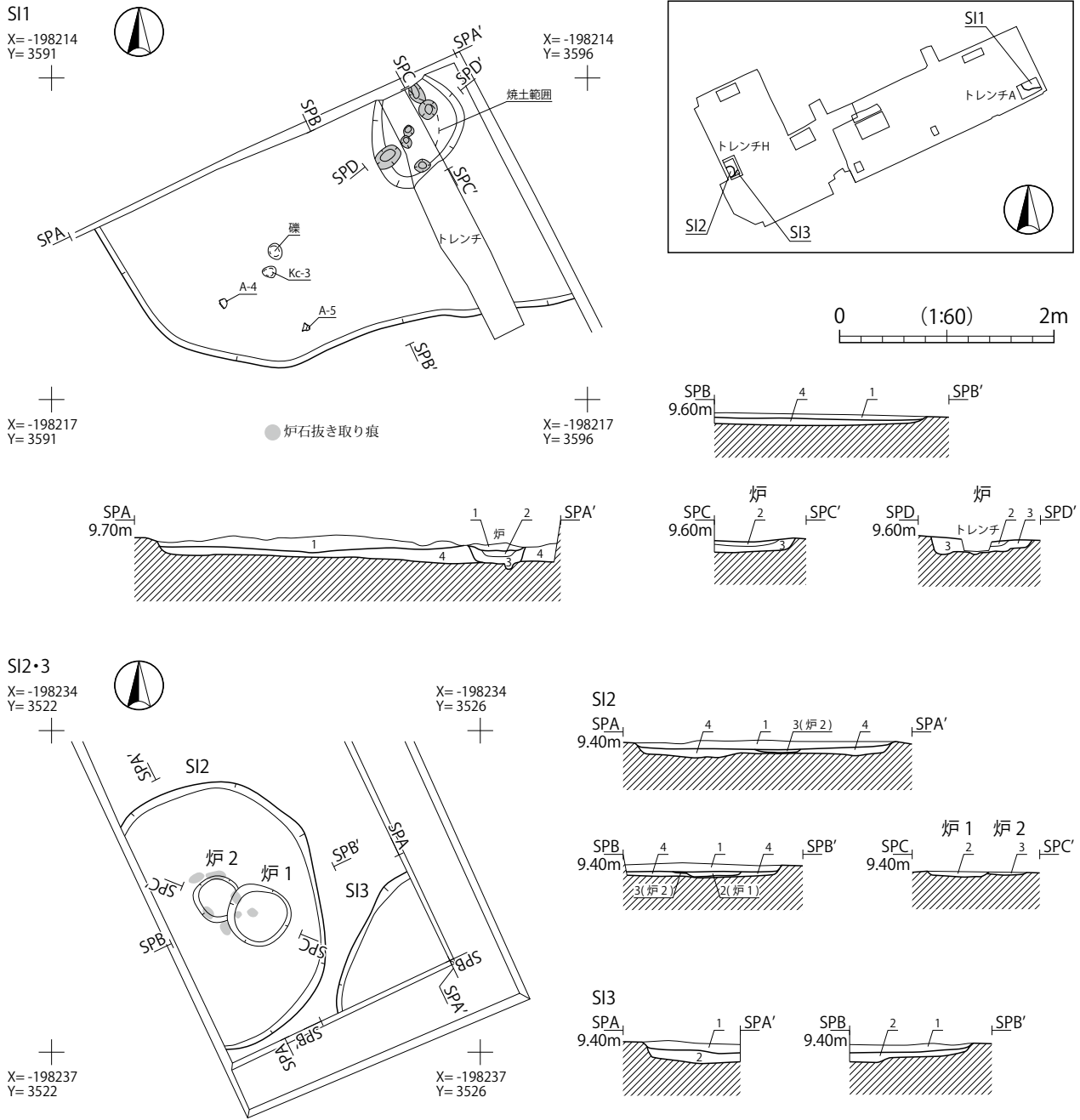
炉跡は2基確認された。SI2の中央から東寄りに炉1が、中央からやや北寄りに炉2が位置する。また遺構確認段階で炉石を抜いたような痕跡を7カ所確認された。規模は炉1が長軸59cm、短軸57cmである。炉2が長軸36cm以上、短軸42cmである。堆積土は炉1・2とも暗褐色シルトを主体とし、焼土を少量含む。焼土は堆積土の上部に薄く広がっている状態であった。

柱穴や周溝など、そのほかの付属施設は確認できなかった。掘り方は、中央部が僅かに盛り上がるのが確認された。遺物は出土していない。

SI3 竪穴住居跡(第33図)

2区西側、09・10グリッド、トレンチH内で確認した。東側、南側はトレンチ外となり、確認できたのは全体の1/4程度と推定される。

平面形状は不明であり、確認できた東西軸が116cm、南北軸が93cmである。床面からの壁高は、4~7cmである。堆積土は2層に分層され、1層は褐色シルトを主体とし、炭化物を少量含む。SI2と異なり、SI3の遺構確認はこの1層とⅥ層の土色の違いで行った。2層はにぶい黄褐色シルトを主体とする掘り方埋土である。



第33図 SI1・SI2・SI3 (竪穴住居跡) 平面図・断面図

SI1 堆積土註記表

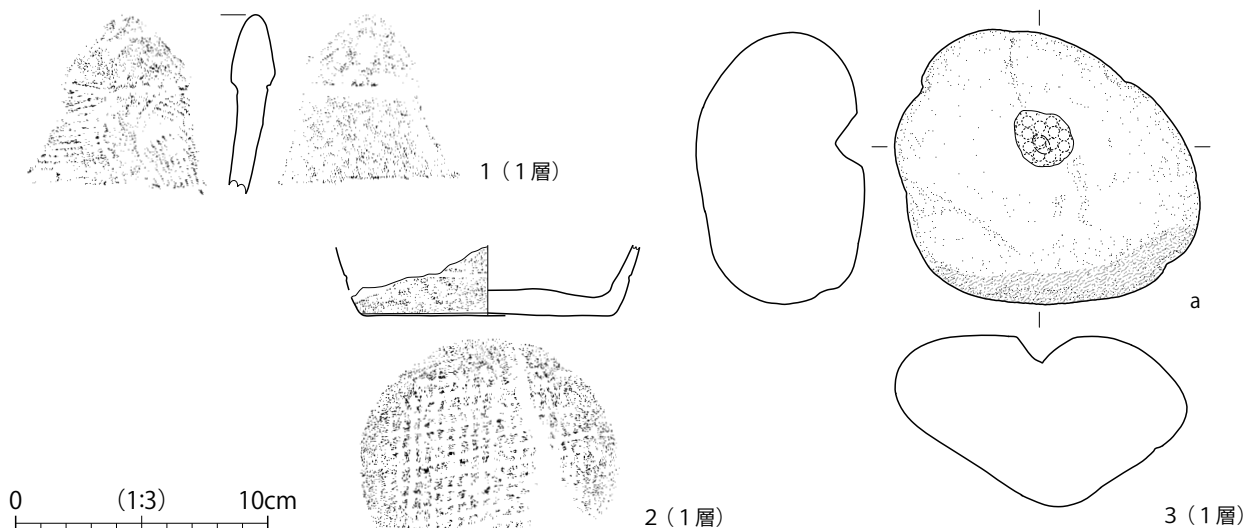
部位	層位	土色	土性	備考
住居堆積土	1	10YR3/4 暗褐色	粘土質シルト	Ⅶ層土ブロック(10~20mm)を微量含む。
炉堆積土	2	5YR4/4 にぶい赤褐色	粘土質シルト	炭化物(1~5mm)を少量含む。
	3	10YR3/4 暗褐色	粘土質シルト	Ⅶ層土ブロック(5~10mm)・焼土ブロック(10~30mm)を少量含む。
住居掘り方	4	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	Ⅶ層土ブロック(10~50mm)を多量、炭化物(2~5mm)を少量含む。

SI2 堆積土註記表

部位	層位	土色	土性	備考
住居堆積土	1	10YR3/4 暗褐色	シルト	炭化物(3~30mm)を多量含む。
炉1堆積土	2	10YR3/4 暗褐色	シルト	Ⅶ層土を多量、焼土・炭化物(3~10mm)を少量含む。
炉2堆積土	3	10YR3/4 暗褐色	シルト	Ⅶ層土を多量、焼土を少量、炭化物(3~10mm)を微量含む。
住居掘り方	4	10YR4/4 褐色	シルト	炭化物(3~10mm)を少量含む。

SI3 堆積土註記表

部位	層位	土色	土性	備考
住居堆積土	1	10YR4/4 褐色	シルト	炭化物(3~10mm)を少量含む。
住居掘り方	2	10YR5/4 にぶい黄褐色	シルト	炭化物(3~10mm)を微量含む。



第34図 SI1 (竪穴住居跡) 出土遺物

SI1

図版番号	登録番号	出土地点	層位	種別	器種	部位	外面調整 (文様)	内面調整 (文様)	備考	写真 図版
1	A-4	SI1	1層	縄文土器	深鉢	口縁部	口縁：斜位ミナギ 沈線(横位直線文・弧線文) RL充填縄文	斜位ミナギ	波状口縁、突起	14-5
2	A-5	SI1	1層	縄文土器	深鉢	胴部下位 ～底部	体部：縄文(原体不明) 沈線(横位直線文) 体部下端：横位ミナギ 底部：網代痕(1本超え2本潜り)→周縁ナデ	ナデ		14-6

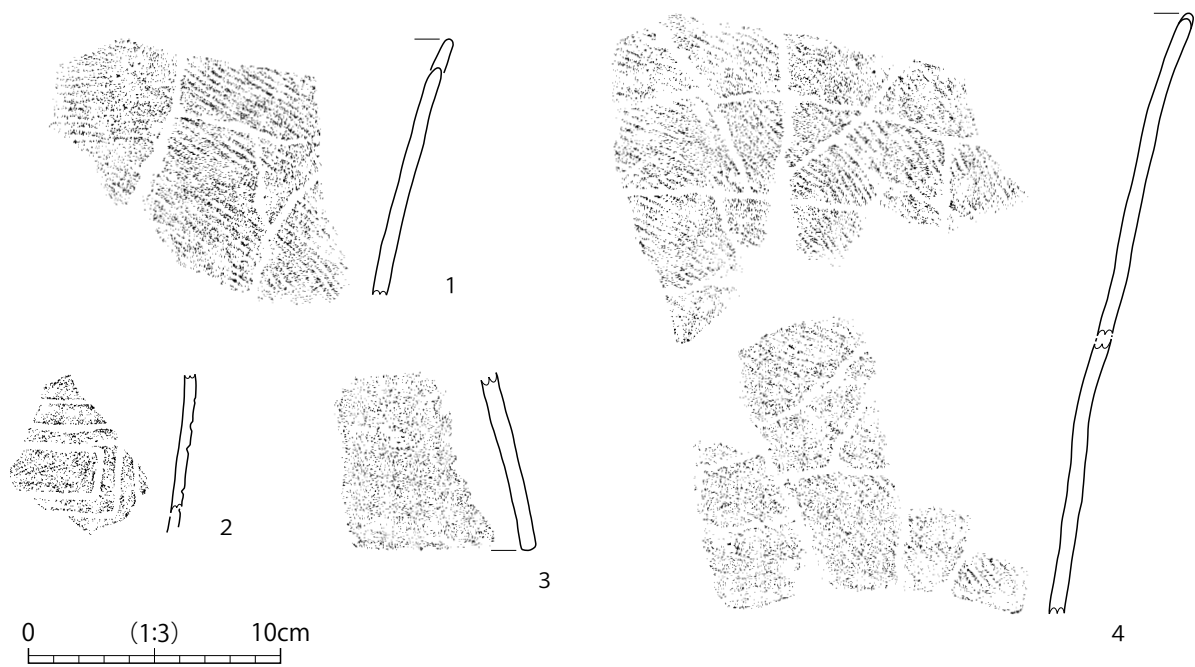
図版番号	登録番号	出土地点	層位	種別	器種	法量(cm)			重量(g)	石材	備考	写真 図版
						全長	幅	厚さ				
3	Kc-3	SI1	1層	礫石器	凹石	12.1	10.9	6.8	1,235.0	安山岩		14-7

炉跡、柱穴、周溝など、付属施設は確認されなかった。掘り方はSI2とは反対に、中央部が僅かに窪む様子が確認された。遺物は出土していない。

(2) 遺構外出土遺物(第35図)

VI層上面の遺構外からは縄文土器が出土した。このうちの4点を図化した(第35図-1～4)。

1は深鉢の口縁から胴部片である。口縁部は波状を呈し、緩やかに盛り上がった頂部が1単位確認できる。外面はRL縄文を横位または斜位に回転させて施文しており、内面はナデにより調整されている。2は深鉢もしくは壺の胴部片である。外面は横位と縦位の沈線によって区画された中にLR縄文が充填されており、無文帯も確認できる。内面はナデにより調整されている。縄文時代後期前葉から中葉の所産と推定される。3は台付土器の台部片である。内外面はナデにより調整されている。4は深鉢の口縁部から胴部下位である。複数の破片が接合したが、口縁部から胴部と胴部から胴部下位の個体が接合できず、図上復元を行った。1とも類似しており同一個体の可能性がある。口縁部は波状を呈し、緩やかに盛り上がった頂部が1単位確認できる。外面は口縁から胴部下位まで全面RL縄文を横位または斜位に回転させて施文しており、内面はナデにより調整されている。



第35図 VI層上面遺構外出土遺物

VI層上面遺構外

図版 番号	登録 番号	出土 地点	層位	種別	器種	部位	外面調整 (文様)	内面調整 (文様)	備考	写真 図版
1	A-6	1区	VI層	縄文土器	深鉢	口縁～胴部	RL縄文横位斜位回転	ナ	波状口縁	14-8
2	A-7	1区	VI層	縄文土器	深鉢または壺	胴部	LR充填縄文 沈線(横位・縦位直線文) 無文部ニギキ	ナ		14-9
3	A-9	2区	VI層	縄文土器	台付土器	台部	ナ	ナ		14-11
4	A-8	1区	VI層	縄文土器	深鉢	口縁～胴部	口縁～体部:RL縄文 横位斜位回転 体部下端:ナ	ナ	2点あり。図上復元。 波状口縁	14-10- 1・2



第37図 周辺調査区との整合関係図

ていることから、溝の中層に入る可能性のある灰白色火山灰は確認されていないが、SD32の延長線上に位置しており、規模的にも同じ溝跡と考えるのが妥当と思われる。次に南側では11C区SD8(同2017a)が候補に挙げられる。SD32からは約45°西へ屈曲することとなるが、ほかに同一とみられる遺構がないことや、SD8でも灰白色火山灰を堆積土中層から下層で確認していることから、SD32はSD8へと続くと推定される。

小溝状遺構群をみていくと、SM1は本調査区の東側へ展開していき、11B区V層(同2017a)で確認されたⅡ群に続くと推定される。SM4は本調査区の南側及び西側、北側に続きがみられ、まず南側では12D区V層(同2017a)で確認されたⅢ群に続くと推定される。同方位のⅡ群やⅠ群と同時期に存在した可能性も考えられる。次に西側では12B区V層(同2017a)で確認されたⅠ群に続くと推定される。北側では13EⅠ区V層(同2017a)で確認されたⅠ群、12A区V層(同2017a)で確認されたSD19、1989年に行われた第4次調査Ⅳ層(同1990)で確認されたE'群に続くと推定される。SM17は本調査区の北側に続きがみられ、13EⅡ区V層(同2017a)で確認されたⅠ群、12A区V層(同2017a)で確認されたⅠ群、第4次調査Ⅳ層(同1990)で確認されたE群に続くと推定される。また、同時期に存在したと思われる小溝状遺構群として、12B区V層(同2017a)で確認されたⅡ群が挙げられる。

SM5aは本調査区の南側に続きがみられ、12D区V層(同2017a)で確認されたⅣ群の一部に続くと推定される。SM5aと同時期と推定したSM18は本調査区の西側に続きがみられ、12B区V層(同2017a)で確認されたⅣ群の一部に続くと推定される。SM6は本調査区の北側及び南側に続きがみられ、北側では13EⅡ区V層(同2017a)で確認されたⅡ群とⅢ群の一部、14D区V層(同2017a)で確認されたⅢ群とⅣ群の一部に続くと推定される。南側では12D区V層(同2017a)で確認されたⅣ群の一部に続くと推定される。SM6と同時期と推定したSM7a・7bは北側及び南東側に続きがみられ、北側では14D区V層(同2017a)で確認されたⅢ群とⅣ群の一部に、南東側では11B区V層(同2017a)で確認されたⅪ群・Ⅹ群にそれぞれ続くと推定される。

同じくSM6と同時期と推定したSM19は北側及び西側に続きがみられ、北側では13EⅠ区V層(同2017a)で確認されたⅢ群の一部、12A区V層(同2017a)で確認されたⅣ群の一部、1989年に行われた第4次調査Ⅳ層(同1990)で確認されたF群に、西側では12B区V層(同2017a)で確認されたⅣ群とSD35に続くと推定される。SM12は本調査区の北側に続きがみられ、14D区V層(同2017a)で確認されたⅡ群に続くと推定される。

各小溝群の範囲は第37図で示した通りである。各小溝群を囲んだ四角形は軸方位が北を向くものと、やや西に傾くものとの2つに分かれる。

第3節 縄文時代

今回下層遺構の確認を目的に建築範囲内の外周部分を対象としたトレンチ調査を行い、東西端部のトレンチで後期の竪穴住居跡を3軒確認した。

筑川流域では多くの縄文時代の遺跡が確認されているが、特に後期を中心とする周辺の状態をみてみたい。大野田古墳群の北西にある下ノ内浦遺跡からは、後期前半の配石遺構・墓壇・埋設土器からなる墓域が発見されている。また西にある下ノ内遺跡からは、中期末葉～後期初頭の集落跡から竪穴住居跡・屋外炉・配石遺構などが発見されている。

北東にある大野田遺跡からは、後期前半の遺構群として、直径14mの環状集石群があり、その中に配石遺構や埋設土器がある。更にその外側には直径30mの範囲に、方形や円形に川原石を並べた配石群がある。この範囲の下の面からも、遺物包含層や配石遺構、埋設土器が発見されている。下ノ内浦遺跡や大野田遺跡から発見された配石の状況や埋設土器から、これらの遺構は長期にわたり営まれた共同墓地と考えられている。

これまで大野田古墳群の調査では縄文時代の遺構は確認されていなかったが、今回竪穴住居跡が確認されたことで、周辺の遺跡同様に集落跡が広がっていることが考えられる。

第4節 まとめ

今回の調査地点は、大野田古墳群の中央西部に位置している。これまで行われた周辺での調査では、北側で小溝状遺構群と古墳時代前期の竪穴住居跡が、南側では、小溝状遺構群と春日社古墳が、西側では32号墳をはじめとする古墳群と小溝状遺構群が確認されている場所である。今回の調査成果について確認層毎に整理しておく。

1. III層上面

III層は調査区壁面の観察ではほぼ全域にあるが、重機掘削時にIV層上面を最初の遺構確認面として考えていたことから、部分的な範囲での調査となった。確認された遺構は、溝跡・小ピットがある。共存する遺物も無く遺構の時期については判然としないが、中世～近世と考えられる。

2. IV層上面

1区から、小溝状遺構群13群・溝跡2条・土坑1基・ピット46基、2区から小溝状遺構群5群・土坑1基・ピット22基がある。遺構の時期については、周辺の調査成果から古墳時代後期から奈良時代と考えられる。

3. V層上面

1区から、小溝状遺構群2群・溝跡22条・土坑1基・性格不明遺構2基・ピット237基、2区から溝跡8条・土坑1基・ピット42基がある。1区で溝跡とした遺構には、規模や形状から小溝状遺構と考えるべきものもあるが、方向や位置の関係から複数の組合せにならず単独の溝跡として報告した。遺構の時期については、周辺の調査成果から古墳時代中期から古墳時代後期と考えられる。

4. VI層上面

1区東端で1軒、2区西端で2軒の竪穴住居跡と遺物包含層を確認した。形状については一部の検出となったが、円形を基調としており、炉の痕跡として焼土や石組の一部(抜き取り痕)を確認した。遺構の時期については、出土遺物から縄文時代後期と考えられる。

引用・参考文献

- | | | |
|----------|-------|--|
| 仙台市教育委員会 | 1990 | 『仙台市文化財調査報告書第138集 大野田古墳群発掘調査報告書』 |
| 仙台市教育委員会 | 2000 | 『仙台市文化財調査報告書第249集 王ノ壇遺跡―都市計画道路「川内・柳生線」関連遺跡―発掘調査報告書Ⅰ』 |
| 仙台市教育委員会 | 2005 | 『仙台市文化財調査報告書第290集 大野田古墳群―第8次発掘調査報告書―』 |
| 仙台市教育委員会 | 2009 | 『仙台市文化財調査報告書第339集 大野田古墳群―第14次発掘調査報告書―』 |
| 仙台市教育委員会 | 2009 | 『仙台市文化財調査報告書第354集 大野田古墳群―第17次発掘調査報告書―』 |
| 仙台市教育委員会 | 2010 | 『仙台市文化財調査報告書第364集 大野田古墳群―第18次発掘調査報告書―』 |
| 仙台市教育委員会 | 2011 | 『仙台市文化財調査報告書第390集 下ノ内遺跡・春日社古墳・大野田官衙遺跡ほか』 |
| 仙台市教育委員会 | 2017a | 『仙台市文化財調査報告書第455集 元袋遺跡・六反田遺跡・大野田古墳群ほか』 |
| 仙台市教育委員会 | 2017b | 『仙台市文化財調査報告書第456集 元袋遺跡・六反田遺跡・伊古田遺跡ほか』 |
| 仙台市教育委員会 | 2018 | 『仙台市文化財調査報告書第468集 洞ノ口遺跡ほか』(大野田古墳群第24次発掘調査) |

写 真 图 版



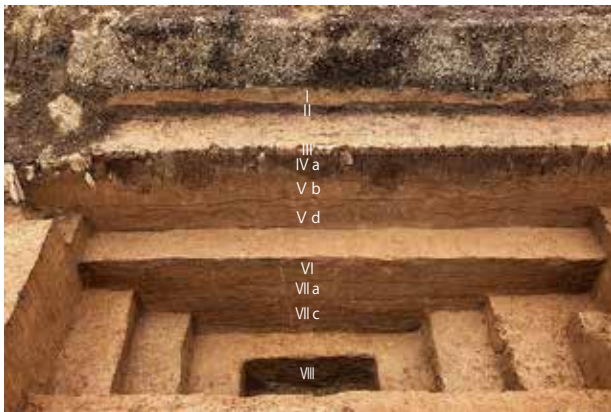
遺跡遠景(南から) ※白枠が調査対象地(2013年3月撮影)



1区 トレンチB 断面(南から)



2区 トレンチF 断面(南から)



2区 トレンチG 断面(南から)



2区 トレンチH 断面(東から)

写真図版1 遺跡遠景・基本層序



2区西側 III層上面 全景(北西から)



2区西側 SD32 完掘(北から)

写真図版2 III層上面 全景・SD32



1区東側 IV層上面 全景(北西から)



1区西側 IV層上面 全景(南から)

写真図版3 IV層上面(1) 1区全景



2区東側 IV層上面 全景(北から)



2区西側 IV層上面 全景(北から)

写真図版4 IV層上面(2) 2区全景



1区 SM4-24 耕作痕(南から)



2区 SM4-3 断面(南から)



2区 SM5a-2 断面(東から)



1区 SM6-4 断面(東から)



1区 SM7b-4 断面(東から)

写真図版5 IV層上面(3)小溝状遺構群



1区 SM12-5 断面(南から)



1区 SM13-1 断面(東から)



2区 SM17-1 断面(南から)



2区 SM18-3 断面(東から)



2区 SM19-5 断面(東から)



1区 SD1 断面(東から)



1区 SD2 断面(東から)



1区 SK1 断面(西から)

写真図版6 IV層上面(4)小溝状遺構群・溝跡・土坑



1区 SK1 完掘(南から)



2区 SK3 断面(南から)



2区 SK3 完掘(南から)



1区 Pit5 断面(東から)



1区 Pit7 断面(東から)



2区 Pit283 断面(南から)



2区 Pit286 断面(南から)



2区 Pit295 断面(南から)

写真図版7 IV層上面(5)土坑・ピット



1区西側 V層上面 全景(西から)



1区東側 V層上面 全景(南東から)

写真図版8 V層上面(1)1区全景



2区西側 V層上面 全景(北から)



2区東側 V層上面 全景(東から)

写真図版9 V層上面(2) 2区全景



1区 SM14-3 断面(東から)



1区 SM15-3 断面(南から)



1区 SM16-3 断面(東から)



1区 SD15 断面(南から)



2区 SD36 断面(南から)



2区 SD42 断面(南東から)



2区 SD43 断面(南東から)



1区 SK2 断面(南から)

写真図版10 V層上面(3)小溝状遺構群・溝跡・土坑



1区 SK2 遺物出土状況(南から)



2区 SK4 断面(南から)



2区 SK4 完掘(南から)



1区 Pit66底面 礫出土状況(南から)



2区 Pit331 断面(南から)



2区 Pit342 断面(北から)



1区 SX1 完掘(南から)



1区 SX2 完掘(南から)

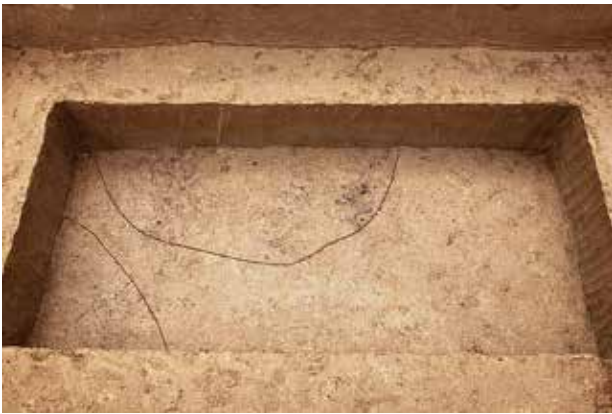
写真図版11 V層上面(4)土坑・ピット・性格不明遺構



1区東側 SI1 完掘(南から)



1区東側 SI1 炉跡 断面(西から)



2区西側 SI2・SI3 確認状況(東から)



2区西側 SI2 A 断面(東から)



2区西側 SI2 炉跡 確認状況(東から)



2区西側 SI2 炉跡 1(左)・炉跡 2(右) 断面(北から)



2区西側 SI2 完掘(東から)

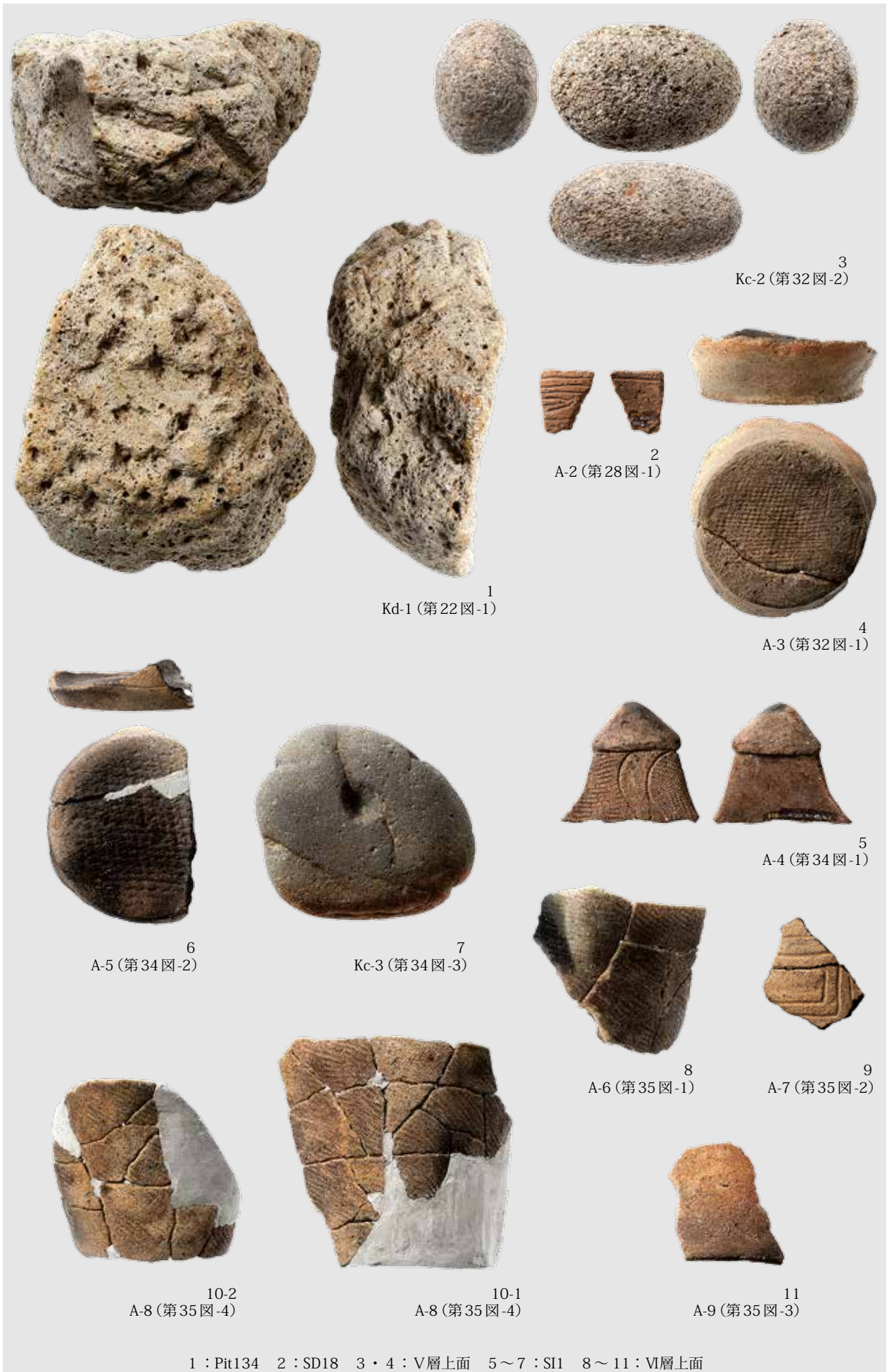


2区西側 SI3 断面・完掘(北西から)



1・2 : SD32 3・4 : III層上面 5 : SM1-3 6 : SM3-3 7 : SM4-25 8~14 : IV層上面

写真図版13 SM1・3・4、SD32、III層上面・IV層上面 出土遺物



1 : Pit134 2 : SD18 3・4 : V層上面 5~7 : SI1 8~11 : VI層上面

写真図版14 SD18、Pit134、SI1、V層上面・VI層上面 出土遺物

報 告 書 抄 録

ふりがな	おおのだこふんぐんだいにじゅうごじちょうさ							
書名	大野田古墳群第25次調査							
副書名	集合住宅建設工事に伴う発掘調査報告書							
巻次								
シリーズ名	仙台市文化財調査報告書							
シリーズ番号	第503集							
編著者名	柳澤 楓、工藤 信一郎、北村 和穂							
編集機関	仙台市教育委員会							
所在地	〒980-0011 宮城県仙台市青葉区上杉1丁目5-12 仙台市役所 上杉分庁舎 10階 電話 022 (214) 8899							
発行年月	2023年3月17日							
所収遺跡名	所在地	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積 (㎡)	調査原因
		市町村	遺跡番号					
おおのだこふんぐん 大野田古墳群	みやぎけんせんだいし 宮城県仙台市 たいはくくおおのだ 太白区大野田 5丁目22-3・4・5	04104	01361	38° 12' 51"	140° 52' 26"	2021/09/16 ～ 2022/03/18 2022/04/28 ～ 2022/07/29	1,010.2	集合住宅 建設
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構		主な遺物	特記事項		
大野田古墳群	集落域 生産域	縄文時代 古代以降	竪穴住居跡 小溝状遺構群・溝跡 土坑・ピット・ 性格不明遺構		縄文土器・石器 土師器・須恵器・ 陶器・石製品			
要約	<p>今回の調査地点は春日社古墳の北に近接しており、仮に春日社古墳が前方後円墳だった場合何らかの遺構が確認できる可能性がある場所だったが、古墳に関わる遺構は確認できなかった。</p> <p>IV層上面・V層上面で確認した小溝状遺構群は18群あり、南北方向・東西方向・それらに斜交するものが重複している。今回の調査地点の周辺でも同様の傾向があることから、比較的長期間耕作域として利用されたことがうかがえる。</p> <p>下層調査に関しては、基礎建築工法の関係から外周部のみを対象とする変則的な調査となったが、縄文時代後期の竪穴住居跡3軒を確認している。周辺の調査成果では竪穴住居跡以外に、配石遺構や埋設土器などの葬制にかかわる遺構も多く分布しており、この時期の集落が広範囲に広がっている可能性がある。</p>							

仙台市文化財調査報告書第503集

大野田古墳群第25次調査

—集合住宅建設工事に伴う発掘調査報告書—

2023年3月

発行 仙台市教育委員会

〒980-0011 宮城県仙台市青葉区上杉1丁目
5番12号 上杉分庁舎10階
TEL022-214-8899 (文化財課)

印刷 株式会社 仙台紙工印刷

〒983-0036 宮城県仙台市宮城野区苦竹3丁目1-14
TEL022-231-2245
